学 科: 教急教命公務員科

科目名	病院前医療概論Ⅰ	必修	必修	年次	1年次	担当教員	古森 喬
(英)		選択	2019	77	14%	実務経験	0
	Introduction to Prehospital Care I	授業	講教	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	W11 7.A	(単位)	(2単位)	曜日·時限	火曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

■院前医療概論では、教急医療体制・災害医療体制・病院前医療体制(プレホスピタル)・消防機関における救急活動について救急救命士の必須のスキルとして びます。病院前医療概論では、メディカルコントロール(MC)や現場活動・医療機関選定と搬送・通信体制・救急活動の記録・関係機関との連携について理解し、本 授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験: 1995年3月看護師免許取得 1997年4月一2003年11月ICU所属・2003年11月~2010年10月ER所属・2010年11月~2015年2月循環器。外科病線・2015年 1995年3月看護師死計取19 1991年4月 - 2003年11月にUIJT属 2003年11月~2010年10月ERPT属 2010年11月 - 2015年2月循頌器 外科病棟 2015年 月 形成外科、泌尿器科病練 現在に至る 福岡県施設病院協会者護学校 2014年~災害看護学・国際看護学 講師 ロバイダー取得、JPTEC プロバイダー取得 徳洲会災害支援ナース登録 AHA ACLSプロバイダー取得、AHA ACLS・EPプロバイダー取得 AHAファース サードプロバイダー取得、AHA BLSインストラクター取得 AHAファース

主業務はICUでは術後の管理、集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは教急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育。院内移植コーディネーケーを行っていた。

歳急・災害・病院前医療体制について学び消防機関における救急活動を熟知し傷病者を安全に教急搬送できるようになる。

《具体的目標》

目標①・救急医療体制について説明できる。 目標②・災害医療体制について説明できる。

目標③・病院前医療体制(ブレホスピタル)について説明できる。

目標④消防機関における教急活動について説明できる。

	授業計画・内容
108	【到達目標】教急医療体制について説明できる ①・教急搬送における統計・体制・ドクターヘリ・ドクターカー・教急 医療システムについて(救急告示病院・初期・第二次・第三次医療体制)・周産期・精神・小児医療体制について
2回日	【到達目標】・救急医療体制について説明できる。② 教急機送における統計・体制・ドクターへ J・ドクターカー・救急 医療システムについて(救急告示病院・初期・第二次・第三次医療体制・固産期・精神・小児医療体制について
3回目	【到達目標】災害医療体制について説明できる。① 災害の概念(定義・分類・事例) 多数傷病者対応 トリアージについて・大規模災害における災害医療体制について・特殊災害(CBRNE)について
40 🗎	【到達目機】・災害医療体制について設備できる。②・災害の概念(定義・分類・事例)・多数傷病者対応・トリアージについて・大規模災害における災害を保証しこついて・特殊災害(CBRNE)について
5回目	【到達目標】・災害医療体制について説明できる。 ③・災害の概念 定義・分類・事例) 多数傷病者対応 トリアージについて・大規模災害における災害医療体制について・特殊災害(CBRNE)について
698	【到達目標】災害医療体制について説明できる。④・災害の概念(定義・分類・事例)・多数傷病者対応 ・トリアージについて、大規模災害における災害医療体制について、特殊災害(CBRNE)について
7@8	【到達日標】病院前医療体制(プレホスピタル)」こついて説明できる。① 教命の連鎖(BLS・ACLS・応急手当) ・MCについて(直接MC・間接MC・協議会・PDCAサイクル)
808	【到達目標】病院前医療体制(プレホスピタル)について説明できる(②・救命の連鎖(BLS・ACLS・応急手当) ・MCについて(直接MC・間接MC・協議会・PDCAサイクル
90 🛱	【到達目標】・病院前医療体制(プレホスピタル)について限事できる。③・救命の連鎖(BLS・ACLS・応急手当)・MCについて(直接MC・間接MC・協画・PDCAサイクル)
100 8	【到達目標】・病院前医療体制・プレホスピタル(こつ)で説明できる(④・救命の連鎖(BLS・ACLS・応急手当・MCについて(直接MC・間接MC・協議会・PDCAサイクル
1:08	【到達目標】・消防機関における以急活動については明できる。①・119番受信と通信体制・出動・現場活動 ・医療機関選定と概念・制度体制・救急活動の正理・関係機関との連携
12回日	【到達目標】・消防機関における教急活動について説明できる 2・119
13回日	【到達目標】・消防機関における救急活動について説明できる。③・119番受信と通信体制・出動・現場活動 ・医療機関選定と搬送・通信体制・救急活動の記録・関係機関との連携
1408	<b>经满就额对策①</b>
15回目	終講試験対策②
準備学習 :間外学習	(目標①)教急教命士としての教会医療は第15ついて国際し出達は教育構造ができるためにも視覚が必要です。 (目標②)教急教命士として共著所の基本を可能し多数構造すれたを行い適切で迅速な構造が出来るためにも予留が必要です。 (目標③)教急教命士として経験制度が体制(プレネスピタル)を迅速に実施するためにも集団が必要です。 (目標④)教急教命士として医療機関第15と構造・通路は14・数の活動の記録・関係機関とを関係して実施していくためにも固置が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
講生への ツセージ	□力・救急教命士として医療体制を理解することで、いかに迅速に□的の病院へ搬送する□とは患者やその家族の不安を和らげます。□ 看護師として今までの経験を活かし皆さんが興味をもてる授業内容で進めていきたいと思います。 救急救命士は専門性で難し、イメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んで、きたいと思います。

世間書 改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

学科: 救急救命公務員科

74 D D	病院前医療概論Ⅱ	必修	必修	年次	1年次	担当教員	深梅 亜紀子
科目名(英)	가시(소) 반 (소기사)에 보	選択	2013	+-%	14%	実務経験	0
1 120	Introduction to Prehospital Care II	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	or) 7X	(単位)	(2単位)	曜日・時限	月曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

「救急医療」は突発的に発生し緊急に適切な処置を行わないと症状が悪化する。生命そのものが危険な状態にある傷病者の診療である。 傷病者の救命率の向上と予後の改善は病院前救護活動に大きく左右される。 救急救命士の専門性である病院前救護活動の役割や責任について 「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本授業修了時には各々の説明ができ るようになる。

実務経験: 1998年3月看護師免許取得 1998年4月~2011年3月ICU所属・2011年4月~2015年5月までER所属する JNTECプロバイダー取得、JTAS緊急度・重症度判定プロバイダー取得 福岡看護協会災害支援ナース登録、日本救急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSC後の集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育を行っていた

#### 【到達且標】

病院前救護活動における救急救命士の役割と責任について学び、救急救命士として法令及び安全管理を遵守した現場活動ができるようになる。

〈具体的目標〉 ①教急教命士の役割について説明できる

②教急救命士と傷病者の関係について説明できる ③救急救命士と傷病者の関係について説明できる ④救急救命士に関する法令について説明できる ④放急救命士の養成と生涯教育について説明できる ⑤安全管理・感染対策について説明できる ⑥ストレスに対するマネージメントについて説明できる

II Partiely	授業計画、内容
108	(目標①)救急医療における救急救命士の役割(傷病者・医療機関とのかかわり・連携)について説明ができる
208	(目標①) 医療職糧としての責任(守秘義務・教急教命処置録・自己研鑚)について説明ができる
308	(目標②)ICとコミュニケーション・対象に応じたコミュニケーション(高齢者・小児・関係者・医師・MIST・隊員)が出来る
408	(目標②) 枚急活動におけるコミュニケーション(DNAR)が出来る
508	(目標③)・法令について・教急救命士法について説明が出来る(目的・資格・業務・教急救命処置の定義・特定行為)
60 8	(目標③)・法令について・教急教命士法について説明が出来る 医師法・保健師助産師看護師法・消防法(法令による教急業務について)・医療法・その他の法令
7回目	(目標④)教急教命士の養成について説明が出来る
80 8	(目標④)教急教命士の生涯教育・病院実習について説明が出来る
9回日	(目標⑤))・安全管理・リスクマネージメント(インシデント・アクシデント)について説明ができる
1008	(自標⑤)傷病者の事故について(転倒・転落・チューブ類率故・誤嚥・感染)・救急救命士の事故(感染・活動中の事故・暴言暴力) ・活動における事故報告と対応が出来る
1108	(目標⑤)・感染予防策と感染防御(スタンダードブリコーション・感染経路)・救急活動での感染防御(手洗い・防護具)・洗浄と消養・感染事故と事故後の対応(感染事故・針刺し事故・結核への対応・インフルエンザへの対応)・感染症法について説明できる
1208	(目標⑥)教急活動でのストレス(ストレスの概念・ストレス反応・ストレス障害) ・教急活動でのストレスへの対応(ストレス耐性・デフュージング・デブリーフィング)について説明ができる
130 🖹	終講試験対策①
1408	終講試験対策②
15回員	終講試験対策③
	(目標①)「教急教命士」という専門職であり役割を理解する事で病院前枚護活動できるようになるので議義の復習が必要です。 (目標②)コミュニケーションでは必要なコミュニケーション技法について予習が必要です。 (目標③)国家資格が必要な職業はそれぞれの法令において義務が明文化されているため講義の復習が必要です。 (目標④)教急教命士の養成と生涯教育は継続が必要になるので講義の復習が必要です。 (目標⑤)安全・感染では自己防衛・傷病者を守る観点から講義の復習が必要です。 (目標⑥)教急教命士のストレスに関する概要の復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う
	魅力・救急救命士の専門性である「病院前救護活動」により傷病者の救命率や予後は大きく改善されます。 まずは基本である病院前救護活動について学びを深める事が今後の現場活動に活かされます。 授薬計画:看護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。
F He Chine St	% w.□ v.z.#\$

### (使用教科書·教材·参考書)

教科書 改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版 参考書 教急教命士標準テキスト追補報 へるす出版 わかりやすい救急教命士法 へるす出版

学 科 : 救急救命公務員科

115.5	教急教命処置概論 I	必修	必修	年次	1年次	担当教員	深梅 亜紀子
科目名 (英)	7.2. 不X 印 次2.6.1 16. 1 1 1	選択	327 135	4%	140	実務経験	0
1347	Introduction to Emergency Care I	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	後期
コース		形態	óM 9th	(単位)	(2単位)	曜日·時限	木曜、I·2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

「救急救命処置」とは「その症状が著しく悪化する恐れがあり、又はその生命が危険な状態にある傷病者が病院又は診療所に搬送されるまでの間に、当該傷病者に対 して行われる気道の確保、心拍の回復その他の処置であって、当該傷病者の症状の著しい悪化を防止し、又はその生命の危険を回避するために必要なものをいう」と 定義されている。教急救命士は「牧急教命処置」を反復継続して行うことを薬としている。国家資格を受けた医療職であり医事法制の全体の枠組みの中で他の医療職 との業務の整合性を保ちながらその業の範囲が定められている。その定められた範囲で行う「救急救命処置活動」や傷病者の適切な観察と迅速な緊急度・重症度の 判断は救急救命士の必須のスキルとして「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行 い本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験:1998年3月看護師免許取得 1998年4月~2011年3月ICU所属・2011年4月~2015年5月までER所属する JNTECプロバイダー取得、JTAS緊急度・重症度判定プロバイダー取得 福岡看護協会災害支援ナース登録、日本救急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSC後の集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育を行っていた

#### 【到達月標】

病態・疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、救急現場において傷病者の適切は観察と緊急度・重症度判別ができるようになる。 (具体的目標)

- ①観察について説明できる。
- ②現場活動の基本について説明できる。 ③全身状態の観察について説明できる。
- ④局所の観察について説明できる。

	授業計画·内容
100	(目標①)観察について説明できる。 観察の目的と意義・バイタルサインの正常値・観察の方法
208	(目標①)観察について説明できる。 問診、視診、聴診、触診
308	(目標②)現場活動の基本について説明できる。 状況評価・初期評価・全身観察と重点観察・緊急度、重症度、医療機関選定・搬送、車内活動
408	(目標②)現場活動の基本について説明できる。 全身観察と重点観察・緊急度、重症度、医療機関選定・搬送、車内活動
5@ 🗎	(目標③)全身状態の観察について説明できる。 外見の観察体位、顔貌、顔色、表情、嘔吐、喀血、吐血、四肢の変形、外出血
608	(目標③)全身状態の観察について説明できる。 外見の観察皮膚、失禁、痙攣、栄養会話、態度、歩行、行動
708	(目標③)全身状態の観察について説明できる。 気道に関する観察気道開通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状、様式、血圧
808	(目標③)全身状態の観察について説明できる。 神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS
9@目	(目標④)局所の観察について説明できる。 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫
1001	(目標④)局所の観察について説明できる。 頭部・顔面・頸部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気管偏位
1108	(目標④)局所の観察について説明できる。 頭部・顔面・頸部皮下気腫、腫脹、変形、髄腋漏、視覚、聴覚胸郭運動、呼吸音、心音
1208	(目標④)局所の観察について説明できる。 腹部腹部膨隆、腹膜刺激微候、腸蝶動音、腹壁静脈怒張、腹部腫瘤腹部動脈拍動
1308	(目標④)局所の観察について説明できる。   鼠頸部・会陰部・骨盤・四肢運動障害、知覚障害、浮腫、腫脹、変形、短縮、動脈拍動関節可動域
1408	(目標④)局所の観察について説明できる。 手指、足趾、爪変形、腫脹、色調、潰瘍、爪床圧迫テスト・各種アルゴリズム・緊急度と重症度・判別の基準
15@ 🗎	終講試験対策
準備学習 時間外学習	(目標①)観察の目的と意義について理解を深める事で傷病者の状況や病気に気付く事ができるので復習が必要です。 (目標②)教急救命士の活動内容について予習が必要です。 教会救命士の専門性である「病院前救護活動」での適切な観察や重症度・疑急度判断の学びを深め、適切な迅速な病院搬送ができるため復習が必要です。 す。 (目標③)目標②を遂成させるために全身観察の重点をしっかり押さえるために復習が必要です。
	(目標係)目標③を達成するために全身観察について復習・予習が必要です。目標③を踏まえ局所観察について理解を深めるため復習が必要です
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
メッセージ	魅力:救急救命士の専門性である「病院前救護救護活動」での救命率の向上や予後の改善には観察能力、緊急度・重症度判断は非常に大きな役割となります。観察するスキルを持つ事で迅速・適切な緊急度・重症度を判断する事に繋がり今後の現場活動に活かされます。 授業計画:滑護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

#### 【使用教科書·教材·参考書】

教科書:改訂第11版教急教命士標準テキスト へるす出版 参考書:教急教命士標準テキスト追補板 へるす出版 わかりやすい救急教命士法 へるす出版 アセスメントカを高めるバイタルサイン 医学書院 日野原重明編集 フィジカルアセスメント 医学書院

学 科 : 救急救命公務員科

#1 D #	救急救命処置概論Ⅱ	必修	必修	年次	1年次	担当教員	古森 喬
科目名(英)	7.107.000000000000000000000000000000000	選択	20119	+~	14%	実務経験	0
1307	Introduction to Emergency Care II	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	後期
コース		形態	京門 争沈	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火曜、1.2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命処置概論は救急救命士と活動する上で基礎となる資機材・外傷処置・一時救命処置・在宅医療を網羅し適切かつ迅速に実施しなければなりません。救急 救命処置を実施するに当たり気管挿管や一時救命処置を実施し院内でどのような止血法など行っているかなど病院内での活動も学び本授業修了時には各々の説 明ができるようになる。

実務経験: 1995年3月看護師免許取得 1997年4月~2003年11月ICU所属·2003年11月~2010年10月ER所属·20(0年11月~2015年2月循環器。 外科病棟・2015年3月~形成外科、泌尿器科病棟 現在に至る 福岡県施設病院協会和護学校:2014年~災害看護学・国際看護学 講師 JNTECプロバイダー取得、JPTECプロバイダー取得、徳洲会災害支援ナース登録、AHA ACLSプロバイダー取得、AHA ACLS-EPプロバイダー取得、 AHAファーストエイドプロバイダー取得、AHA BLSインストラクター取得

主業務はICUでは術後の管理、集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育、院内移植コーディネーターを行っていた。

病院前救護活動における救急救命士の基礎となる資機材や外傷処置を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 く具体的な目標>

- 目標①資基材による観察、目的について説明できる。
- 目標②外傷処置に対する観察、目的について説明できる。
- 目標③1次救命処置の目的について説明できる。 目標④在宅医療の目的について説明できる。

108	THE CASE OF THE PARTY OF THE PA
	【到選目標】資本材による観察、目的について説明できる。①観察の目的と意義・酸素投与方法とその意義・酸素投与時の注意点・SPO2測定とその意義
208	【到選目標】資基材による観察、目的について説明できる。①観察の目的と意義・酸素投与方法とその意義・酸素投与時の注意点・SPO2測定とその意義
3回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。②観察の目的と意義・血圧測定とその意義・血圧測定の注意点・聴診器の使い方とその意義
408	[到達目標]資基材による観察、目的について説明できる。②観察の目的と意義・血圧測定とその意義・血圧測定の注意点・聴診器の使い方とその意義
508	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
60目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③·気管内挿管とは·気管内挿管の適応·気管内挿管の手順·気管内挿管の合併症
706	[到達目標]資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
808	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
90E	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。④ 閉鎖式エアウエイの気道確保器具について・ラリンゲルマスク・アイジェル・ラリンゲルチューブ・コンビチューブ
1002	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。④・閉鎖式エアウエイの気道確保器具について・ラリンゲルマスク・アイジェル・ラリンゲルチューブ・コンピチューブ
1108	【到達目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。①・止血方の目的と適応・止血点止血法・SBチューブ・永久止血法・内視鏡による止血 法
120目	【到達目標】外傷処置に対する親察、目的について説明できる。①・止血方の目的と適応・止血点止血法・SBチューブ・永久止血法・内視鏡による止血 法
13回目	【到選目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。②・固定処置の目的とその意義・ネックカラ−、バックボード・包帯、三角巾・シーネ・陰圧ギブス
1408	【到達目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。②・固定処置の目的とその意義・ネックカラ−、バックボード・包帯、三角巾・シーネ・陰圧ギブス
15回目	【到達目標】1次救命処置の目的について説明できる。・1次救命処置の目的とその意義・除細勤器とその意義・除細動器使用時の合併症
準備学習 寺間外学習	(目標①)教急教命士としての資基材による観察、目的について復習が必要です。 (目標②)教急教命士として外傷処置に対する観察、目的について予習が必要です。 (目標③)教急教命士として1次教命処置の目的について復習が必要です。 (目標④)教急教命士として1次教命処置の目的について復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	魅力:救急救命士として基礎的処置を習得することは救命率の向上にに繋がります。 授業計画:看護師として今までの経験を活かし皆さんが興味をもてる授業内容で進めていきたいと思います。 救急救命士は専門性で難しいイメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書:改訂第11版教急教命士標準テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公務員科

I I I I A	救急救命処置概論 Ⅱ	必修	必修	年次	1年次	担当教員	古森 喬
科目名(英)	水态水叶沙珠绿桃田	選択	9E1139	***	14-00	実務経験	0
(34)	Introduction to Emergency Care II		講義	総時間	45時間	開講区分	後期
コース		形態	古科 学处	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火曜、1.2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命処置概論は救急救命士と活動する上で基礎となる資機材・外傷処置・一時救命処置・在宅医療を網羅し適切かつ迅速に実施しなければなりません。救急 救命処置を実施するに当たり気管挿管や一時救命処置を実施し院内でどのような止血法など行っているかなど病院内での活動も学び本授業修了時には各々の説 明ができるようになる。

実務経験:1995年3月沿護師免許取得 1997年4月〜2003年11月ICU所属・2003年11月〜2010年10月ER所属・2010年11月〜2015年2月循環器、外科病棟・2015年3月〜形成外科、泌尿器科病棟 現在に至る 福岡県施設病院協会看護学校:2014年〜災害看護学・国際沿護学 講師 JNTECプロバイダー取得、JPTECプロバイダー取得、徳洲会災害支援ナース登録、AHA ACLSプロバイダー取得、AHA ACLS・EPプロバイダー取得、 AHAファーストエイドプロバイダー取得、AHA BLSインストラクター取得

主業務はICUでは術後の管理、集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育、院内移植コーデイネーターを行っていた。

病院前救護活動における救急救命士の基礎となる資機材や外傷処置を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 <具体的な目標>

- 目標①資基材による観察、目的について説明できる。
- 目標②外傷処置に対する観察、目的について説明できる。
- 目標③1次救命処置の目的について説明できる。
- 目標④在宅医療の目的について説明できる。

	授業計画・内容
16回目	【到達目標】1次救命処置の目的について説明できる。・1次救命処置の目的とその意義・除細勤器とその意義・除細勤器使用時の合併症
17回目	【到達目標】1次救命処置の目的について説明できる。・1次救命処置の目的とその意義・除細勤器とその意義・除細勤器使用時の合併症
18回日	【到達目標】1次救命処置の目的について説明できる。・1次救命処置の目的とその意義・除細動器とその意義・除細動器使用時の合併症
19回目	【到達目標】在宅医療の目的について説明できる。・在宅療養とは・在宅療法の種類・酸素療法、自己注射、経管栄養、気管切開、自己導尿など
20回目	【到達目標】在宅医療の目的について説明できる。・在宅療養とは・在宅療法の種類・酸素療法、自己注射、経管栄養、気管切開、自己導尿など
21回目	終講試験対策①
22回目	終講試験対策②
23回目	終講試験対策③
_	
	(目標①)救急救命士としての資基材による観察、目的について復習が必要です。
	(目標②)救急救命士として外傷処置に対する観察、目的について予習が必要です。 (目標③)救急救命士として1次救命処置の目的について復習が必要です。
ロロンドナロ	(目標④)教急教命士として在宅医療の目的について復習が必要です。
评価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
護生への	魅力:教急教命士として基礎的処置を習得することは教命率の向上にに繋がります。
Fred 35	授業計画:智護師として今までの経験を活かし皆さんが興味をもてる授業内容で進めていきたいと思います。 救急救命士は専門性で難しいイメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。
講生への	魅力:救急救命士として基礎的処置を習得することは救命率の向上にに繋がります。 授業計画:看護師として今までの経験を活かし皆さんが興味をもてる授業内容で進めていきたいと思います。
教科	골·敎材·参考書]

教科書:改訂第11版教念教命士標準テキスト へるす出版

学 科: 救急救命公司員科

#10.5	救急病態生理学Ⅱ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	石橋 操大
科目名(英)	秋志内意工生于 u	選択	16,139	7%	24%	実務経験	0
(),()	Emergency Pathophysiology II	授業	講義	総時間	45時間	開灣区分	前期
J-X		形態	5/F 5/X	(単位)	(3単位)	曜日·時限	金曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急病態生理学!で習得した内容からさらに各症候・病態生理を深める事で救命の連鎖である「二次救命処置と自己心拍再開後の集中治療」について説明できるようになる。救急救命士は一次救命処置(BLS)と平行して「救急救命処置」の「特定行為」である薬剤投与や気道確保器具などを利用した二次救命処置を行う事でより 多くの傷病者の救命率の向上と予後の改善に繋がります。最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講取得をする事で本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験: 救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務

神経系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 <具体的な目標>

目標①重症脳障害について説明できる

目標②意識障害について説明できる

□ 16 (少応経降者について説明できる 目標③頭痛について説明できる 目標④痙攣について説明できる 目標⑤邀取麻痺について説明できる 目標⑥めまいについて説明できる 目標⑥失神について説明できる

77 23	授業計画·內容
108	(目標①)重症脳障害について説明できる ・概念・発生機序
208	(目標①)重症脳障害について説明できる ・一次性脳病変、二次性脳病変
308	(目標①) 重症脳障害について説明できる ・頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア
408	(目標①)堂症脳障害について説明できる ・特殊な意識障害
508	(目標①)単症脳障害について説明できる ・脳障害まとめ・脳障害振り返り
608	(目標②)意識障害につて説明できる ・原因1. 一次性脳病変2. 二次性脳病変・随伴症状
708	(目標②)意識障害について説明できる ・随伴症状 3、パイタル異常2、一般症候3、神経所見
808	(目標②) 意識障害につて説明できる ・判別を要する病態
908	(目標②) 窓識障害につて説明できる ・緊急度、重症度判別・現場活動
10回目	(目標③)頭痛について説明できる ・発症機序・分類1。一次性頭痛2. 二次性頭痛
1:08	(目標③) 頭痛について説明できる ・原因疾患
12@8	(目標③)頭痛について説明できる ・発症の状況・住状
13@ 🖹	(目標③)頭痛について説明できる ・随伴症状・緊急度重症度の判断・現場活動
14回目	(目標④)痙攣について説明できる ・定義、概念・病態
15@8	(目標④)痙攣について説明できる 種類1. 局所性2. 全身性
準 <b>備学</b> 習 時間外学習	前提:この授業を受けるには、臨床医学脳神経疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標①~⑥)各症候の振り返りと復習が必要です 最終的にAHA-8LSプロバイダー受講するので事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	魅力:二次教命処置は「特定行為」であり医師との連携が必須で特定行為指示要請が必要となります。傷病者の状態を迅速に的確に伝えるためには各症候に関する知識が必要です。また具体的な指示を得るためには日常から自己研鑽が必要です。AHA-ACLSプロバイダー受講する事で実際に活動内容を体験・学ぶ事で理解が深まり今後の現場活動に活かされます。 授業計画:最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講します。その必要な理論(知識)は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。

#### 【使用教科書·教材·参考書】

教科書:改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

学 科: 救急救命公務員科

	#5.在	必修	21.68	de sin	o de ula	担当教員	石橋 操大
科目名 (英)	救急病態生理学Ⅱ	選択	必修	年次	2年次	実務経験	0
1327	Emergency Pathophysiology II	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	前期
コース		形態	6件 4%	(単位)	(3単位)	曜日·時限	金曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教急病態生理学 L で習得した内容からさらに各症候、病態生理を深める事で救命の連鎖である「二次救命処置と自己心拍再開後の集中治療」について説明できるようになる。救急救命士は一次救命処置(BLS)と平行して薬剤投与や気道確保器具などを利用した二次救命処置を行う事でより多くの傷病者の救命率の向上と予後の改善に繋がります。

最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講取得をする事で本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験: 救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務

#### 【到達目標】

神経系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。

<具体的な目標>

目標①重症脳障害について説明できる

目標②意識障害について説明できる

目標③頭痛について説明できる 目標④痙攣について説明できる

目標⑤運動麻痺について説明できる

目標®めまいについて説明できる

目標⑥失神について説明できる

	授業計画·內容
16回冒	(目標④)痙攣について説明できる ・原因疾患・随伴症状
1708	(目標④)痙盤について説明できる ・判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
180 🗒	(目標⑤)運動麻痺について説明できる ・定義、概念・発症機序
1908	(目標⑤)運動麻痺について説明できる ・分類1、単麻痺 2、片麻痺3、対麻痺4、四肢麻痺 5、交叉性片麻痺
200 🗎	(目標®))運動麻痺について説明できる ・原因疾患・随伴症状
2108	(目標⑤))運動麻痺について説明できる ・判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
2208	終講試験対策①
23回目	終講試験対策②
準備学習 時間外学習	前提:この授業を受けるには、臨床医学脳神経疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標①~⑥)各症候の振り返りと復習が必要です 最終的にAHA-BLSプロバイダー受講するので事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	カ:二次教命処置は「特定行為」であり医師との連携が必須で特定行為指示要請が必要となります。 傷病者の状態を迅速に的確に伝えるためには各 症候に関する知識が必要です。 また具体的な指示を得るためには日常から自己研鑚が必要です。 AHA-ACLSプロバイダー受講する事で実際に活動 内容を体験・学ぶ事で理解が深まり今後の現場活動に活かされます。 授業計画:最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講します。 その必要な理論(知識)は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしり い様にしてください。

教科書:改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公務員科

	——————————— 疾病救急医学 Ⅰ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	深梅 亜紀子
科目名 (英)	<b>按例</b> 权应医于 1	選択	35.13°	+4	24%	実異経験	0
1707	Emergency Medicine I	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	前期
コース		形態	古書 等处	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

神経系疾患:脳血管疾患は日本人の死困第4位を占めるものであり、後遺症もきたす疾患である。急性期はもとより慢性的な障害を患う傷病者もいるため、 教急現場では適切な判断や処置を必要とする。

呼吸系疾患:呼吸系は生体に必要な酸素需要に関与する重要な器官である。緊急性を有する病態が多く、また高齢社会の進展により、肺炎等の呼吸系疾患 で死亡する傷病者も増加傾向にあるため、疾患の理解が必要となる。

循環系疾患:心疾患は近年増加におり、急激に病態が変化し、致死的となる。突然死の原因でもあり、死因第2位と救急救命士に求められる迅速な対応が 必要となり、特定行為(静脈路確保・薬剤投与)の判断を含め、医療機関との連携も大切となる疾患群である。

上記3疾患の症状、病態、処置・対応をしっかりと理解し、授薬修了時には説明できるようになる。

実務経験:1998年3月看護師免許取得 1998年4月~2011年3月ICU所属・2011年4月~2015年5月までER所属する JNTECプロバイダー取得、JTAS緊急度・重症度判定プロバイダー取得 福岡看護協会災害支援ナース登録、日本救急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSC後の集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育を行っていた

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

神経・呼吸・循環器系の主な疾患の発生機序、症状、救急処置等について理解することができるようになる。

<具体的な目標>

目標①神経系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。 目標②呼吸系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。 目標③循環系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。

	授業計画:内容
:08	(目標①)脳梗塞について説明できる。
2回目	(目標①)脳梗塞、一過性脳虚血発作について説明できる。
3回目	(目標①)べも膜下出血について説明できる。
408	(目標①)脳動静脈奇形、もやもや病について説明できる。
508	(目標①)脳出血について説明できる。
6回目	(目標①)髄膜炎、脳炎・脳症、脳膿瘍について説明できる。
708	(目標①)ギラン・バレー症候群、糖尿病性ニューロパチーてんかん、脳腫瘍、変性疾患について説明できる。
8回8	(目標②)呼吸系疾患の主要症候、基本的対応について説明できる。
900	(目標②)呼吸不全、急性喉頭蓋炎について説明できる。
100 🗒	(目標②)編桃周囲膿瘍、気管支喘息について説明できる。
1108	(目標②)慢性閉塞性肺疾患、無気肺、気管支拡張について説明できる。
1200	(目標②))肺炎、肺結核について説明できる。
13回目	(目標②)急性上気道炎、気胸、胸膜炎について説明できる。
14回目	(目標②)肺血栓塞栓症、過換気症候群について説明できる。
15回目	(目標②)肺癌、急性呼吸促迫症候群、間質性肺炎について説明できる。
準備学習 時間外学習	(目標①)神経系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。 (目標②)呼吸系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。 (目標③)循環系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
X**********	神経系疾患(死因第4位)、呼吸系疾患(死因第3位)、循環系疾患(死因第2位)と日本人の死因の上位を占める病態のため、救急救命士となり現場で即戦 カとなるためには不可欠な分野である。しっかりとした知識と緊急性の高い疾患への判断力を身につけるために、予習・復習をし、理解を深めてくださ い。

教急救命士 標準テキスト 改訂第11版

学 科 : 救急救命公務員科

#1 E A	疾病救急医学 I	必修	必修	年次	2年次	担当教員	深梅 亜紀子
科目名(英)	<b>沃州</b> 秋总区于 I	選択	3C-13	40	24%	実務経験	0
	Emergency Medicine I	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	前期
コース		形態	10年 年以	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

神経系疾患:脳血管疾患は日本人の死因第4位を占めるものであり、後遺症もきたす疾患である。急性期はもとより慢性的な障害を患う傷病者もいるため、 教急現場では適切な判断や処置を必要とする。

呼吸系疾患:呼吸系は生体に必要な酸素需要に関与する重要な器官である。緊急性を有する病態が多く、また高齢社会の進展により、肺炎等の呼吸系疾患 で死亡する傷病者も増加傾向にあるため、疾患の理解が必要となる。

循環系疾患:心疾患は近年増加にあり、急激に病態が変化し、致死的となる。突然死の原因でもあり、死因第2位と救急救命士に求められる迅速な対応が 必要となり、特定行為(静脈路確保・薬剤投与)の判断を含め、医療機関との連携も大切となる疾患群である。

上記3疾患の症状、病態、処置・対応をしっかりと理解し、授業修了時には説明できるようになる。

実務経験:1998年3月看護師免許取得 1998年4月〜2011年3月ICU所属・2011年4月〜2015年5月までER所属する JNTECプロバイダー取得、JTAS緊急度・郵症度判定プロバイダー取得 福岡看護協会災害支援ナース登録、日本救急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSC後の集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育を行っていた。

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

神経・呼吸・循環器系の主な疾患の発生機序、症状、救急処置等について理解することができるようになる。

<具体的な目標>

救急救命士 標準テキスト 改訂第11版

目標①神経系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。

目標②呼吸系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。

目標③循環系疾患の症状、病態、処置・対応について説明できる。

	授業計画・内容
16回日	(目標③)循環系疾患の主要症候、基本的対応について説明できる。
17回目	(目標③)動脈硬化、うっ血性心不全、急性心筋梗塞について説明できる。
18回冒	(目標③)不安定狭心症、安定狭心症について説明できる。
19回目	(目標③)心筋症、心筋炎、心タンポナーデ、急性心膜炎について説明できる。
200 🗎	(目標③)心臓弁膜症、感染性心内膜炎、先天性心疾患について説明できる。
21回目	(目標③)急性大動脈、大動脈瘤について説明できる。
22回目	(目標③)急性四肢動脈閉塞症、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症、高血圧症、高血圧緊急症について説明できる。
23回目	終講試験対策
体調子员	(目標①)神経系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。 (目標②)呼吸系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。 (目標③)循環系の解剖生理の予習、救急救命処置、神経系疾患に使用する薬剤等の事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
文誦生への	神経系疾患(死困第4位)、呼吸系疾患(死因第3位)、循環系疾患(死因第2位)と日本人の死因の上位を占める病態のため、救急救命士となり現場で即覚 カとなるためには不可欠な分野である。しっかりとした知識と緊急性の高い疾患への判断力を身につけるために、予習・復習をし、理解を深めてくださ い。

学 科 : 救急救命公務員科

	急性中毒 <i>学</i>	必修	必修	年次	2年次	担当教員	髙橋 龍	
科目名 (英)	念任中母子	選択	92) 1/3°	+4	24%	実務経験	0	
(24)	Acute Poisoning	授業	講義	総時間	15時間	開講区分	後期	
コース		形態	再我	(単位)	(1単位)	曜日·時限	水曜、3時限目	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

中毒物質による急性中毒患者は中毒物質の把握、状況評価、傷病者の観察が重要になります。また、近年では乱用薬物の多様化となっており、それに応じた対応 や観察も必要となっています。中毒物質については一般的に使用される薬物及び医療薬品として扱われている薬品の種類や効果について、家庭用品での問い合わ せ・誤飲等の発生した場合での対応も含めて講義を通じて理解する必要があります。また、中毒患者の対応では様々な関係者(警察や保健所)と関わる事例が多い 為、連携の手法としてどのような情報が必要かをディスカッションします。本講義終了後、中毒物質についての種類、特性、症状、処置等が説明できるようになる。

実務経験: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

### 【到達目標】

改訂第11版 救急救命士標準テキスト

中毒物質による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、中毒物質が原因となる救急活動において観察, 評価, 処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。

授業計画・内容 い合わせの多い中毒物質の種類、小児と高齢者に多い中毒の特徴、ADMEの特徴について説明できる。 有な臭気と随伴症状、中毒傷病者の観察・処置の要点について説明できる。
有な臭気と随伴症状、中毒傷病者の観察・処置の要点について説明できる。
**! 以外1   医薬目の古書塩塩   加架 網第の機能と300×4.2
こしやすい医薬品の中毒症状と処置・観察の概要を説明できる。
業用品中毒の症状と処置・観察の概要を説明できる。
レコール中毒の症状と処置・観察の概要を説明できる。
家庭用品中毒の症状と処置・観察の概要を説明できる。
の症状と処置・観察の概要を説明できる。
るにあたり、薬物の代謝経路を復習する必要があります。また、代謝に関わる臓器についても機能を含めて再確認が必要です。 ついては近年、特殊な中毒物質も増えている為、ネットやニュース等にも関心を持つことが大事です。講義内のノートの振り返りや各中。 めると理解ができやすいと思います。  経路 
やる点数にて成績評価を行う。
・スで近年、中籌物質による関心が高まっています。また、教急教命士としても一般的な中霧物質の種類や薬理作用、急性中毒による役分が必要です。また、傷病者に対する対応や他の機関と連携して対応する活動も含めて理解が必要です。救急教命は る傷病者を適切に観察し、医療機関に判定できるようになってい頂きたいです。

学 科: 救急救命公務員科

科目名	臨床心理学	必修 選択	必修	年次	I年次	担当教員	池田 桂子
(英)	Clinical Psychology	授業	講義	総時間	15時間	開講区分	前期
コース		形態	高門 事業	(単位)	(1単位)	曜日·時限	月曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

人間は何らかの外的な要因で身体が傷つくと同様に、精神的にも様々な傷を負う可能性がある。大災害や悲惨な災害現場、犯罪などの要因により、とくに精神的に 大きなダメージを受けやすい。悲惨な災害現場では、救助・救急活動に従事する消防職員も被災者と同様な体験を受け、また職業的責任から精神的影響が大きく、 ストレスを受けやすいため心理学的な基礎的知識や様々なストレス反応について理解する必要がある。集団ディスカッションやグループワーク等の授業により心理 学的な基礎知識と臨床的心理学を理解し、本授業終了時には救急救命士としてストレスに対するマネージメントや救急現場での適切な対応ができるようになる。

※実務者経験:財団法人メンタルケア協会認定精神対話士、日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー、メンタルヘルスマネジメントⅡ様 医療法人の事務長として25年間、苗接を行い、医療スタッフのマナー接遇教育等を行ってきた。 長崎大学のキャリア相談員として、学生の就職支援を行っている。

大学・短大にてキャリア授業を担当している。心理カウンセラーとしても活動中。

#### 【到達日標】

改訂第11版 救急救命士標準テキスト

心理学の基礎的知識や臨床的知識を学び、教急教命士として現場で適切な対応ができるようになる。

	授業計画・内容						
108	心の問題と現代社会(ストレス社会)について説明できる						
20目	急性ストレス反応の概要(心身相関の生理と病気)について説明できる						
3@目	救急救命士に業務上発生するストレス(救急活動でのストレス)の種類を列挙できる						
408	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
5回目	惨事ストレスによる障害発生防止の方法について説明できる						
6回目	不安状態の患者カウンセリング的対応や救急活動でのストレス対応について説明できる						
7回目	ストレス耐性を高めるための職場の工夫(セルフコントロールの大切さ)について説明できる						
8回日	終講試験対策						
準備学習 時間外学習							
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。						
受講生への メッセージ	授業で学んだことを常に心掛けて日常生活を送るようにしてください!						
【使用教科	· 峇·教材·参考書】						

学 科: 救急救命公开員科

							The second secon	
ELG A	コミュニケーション論	必修	必修	年次	1年次	担当教員	池田 桂子	
科目名 (英)	コミューノーノョン6歳	選択	92113	十八	144	実務経験	0	
1,00	Communication Theory	授業	演習	総時間	30時間	開講区分	前期	
コース		形態	州日	(単位)	(2単位)	曜日·時限	月曜、3・4時間目	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

社会人として必要なコミュニケーションスキルを、様々な状況に対応できるように具体的学ぶ。大きな視野で物事をとらえ、臨機応変に状況判断が できるように実践的な内容で指導する。

実務経験・医療法人の事務長として25年間、面接を行い、医療スタッフのマナー接遇教育等を行ってきた。 長崎大学のキャリア相談員として、学生の就職支援を行っている。 大学・短大にてキャリア授業を担当している。心理カウンセラーとしても活動中。

#### 【到達目標》

状況判断を素早く行い、相手の立場を理解しながらも、自分の意見を分かりやすく伝えることができるようになる。

### 〈具体的な目標〉

- 目標① コミュニケーション・スキルアップ検定試験に合格する
- 目標② 社会人として基本的なマナーを身につける
- 目標③ 論理的に話をすることに慣れ、話す内容に説得力を持たせることができる 目標④ 現場で役立つ実践的なコミュニケーションスキルを身につける

	授業計画·内容					
108	コミュニケーションの定義・領域・種類。3年間で学ぶ自分の目標を明確にし、言葉にして伝える					
2回目	対話の基本的スキル。オーブン・クエッションとクローズド・クエッションを使い分ける。ノンバーバルコミュニケーションの大切さ。					
3回目	グループでの会話の基本。グループディスカッション実践。時事問題に関心を持ち自分の意見を述べる。					
4回目	人間関係を円滑にするための伝え方の基本と表現手段。自己主張・上手な頼み方・上手な断り方。					
508	仕事で必要とされる伝え方の基本と表現手段。報告・連絡・相談の必要性。互いに納得する交渉・説得とは。					
608	アンガーマネジメント。トラブルのもととなる感情への対処方法。実践練習。					
700	対人行動スキルの基本と実践。敬語の使い方。電話対応の練習。					
8 🗎 🗐 8	社会人としての文書作成の基本。社内文書・社外文書、手紙、メール。					
90 🗎	コミュニケーションスキル実践。医療現場において、高齢者・障がい者・子どもに対する対応の基本。					
100目	コミュニケーションスキル実践。枚急現場で気を付けること、信頼を得る言動。					
1108	自己PRの基本。自分の特性・求められている資質を具体例をあげ、説得力のある内容で語る。質問に対して、好感を持たれるように答える。					
12回目	コミュニケーションスキルアップ検定対策。テキスト全般のまとめと、最終章サービスの基本要素を理解する。					
130 🗎	コミュニケーションスキルアップ検定					
140 🖹	グループディスカッション実践。テーマに沿って、自分の意見を論理的に述べ、コンセンサスを得る					
15回目	終講試験対策					
	授業で学んだ特殊な用語などは、その日のうちに覚えること 常に実践することで、身につけるように心がけること 社会問題などに関心を持ち、自分なりの意見を持つようにすること 積極的に人と関わるようにすること					
評価方法	終講試験における点数にで成績評価を行う。					
受講生への メッセージ	コミュニケーションとは単に伝えるだけではなく、話す・聴く・場の空気を読む、交渉する、自己主張をする、信頼を得る、など人間力をあることに繋がる大切なスキルです。この授業では、基本から応用まで学び、実践まで行うことで、社会に出て役立つ内容にしています。 た、面接に向けて、人前で話すことに慣れ、自分の伝えたいことが、相手にきちんと伝わるようにようになることを目指します。					

#### 【【使用教科書·教材·参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定テキスト

学 科 : 救急救命公務員科

MOR	解剖学・生理学	必修	必修	年次	1年次	担当教員	髙橋 龍
科目名 (英)	M 017 124	選択	3E. 135	44	14%	実務経験	0
	Anatomy Physiology	授業	講義	総時間	90時間	關講区分	前期
コース		形態	6円 ŦX	(単位)	(6単位)	曜日・時限	火曜、3・4時限月

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

医療従事者として最も重要な分野である。人体の正常を理解しないとその変化である病態、外傷における対応、傷病者の観察、救急救命処置、全てにおいて必要 不可欠な知識として必要です。 解剖学・生理学については精造や各臓器の働き、部位、生命維持、生体反応を説明できるようになることが重要です。

実務経験:社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また教急外来にて救急患者に対する教急教命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。 <具体的な目標> 目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

目標②人体の構造における神経系の構造と機能が説明できるようになる。

	授業計画·内容
108	(目標①)人体を構成する要素について説明できる。
200	(目標①)人体を構成する要素について説明できる。
3回目	(目標①)体表からみる人体の構造
4 D 🗏	(目標①)体表からみる人体の構造
508	(目標①)体表からみる人体の構造
608	(目標①)呼吸系について説明ができる。
708	(目標①)呼吸系について説明ができる。
808	(目標①)呼吸系について説明ができる。
9@ 🗎	(目標①)呼吸系について説明ができる。
100 🗎	(目標①)循環系について説明ができる。
1108	(目操①)循環系について説明ができる。
12回目	(目標①)循環系について説明ができる。
13回目	(目操①)循環系について説明ができる。
1408	(目標①)消化系について説明ができる。
1508	(目標①)消化系について説明ができる。
準備学習 時間外学習	(目標①②)準備学習として、使用教科書である教急教命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。
評価方法	定期試験・終講試験における点数にて成績評価を行う。
大いサージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野を理解しておけなければ教急教命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復習をするようにしてください。

改訂日版 教急教命士 標準テキスト からだの地図帳

学 科 : 救急救命公務員科

料目名	解剖学・生理学	必修	必修	年次	1年次	担当教員	髙橋 龍
(英)	# 017 I AE T	選択	وراحد	70	14%	実務経験	0
	Anatomy Physiology	授業	講義	総時間	90時間	開講区分	前期
コース		形態	6門 表定	(単位)	(6単位)	曜日·時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

医療従事者として最も重要な分野である。人体の正常を理解しないとその変化である病態、外傷における対応、傷病者の観察、救急救命処置、全てにおいて必要 不可欠な知識として必要です。

解剖学・生理学については構造や各臓器の働き、部位、生命維持、生体反応を説明できるようになることが重要です。

実務経験:社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月動務 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて教急患者に対する教急教命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。

く具体的な目標。 目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。 目標②人体の構造における神経系の構造と機能が説明できるようになる。

	授業計画・内容
160 🗎	(目標①)消化系について説明ができる。
1708	(目標①)消化系について説明ができる。
1808	(目標①)泌尿系について説明ができる。
1908	(目標①)生殖系について説明ができる。
20回日	定期試験 (人体の構造から生殖系まで)
2108	(目標①)内分泌系について説明ができる。
22@ 🖹	(目標①)内分泌系について説明ができる。
23回目	(目標①)内分泌系について説明ができる。
24回目	(目標①)内分泌系について説明ができる。
25回目	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
26回目	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
27@ 🖴	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
28回目	(月標①)血液・免疫系について説明ができる。
29回目	(目標①)筋・骨格系について説明ができる。
30回日	(目標①)筋・骨格系について説明ができる。
準備学習 寺間外学習	(目標①②)準備学習として、使用教科書である教急救命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。
評価方法	定期試験・終講試験における点数にて成績評価を行う。
・ 諸生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。 医療従事者として共通する知識で、この分野を理解しておけなければ救急救命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復をするようにしてください。

改訂11版 教急救命士 標準テキスト からだの地図帳

学 科 : 救急救命公務員科

MOA	解剖学・生理学	必修	必修	年次	1年次	担当教員	髙橋 龍
科目名 (英)	14 04 - T-F-4-	選択	25,12	70	14%	実務経験	0
	Anatomy Physiology	授業	講義	総時間	90時間	開講区分	前期
コース		形態	<b>心門 等定</b>	(単位)	(6単位)	曜日・時限	火曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

医療従事者として最も重要な分野である。人体の正常を理解しないとその変化である病態、外傷における対応、傷病者の観察、救急救命処置、全てにおいて必要 不可欠な知識として必要です。

解剖学・生理学については構造や各臓器の働き、部位、生命維持、生体反応を説明できるようになることが重要です。

実務経験:社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。

<具体的な目標>

目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

目標②人体の構造における神経系の構造と機能が説明できるようになる。

	授業計画・内容
31 🛭 🗎	(目標①)皮膚系について説明ができる。
32回目	(目標①)生命の維持について説明ができる。
33回目	(目標①)生命の維持について説明ができる。
34回目	(目標②)神経について説明ができる。(神経系の構成、神経系の役割)
35回目	(目標②)神経について説明ができる。(大脳、間脳、小脳)
36回目	(目標②)神経について説明ができる。(脳幹、脊髄、脳室、脳脊髄液)
37回目	(目標②)神経について説明ができる。(脳神経)
38回目	(目標②)神経について説明ができる。(脳神経、脊髄神経【デルマトーム】)
39回目	(目標②)神経について説明ができる。(運動の伝導路【錘体路・錐体外路 知覚の伝導路【脊髄視床路・後素】)
40回目	(目標②)神経について説明ができる。(自律神経【交感神経・副交感神経】)
4108	(目標②)神経について説明ができる。(脳循環【内頚動脈系・椎骨脳底動脈系・ウイリス動脈輪】)
42回目	(目標②)神経について説明ができる。(脳循環【代謝・頭蓋内圧・脳血流】)
430 🗎	(目標②)神経について説明ができる。(意識【意識の意味・意識の中枢】)
4408	(目標②)神経について説明ができる。(反射【角膜反射・咽頭反射・膝蓋腱反射】)
45@ 🗒	終請試験対策
準備学習 寺間外学習	(目標①②)準備学習として、使用教科書である教急教命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。
評価方法	定期試験・終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野 理解しておけなければ救急救命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復習をするようにしてください。

改訂11版 救急救命士 標準テキスト からだの地図帳

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	薬理学	必修	必修	年次	I年次	担当教員	髙橋 龍
(英)	34C-22 1	選択	XZ, NB	十次	14%	実務経験	0
	Pharmacology	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	後期
コース		形態	双甲科	(単位)	(2単位)	曜日·時限	木曜、3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

平成26年1月救急救命処置の内容改訂に伴い処置範囲拡大された。救急救命士による「救急救命処置」の中でも特定行為である「薬剤投与」に関しては安全性と有 効性の確認が必要である。それは処置拡大に伴い救命率の向上やショック状態の傷病者に処置を行う事で重篤化を防ぐ事が出来るが反面かえって慎重な適応の判 断能力が求められるからである。また傷病者の高齢化や治療の高度化に伴い傷病者の使用薬剤も多く適切な観察・単症度緊急度の判断するために傷病者の有用な 情報源として判断出来るは必要なスキルである。検査については医療機関での初期診療・緊急検査を加える事で確定診断に至る。救急救命士として判断した内容が 妥当であったのかを知るためにも理解する必要がある。これらの内容に関して「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるイン ストラクショナルデザインの実践を行い本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験:社会医療法人 陽明金 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

医師婆讃時のドクターカーの週用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急執命処置を行っていた。

#### 【到達日標】

各種薬剤の薬理作用や適応、生体に及ぼす影響について学び、救急現場において、傷病者の有用な情報源として判断し、適切な現場活動ができるようになる。 〈具体的月經〉

目標①薬剤の作用効果、使用方法などを説明できる

目標②傷病者の使用頻度の高い薬剤を説明できる

目標③検査の方法、正常値などについて説明できる

	授業計画・内容
108	(目標①) 薬物の概念 薬物の分類 医薬品の種類 薬物の代謝を説明できる
208	(目標①) 薬物の代謝(投与経路)薬物の有害作用 薬物アレルギーを説明できる
308	(目標①)救急救命士が用いる薬剤(アドレナリン・乳酸リンゲル液・ブドウ糖)を説明できる
408	(目標①)救急救命士が用いる薬剤(アドレナリン・乳酸リンゲル液・ブドウ糖)を説明できる
5回目	(目標②)使用頻度の高い薬剤(経口糖尿病薬・インスリン・亜硝酸薬)を説明できる
6回目	(目標②)使用頻度の高い薬剤(降圧剤・気管支拡張薬・利尿薬)を説明できる
7@ 🗐	(目標②)使用頻度の高い薬剤(向精神薬・ワルファリン・アスピリン・シルデナフィル)の説明ができる
808	(目標①)輸液、輸血製剤について 保存方法、管理について説明できる
9回目	楽理学まとめ・試験対策
100目	(目標③)検査について 基準値 カットオフ値 パニック値について説明できる
1108	(目標③))緊急接查、生化学検査、基準値(血液検査、動脈血液検査、尿検査、心電図検査)
120 🗎	(目標③)緊急検査、生化学検査、基準値(単純X検査、CT検査、超音波検査、MR(検査)
1308	(目標③))緊急検査、生化学検査、基準値(血管造影検査、内視鏡検査)各検査画像検証
14@ 🖯	終講試験対策①
150 🗎	終講試験対策②
準備学習 時間外学習	(目標①)(目標②)を達成させるために基本である薬剤の作用効果、使用方法などを説明できる形で重要であるため復習が必要です。 (目標②)使用頻度の高い薬剤を理解する事で傷病者の有効な情報源として判断できるため復習が必要です。 (目標③)検査の内容・正常値について説明出来る事によって「病院前救護活動」での適切な観察・緊急度重症度判断に繋がるため復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にで成級評価を行う。
受講生への メッセージ	魅力:特定行為である「薬剤投与」により教命率の向上や予後の改善に大きく関与するため処置拡大されました。しかし、「薬剤投与」に伴うアナフィラキシー・副作用などの有害作用や血管外漏出という合併症があるため救急救命士の高度な技術や知識・判断能力が求められます。 検査に関しても救急救命士の専門性である「検査等環境が整っていない中での緊急度・重症度の判断」ができるスキルを上げるためにも緊急検査について理解を深める事で今後の現場活動に活かされます。 授業計画:看護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

教科書:改訂第口版教急救命士テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公務員科

400	社会保障·社会福祉	必修	必修	年次	1年次	担当教員	石橋 操大
科目名 (英)	江江 冰冲 江江 開江	選択	20112	70	17%	実務経験	0
	Social Security Social Welfare	授業	放棄	総時間	15時間	開講区分	後期
コース		形態	6門 开笔	(単位)	(1単位)	曜日·時限	月曜、2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

「社会保障」とは年をとり、失業するなど、個人の努力だけでは対応に限界がある。国民同士の助け合い、国や地方公共団体による施策により生存権を保障する仕組みである。また「疾病、負傷、分娩、廃疾、死亡、老齢、失業、多子、その他困窮の原因に対し、保険的な方法または直接公の責任において経済保障の途を講じ、生活困窮に陥った者に対しては国家扶助によって最低限度の生活を保障するとともに、公衆衛生および社会福祉の向上を図り、もってすべての国民が文化的社会の成員たるに値する生活を営むことができるようにすることである」と定義している。教念教命士は保険医療従事者としてこのような傷病者に関わる機会は非常に多くいため、これらの内容に関して「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験・救急隊・救急教命士として北秋田市消防本部にて2年勤務

#### 【到達目標】

社会保障と社会福祉の理念や医療・介護・年金保険制度、生活保護等について学び、現在の社会保障と社会福祉を支える仕組みについて説明できる。 <具体的な目標>

目標①社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる

教科書 改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

(目標(1))社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる
社会保障、社会福祉の仕組み 1. 社会保障、社会福祉の理念 2. 社会保障、社会福祉を担当する行政組織
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会保障、社会福祉の仕組み 1. 関連施設 2. 社会保障の費用
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会保険と制度 1. 社会保険制度の理解 2 医療保険制度
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会保険と制度 1. 介護保険制度 2. 年金保険制度
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会福祉と制度 1 生活保護
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会福祉と制度 1 児童福祉 2 高齢者福祉
(目標①)社会保障と社会福祉を支える仕組みを説明できる 社会福祉と制度 I 母子および寡婦福祉 2 障害者福祉
終講試験対策
(目標①)社会保障:4つの柱である「社会保険」「公的扶助」「社気福祉」「公衆衛生」は国民の保障制度であり理解しておく内容なので復習が必要です。 社会福祉:社会的に保護や援助を必要とするものに対し各種の福祉法に基づいて施設を整えたりサービスを提供する事であり、窩齢者・児童・身体障害者・知的障容者・母子などが対象であり保健医療従事者として関わりが深いため内容の復習が必要です。
終講試験における点数にて成績評価を行う。
これから社会人として社会保険制度や年金制度は理解しておくべき内容であり、保健医療従事者として公的扶助や医療保険制度、介護保険制度、社会福祉、公衆衛生などの仕組みを説明できる事で傷病者に寄り添った対応ができ現場活動に活かされます。 授業計画 看護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急病態生理学Ⅰ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	石橋 操大
(英)	oxilization in the second	選択	20,129	7.7	27%	実務経験	0
	Emergency Pathophysiology I	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	D#4 39X	(単位)	(2単位)	曜日·時限	金曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命士の専門職である「救急救命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS(Basic Life Support)は自己研鑚が必須であり、「救命の連鎖」として一般市民への指導の普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や「心停止の早期認識」に関して迅速で的確な判断が必要とされる。そのため救急病態生 理学を学び病態に関する知識を深める罪が重要である。最終的にはAHA-BLSプロバイダー取得をする事で本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験: 救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務

#### 【到達目標】

呼吸不全、循環不全(心不全、ショック)・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 <具体的な目標>

- 目標①呼吸不全について説明できる
- 目標②心不全について説明できる 目標③ショックについて説明できる
- 目標40心肺停止について説明できる

教科書、改訂第11版教念教命士テキスト へるす出版

	授業計画・内容
1@8	(目標④)心肺停止について説明できる ・定義と概念・疫学・ウツタイン様式
2回目	目標④)心肺停止について説明できる ・心肺停止に至る病態と原因(不整脈、低心拍出量、呼吸不全、その他)
3回目	目標④)心肺停止について説明できる ・生体酸素状況(不整脈、低心拍出量、呼吸不全、その他)
4回目	(目標④)心肺停止について説明できる ・主な原因疾患(5H5T)・心電図分類
5回目	(目標④)心肺停止について説明できる ・心肺蘇生中の生理学的動態・心拍再開後(ROSC)の生理学的動態
600	(目標④)心肺停止について説明できる ・心肺停止についてまとめ・振り返り
708	(目標①)呼吸不全について説明できる ・定義と概念・基本的病態
808	(目標①)呼吸不金について説明できる ・閉塞性、拘束性、混合性換気障害・低酸素血症、高二酸化炭素血症・緊急度、重症度判別
9回目	(目標①)呼吸不全について説明できる ・呼吸運動障害(発生機序・病態・対応)・気道の障害(発生機序・病態・対応)
100 🗎	(目標①)呼吸不全について説明できる ・肺胞の障害(発生機序・病態・対応)・肺間質の障害(発生機序・病態・対応)
1108	(目標②)心不全について説明できる ・定義と概念・原因疾患・病態生理学(心機能曲線、神経・内分泌反応、循環の変化)
12回目	(目標③)ショックについて説明できる ・循環血液量減少性ショック・心原性ショック・心外閉塞・拘束性ショック・血液分布異常性ショック
1308	(目標③)ショックについて説明できる ・定義と概念・ショックの判断と判別・種類と分類・緊急度、重症度判別・病態
1408	(目標②)心不全について説明できる ・慢性心不全の急性増悪・現場活動・症候(低心拍出量、肺うっ血、体循環うっ血、循環系)・種類(急性・慢性・左心・右心・うっ血)
15回日	終講試験対策
準備学習 寺間外学習	目標①呼吸不全について臨床医学呼吸器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学、運動学について予智が必要です。 目標②心不全について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です 目標③ショックについて目標①②の復習が必要です。 目標④心肺停止について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です。 最終的にAHA-8LSプロバイダー受講するので事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	魅力:一般市民へ指導の立場でもある教急救命士は最終目標のAHA・BLSプロバイダー受講する事で実際に活動内容を体験でき本授業の搬要の理解 が深まります。さらに自己研鑚する事で「包括的指示」の中でも迅速に的確に判断・処置することができ今後の現場活動に活かされます。 授業計画:最終的にAHA-BLSプロバイダー受講します。その必要な埋論(知識) は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない 採にしてください。

学 科 : 救急救命公務員科

T4 E 7	疾病救急医学Ⅲ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	高橋 龍
科目名(英)	<b><del>大</del>内</b> 权态运车 II	選択	2C1135	+44	2十次	実務経験	0
1,500	Emergency Medicine III	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	6P4 49X	(単位)	(2単位)	曜日·時限	水曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

筋・骨格系疾患:本疾患は外傷により生じるもの、内因性疾患が原因で生じるものとがある。緊急度はおおむね低く、数命にかかわる疾患は少ないが、 協病者のADL(日常生活動作)に影響を与える。緊急度の高い疾患との鑑別を求められるため、病態の理解が必要となる。

感染症:感染症には感冒症状から敗血症、感染力の弱いものから強いもの、頻度の高いものから低いものまで多岐にわたり存在する。 傷病者の教命はもちろんのこと、救助者の危機管理も重要不可欠の知識となる。各種の感染症を理解し、説明できるようになることが必要。

実務経験: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到遠目標】

筋・骨格系、感染症の主な疾患の発生機序、症状、救急処置等について理解することができるようになる。

<具体的な目標>

目標①筋・骨格系疾患の症候、対応、病態について説明できる。

目標②感染症についての法律、種類、徴候、対応、病態について説明できる。

	授業計画・内容						
108	(目標①)疫学と救急医療における意義、主要症候、基本的対応について説明できる。						
2回目	(目標①)急性腰痛症、椎間板ヘルニアについて説明できる。						
308	(目標①)後縦靭帯骨化症、脊椎狭窄症について説明できる。						
408	(目標①)化膿性閉節炎、結晶誘発性関節炎、肘内障について説明できる。						
5回目	(目標①)肩関節周囲炎、肩腱板損傷について説明できる。						
6回目	(目標①)変形性関節症、関節リウマチについて説明できる。						
7回目	(目標(1))進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症について説明できる。						
8回目	(目標①)周期性四肢麻痺、横紋筋融解症について説明できる。						
90目	(目標②)接学と救急医療における意義、感染症法、予防接種、感染症の微候、基本的対応について説明できる。						
10回目	(目標②)敗血症、結核について説明できる。						
1108	(目標②)インフルエンザ、食中毒について説明できる。						
12回目	(自標(2))輸入感染症、発疹性感染症(Dについて説明できる。						
13回日	(目標②)発疹性感染症(②)について説明できる。						
14回目	(目標(Ž))性感染症、その他の感染症について説明できる。						
15@@	終講試験対策						
	(目標①)筋・骨格系疾患を理解するために、予習として解剖生理、年齢・性別による生体変化等の知識が必要である。 (目標②)感染症の分類、予防接種の種類、感染経路、感染防御に用いる資機材についての予習が必要である。						
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。						
受講生への メッセージ	筋・骨格系疾患は様々な要因で発症し、病態を理解しないと救急現場で緊急度の高い疾患との鑑別ができない。年齢や性別により生じる病態の特質を学び、傷病者の訴えに沿える対応をできるようになってください。 感染症については、小児から高齢者まで発症する。海外からの渡航者も含め、さまざまな種類が存在するため、各種感染症の特徴を理解する必要がある。また、感染症が拡大しないための対応も求められる。傷病者だけではなく、身の安全を守るための知識を習得してください。						

【使用教科書·教材·参考書】

改訂口版 教急教命士 標準テキスト

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	疾病救急医学IV	必修	必修	年次	2年次	担当教員	深梅 亜紀子
(英)	7大州4大高位于10	選択	30,139	7%	27%	実務経験	0
	Emergency Medicine IV	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	後期
コース		形態	門我	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火罐、I·2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

小児・高齢者・周座期の傷病者は災害弱者(災害時要配慮者)であり災害時のみならず「病院前牧援活動」ではそれぞれの特徴を考慮した対応が必要である。それは、それぞれが通常よりも自分の身に危険が差し迫った時、それを察知しても適切な行動をとることができない、または困難な者であるからである。加えて重要な症状を見逃す危険性が高い。そのため救急救命士が「病院前救護活動」行う中でそれぞれの傷病者とのコミュニケーション・IC・観察・薬軟な対応を行う事や緊急度・重症度判断・迅速な病院協造ができる事が重要である。これらの内容に関して「寒合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本投業後了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験:1998年3月看護師免許取得 - 1998年4月~2011年3月ICU辦展・2011年4月~2015年5月までFR所属する JNTECプロバイダー取得、JTAS業急度・重症度判定プロバイダー取得 - 福岡福護協会災害支援ナース登録、日本教急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSO後の集中治療やFR初期診療後の全身管理、FRでは教急初期診療・BLS・ICLS活動・災害教育を行っていた

#### (到逐目標)

小児・高齢者・周産期の特殊性とその発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

<具体的な目標>

目標①小児救急疾患(発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

目標②高齢者教念(発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

目標③周産期教念疾患(その発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

	授業計画・内容
108	(目標①)スキャモン発育型、小児の発育、バイタルサイン、特徴、発達による救急疾患の変化が説明できる 生理学的特徴 ・手根骨・成長、発達、発育・BMI 生理的体型減少(平均出生体重、身長、頭囲)・新生児黄疸・パーセンタイル・スキャモン発育型
2回目	(目標①)代表的疾患の好発年齢 病歴聴取の要点 観察と判断 小児に特有な症状が説明できる ・内因性疾患・予防接種歴・不慮の事故・CTAS PAT GCG SD値・小児傷病者・バイタル評価・流行性疾患 ・トリアージ分類・感染症サーベイランス
3回目	(目標①)新生児搬送途上の注意点 緊急度・重症度判別 医孫機関選定の説明ができる ・応急処置・小児専門医・高次医療機関
40 🗎	(目標①)熱性痙攣 / 痙攣の判別 細菌性髄膜炎とウイルス性髄膜炎 脳炎について説明できる ・複雑性熱性痙攣 ・8 群溶血性連鎖球菌・不穏症状・痙染重積発作・エンテロウイルス・てんかん・ムンブスウイルス・Hib・髄膜炎・大腸菌・インフルエンザ
5回自	(目標①)上気道狭窄をきたす急性感染症 気管支喘息 腸進粧急性腹症について説明できる・ジフテリア感染症・抗原抗体反応・ステロイド・異性、仮性クルーブ・呼気性呼吸困難・腸管鱗動・犬吠様咳嗽・交感神経、副交感神経・間欠性腹痛・痙攣性クループ・喘鳴 ・非親血的整復・低酸渠血症・喘息性気管支喘息・腹膜刺激症状・RSウイルス・運動誘発性喘息・アレルギー体質・β遮断薬
6 <b>0</b> B	(目標①)HUS 血管炎 動脈瘤 イチゴ舌 ヒトヘルペスウイルス 不顕性感染 SIDS ALTE 児童虐待について説明できる・HUS・突発性発疹・川崎病・流行性耳下腺炎・SIDS・溶連菌感染症・被虐待児症候群
708	(目標②)1 加齢と老化2 高齢者疾患の特徴3 高齢者の質かれた状況について説明できる
目	(目標②)4 高齢者疾患の症候5 高齢傷病者への対応について説明できる
90HH	(目標②)主な疾患について説明できる 1. 認知症 2. 高齢者虐待 3. せん妄 4. 誤嚥性肺炎
1008	(目標②)主な疾患について説明できる 5 肺気腫 6 脱水 7 骨粗鬆症 8 前立腺肥大 9 廃用症候群
11回目	(目標③)正常妊娠について説明できる ・受精と消床・胎児・胎児付風器・妊娠過数・母体の変化・分娩第1期・分娩第2期・分娩第3期
1208	(目標®))異常妊娠について説明できる ・妊娠初期の異常・・・・流産異所性妊娠(子宮外妊娠) 胞状奇胎・妊娠中期以降・・・切迫早痒・前期破水妊娠高血圧症候群 子痂 HELLP症候群 前置胎盤 常位胎盤早期剥離 子宮内胎児死亡
1308	(目標③)異常分娩について説明できる 早産 前期破水 骨盤位分娩 子宮破裂 弛級出血 子宮内反 羊水窓栓
140 🗎	(目標③)分娩介助について説明できる ・分娩介助方法 臍帯処置 胎盤娩出 微婦の観察と処置
150 🗏	(目標(3))妊娠と新生児の観察と処置について説明できる ・間診・観察・妊婦搬送中の注意・新生児の観察と処置気道確保 臍帯切断 新生児仮死 新生児救急搬送 搬送法
準備学習 特間外学習	前提:講義日数が少ないのでこの授業を受けるには、臨床医学小児・高齢者・周雇期の理解が不可欠です。さらにそれぞれの解剖学、特徴について予習が必要す。目標①小児救急疾患の発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です 目標②高齢者救急の発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です 日標③周産期救急疾患その発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です それぞれの復習をしっかり行う事が「病院前救護活動」での適切な観察・緊急度・重症度判断、迅速な病院搬送に繋がります。
評価方法	終講試験における点徴にて成績評価を行う。
語生への ベッセージ	魅力:「救急医療」の中でも小児・高齢者・周産期の傷痛者は通常とは違う症状や病態を呈する事が多くまた、症状のカギとなるコミュニケーションも苦渋する事が 特徴的です。さらに症状の進行は速いため迅速な対応が必要とされます。救急救命士の専門性である「病院前救掘活動」ではこれらの学びを深める事で適切な行 察・迅速・適切な緊急度・単症度を判断する事に繋がり今後の現場活動に活かされます。 複楽計画・看護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

#### 【使用教科書·教材·参考書】

改訂百版 救急救命士 標準テキスト

学 科 : 救急救命公務員科

科目名(英)	疾病救急医学Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	深梅 亜紀子
1,20,	Emergency Medicine IV	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	後期
コース		形態	0円 主英	(単位)	(3単位)	曜日·時限	火曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

小児・窩齢者・周産期の傷病者は災害弱者(災害時要配慮者)であり災害時のみならず「病院前教護活動」ではそれぞれの特徴を考慮した対応が必要である。それは、それぞれが通常よりも自分の身に危険が差し迫った時、それを察知しても適切な行動をとることができない、または困難な者であるからである。加えて重要な症状を見逃す危険性が高い。そのため教急救命士が「病院前教護活動」行う中でそれぞれの傷病者とのコミュニケーション・IC・観察・柔軟な対応を行う事や緊急度・重症度判断・迅速な病院搬送ができる事が重要である。これらの内容に関して「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

実務経験: 1998年3月報護師免許取得 1998年4月~2011年3月ICU所属・2011年4月~2015年5月までER所属する JNTEGプロバイダー取得、JTAS緊急度・重症度判定プロバイダー取得 福岡制護協会災害支援ナース登録、日本救急医学会認定ICLSインストラクター取得 主業務はICUではROSC後の集中治療やER初期診療後の全身管理、ERでは救急初期診療・BLS-ICLS活動・災害教育を行っていた

#### (到港日經)

小児・高齢者・周産期の特殊性とその発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

<具体的な目標>

目標①小児救急疾患(発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

目標②高齢者救急(発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

目標③周産期救急疾患(その発生機序、症状、救急処置法)について説明できる

	授業計画・内容
16@8	(目標③))非妊娠時の不正出血について説明できる ・器質的疾患がある場合 子宮癌 子宮内膜症 子宮筋腫 卵巣嚢腫茎捻転・器質的疾患が無い場合 機能性子宮出血
17回目	(目標①)精神障害の分類、疫学、主要症候について説明できる。
18回員	(目標②)精神症状への基本的対応について説明できる。
190 🖹	(目標③)統合失調症、気分障害、器質性精神疾患、中毒性障容について説明できる。
20回日	(目標③)パニック障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、解離性(転換性)障害、摂食障害について説明できる。
210日	(目標③)パーソナリティー障害、精神遅滞、広汎性発達障害について説明できる。
22回目	(目標③)悪性症候群、セロトニン症候群について説明できる。
23@ 🗒	終講試験対策
- 2	
-	
準備学習 特間外学習	前提:講義日数が少ないのでこの授業を受けるには、臨床医学小児・高齢者・周崖期の理解が不可欠です。さらにそれぞれの解剖学、特徴について予習が必まです。目標①小児救急疾患の発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です 目標②高齢者救急の発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です 目標③周産期救急疾患その発生機序、症状、救急処置法について復習が必要です それぞれの復習をしっかり行う事が「病院前救護活動」での適切な観察・緊急度・重症度判断、迅速な病院搬送に繋がります。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への	「教念医療」の中でも小児・高齢者・周産期の傷病者は通常とは違う症状や病態を呈する事が多くまた、症状のカギとなるコミュニケーションも苦渋する事が特征 的です。さらに症状の進行は速いため迅速な対応が必要とされます。教念教命士の専門性である「病院前教護活動」ではこれらの学びを深める事で適切な観察 迅速・適切な緊急度・重症度を判断する事に繋がり今後の現場活動に活かされます。 授業計画:看護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。講義終盤には終講試験対策で国家試験過去問題(選問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

改訂口版 教急教命士 標準テキスト

学 科 : 救急救命公置員科

1100	外傷総論	必修	必修	年次	1年次	担当教員	石橋 操大
科目名 (英)	7 F 137 Oct Om	選択	20.13	70	一千次	実務経験	0
	General Introduction to Trauma	授業	講義	総時間	15時間	開講区分	後期
コース		形態	四門 非地	(単位)	(1単位)	曜日·時限	月曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

交通事故などによる外傷傷病者は、近年減少傾向にあるが、若年者における死亡原因の上位を占めている事実は変わりません。外傷の救命率を改善することで防ぎえた外傷死(PTD)を減らすことが外傷診療の大きな目的です。ロードアンドゴーとトラウマバイバスの概念と受傷機転による高エネルギー外傷の要件、それぞれの外傷による損傷を理解することが必要です。ロードアンドゴーとトラウマバイバスについては外傷システムを、受傷機転による高エネルギー外傷の要件については総務省消防庁による報告書を、それぞれの外傷による損傷は標準テキストの説明を理解する。本講義終了後、外傷システムと受傷機転による高エネルギー外傷の要件、それぞれの外傷による損傷ついて説明できるようになる。

実務経験: 教急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務

#### 【到遠目標】

改訂第11版 救急救命士標準テキスト

外傷についての傷病者の評価や受傷機転、発生機序、ショックを学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

	授業計画・内容
108	死亡統計における外傷の位置づけ、外傷傷病者の予測生存率・予測外死亡率・防ぎ得た外傷死、外傷による死亡時期について説明できる。
20目	外傷システム・トラウマバイバス・ロードアンドゴーについて説明できる。
308	力学的エネルギーと損傷との関係を説明できる。
408	直遠損傷と介遠損傷とは何かを説明できる。
508	介達損傷の原因となる外力を4種類列挙し、それぞれについて説明できる。
6回目	外力による損傷を、成傷器・損傷部位・損傷の数・それぞれの観点から分類できる。
708	四輪車の事故・自動二輪車の事故・墜落・転落などの主な受傷形態について、特徴的な受傷機転や病態について説明できる。
8回目	終講試験対策
準備学習	準備学習として各解剖学的部位の場所、機能をしっかり把握したうえで授業に参加することで、より理解が深まる。また、講義の範囲をしっかり復習することが必要となります。講義で利用した資料やノート、講義内確認小テストの見直しが必要になります。
時間外学習	●解剖生理学復習 ●講義振り返り
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
E-18 M - A	教急教命士として外傷傷病者、外傷対応については必ず遭遇する事案であり、適確かつ迅速に対応が求められます。また、大規模災害等では多数傷病者が
受講生への メッセージ	発生する可能性があり、複数の対応者や傷病者がいるなかで運携して活動することも考えられます。傷病者を「防ぎ得た外傷死」から一人でも多く救い、適切な 判断の下、医療機関選定を行える救急救命士として現場で活躍して頂きたいです。

## 学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
(英)	WOKE YE LEW TIX	選択	2019	72	17%	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	7.8	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

〇岡優作: 教急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務 〇髙橋龍:: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また教急外来にて教急患者に対する教急教命処置を行っていた。

#### 【到遠目標】

	授業計画・内容
108	(実習前オリエンテーション) 教急処置の重要性を理解し教急救命士としての使命を説明できる。
2回目	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
308	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
408	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
5回日	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
6回目	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
708	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
80 🗎	(規律訓練) 節度を持った行動ができる。
908	(ロープ結索測練) 各種結びができる。
1008	(ローフ結索訓練) 各種結びができる。
1108	(ロープ結索訓練) 各種結びができる。
120 🗎	(ロープ結案訓練) 各種結びができる。
1308	(ローブ結索訓練) 各種結びができる。
14回目	(ローブ結索訓練) 各種結びができる。
15回員	(ローフ結索訓練) 各種語びができる。
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

11日 <i>月</i>	救急処置実習Ⅰ(基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
科目名 (英)	秋心及世天世 八型本 戶以	選択	35.13	十八	14%	実務経験	0
.,,,	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	1,24,274	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水·金曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

## 実務経験

- 〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にで10年勤務
- 〇髙橋龍二社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

医師裏請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画・内容
1608	(教命手当・止血法他) 大出血の止血方法を理解し処置できる。
1708	(教命手当・止血法他) 大出血の止血方法を理解し処置できる。
1808	(教命手当・止血法他) 大出血の止血方法を理解し処置できる。
1908	(牧命手当・止血法他) 大出血の止血方法を理解し処置できる。
2008	(救命手当・止血法値) 大出血の止血方法を理解し処置できる。
2108	(体位管理と保温) 傷病者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
22回目	(体位管理と保湿) 傷病者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
23回目	(体位管理と保温) 傷病者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
2408	(体位管理と保温) 傷病者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
25回目	(体位管理と保温) 傷病者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
26回冒	(体位管理と保温) 傷所者の主訴や症状による体位管理・保温ができる。
27回目	(搬送法・各種担保取扱い) 徒手及び各種担架での搬送ができる。
28回目	(般送法・各種担架取扱い) 徒手及び各種担架での搬送ができる。
2908	(搬送法・各種担架取扱い) 徒手及び各種担架での搬送ができる。
3008	(振芝法・各種担架取扱い) 徒手及び各種担架での搬送ができる。
準備学習 特間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、瞬間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎 身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名(英)	救急処置実習 I (基本手技)	必修 選択	必修	年次	I年次	担当教員 実務経験	岡 優作 / 高橋 龍 ○
(50)	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	124	実習	総時間	360時間	崩講区分	通年
コース		形態	7.0	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水·金曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急教命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結索、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

### 実務経験

○岡優作: 教急隊・教急教命士として福岡市消防局にて10年勤務 ○髙橋龍: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

教急教命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

### 【到達目標】

	授業計画・内容
31回目	(バイタル測定) 意識を確認し意識レベルを評価できる。
32回目	(バイタル測定) 意識を確認し意識レベルを評価できる。
33@ 🗎	(バイタル測定) 呼吸(回数・様式) を確認し評価できる。
34@ 🗟	(バイタル測定) 呼吸(回数・様式) を確認し評価できる。
35@ 目	(バイタル測定) 循環 (脈拍) を確認し評価できる。
36回目	(バイタル測定) 循環 (脈拍) を確認し評価できる。
37回目	(バイタル測定) 聴診器を使用し呼吸音・心音を聴取できる。
38回目	(バイタル測定) 聴診器を使用し呼吸音・心音を聴取できる。
39回目	(バイタル測定) 血圧計で血圧測定ができる。
40回目	(バイタル測定) 血圧計で血圧測定ができる。
410日	(バイタル測定) SP02モニターで破素飽和度を測定できる。
42回目	(バイタル測定) SP03モニターで酸素飽和度を測定できる。
43回目	(気道確保) 担手的気道確保法(頭部後屈あて先拳上法・下顎拳上法)が実施できる。
440目	(気道確保) 用手的気道確保法(頭部後屈あご先拳上法・下顎拳上法)が実施できる。
45@ 🗏	(気道確保) 用手的気道確保法(頸部後屈あご先拳上法・下顎拳上法)が実施できる。
準備学習 寺間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、問 関外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
(英)	17/2/22/23/24/11/2/	選択	X3 13	F-9X	17%	実務経験	0
(54)	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日・時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結索、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

### 実務経験

○岡優作: 救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務 ○髙橋龍:: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### (到達目標)

	授業計画・内容
46□目	(気道確保) 用手的気道確保法(頭部後届あご先拳上法・下顎拳上法)が実施できる。
47回目	(気道症保) コアウエイを用いた気道確保法 (経口・経鼻エアウエイ) が実施できる。
48回目	(気道確保) エアウエイを用いた気道確保法 (経口・経身エアウエイ) が実施できる。
49 🗆 🗎	(気道確保) エアウエイを用いた気道確保法 (経口・経鼻エアウエイ) が実施できる。
50回目	(気道確保) ユアウエイを用いた気道確保法 (経口・経鼻エアウエイ) が実施できる。
51@目	(気道確保) ユアウエイを用いた気道確保法 (経口・経鼻エアウエイ) が実施できる。
5208	(気道確保) ユアウエイを用いた気道確保法 (経口・経鼻エアウエイ) が実施できる。
53回目	(気道確保・補助呼吸) BVB (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
54回目	(気道確保・補助呼吸) BYM (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
55回目	(気道確保・補助呼吸) BVM (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
56□目	(気道確保・補助呼吸) BYM (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
57回目	(気道確保・補助呼吸) BWH (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
58回目	(気道旋保・補助呼吸) BVM (バッグ・バルブ・マスク) を用いた気道確保法が実施できる。
59回目	(胸骨圧迫) - 胸骨圧迫 (BUS) が実施できる。
600 🗎	(胸骨圧迫) 胸骨圧迫 (BLS)が実施できる。
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが、 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎を 身につけましょう。

### 学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 [(基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 俊作 / 高橋 龍
(英)	12/2/2017	選択	25.119	750	170	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	1XX	実習	総時間	360時間	開講区分	<b>通年</b>
コース		形態	Xe	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水·金曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

〇國優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

救急救命士標準テキスト 改訂り版(へるす出版)

- ○髙橋龍川社会際療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務
- 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また教急外来にて救急退者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画・内容
6108	(胸骨圧迫) - 胸骨圧迫(BLS)が実施できる。
62回目	(胸骨圧迫) 胸骨圧迫 (BLS) が実施できる。
63@8	(胸骨圧迫) 胸骨圧迫(BLS)が実施できる。
64回目	(胸骨圧迫) 胸骨圧迫(BLS)が実施できる。
65回目	(AED) AEDが実施できる。
66□ 🗎	(AED) AEDが実施できる。
6708	(AEO) AEDが実施できる。
68回目	(AED) AEDが実施できる。
69回目	胸骨圧迫とAEDの一連の動作ができる。
70回目	胸骨圧適とAEDの一連の動作ができる。
71回目	胸骨圧迫とAEDの 連の動作ができる。
72 🗐 🗏	胸骨圧造とAEDの一連の動作ができる。
73回目	胸骨圧迫とAEDの一連の動作ができる。
740 🗎	(企脈蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
75@ 🗎	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にで成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命主として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが、 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎を身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

¥1.0.8	救急処置実習 1 (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
科目名 (英)	秋心及國 <b>父</b> 自 八盛春子秋/	選択	22/19	+0	1+%	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	A B	(単位)	(8単位)	曜日・時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結索、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

〇 同優作: 救急隊・救急救命士として福岡市清防局にて10年勤務

教急教命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

〇髙橋龍::社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達自標】

ISHA.	授業計画·内容
76回目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
770 🗎	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
78@ 🗐	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
79回目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
80回日	(心腸蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一速の行動ができる。
810目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
82回目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一速の行動ができる。
83回目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
840目	(心肺蘇生法とAED) 初期対応からAEDまで一連の行動ができる。
85回目	前期確認試験対策・振り返り
86回目	前期確認試験対策・振り返り
8708	前期確認試験
880月	前期確認試験
8908	前期確認試験
90回目	前期確認試験
準備学習 等間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●夜習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが。 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎で 身につけましょう。

学 科: 教急教命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
(英)	WORKENS VETTIN	選択	23.19	7-50	17%	実務経験	0
()()	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	天日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、自的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 塞務絲驗

〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

教急教命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

- ○髙橋龍三社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務
- 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また教急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画・内容
91回目	(除維動器) 心質図モニター波形を理解し、除納動が実施できる。
920 🗏	(除細動器) 心電図モニター波形を埋解し、除細動が実施できる。
93回目	(除細動器) 心管圏モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
940目	(除細動器) 心電図モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
95回目	(除細動器) 心電図モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
960日	(除細動器) 心電図モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
97回目	(除細動器) 心電図モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
98回目	(除細動器) 心雷図モニター波形を理解し、除細動が実施できる。
990 🗎	(用手的気道異物除去法) 対象に応じたハイムリック法が実施できる。
100回目	(用手的気道異物除去法) 対象に応じたハイムリック法が実施できる。
10108	(用手的気道異物除去法) 対象に応じたハイムリック法が実施できる。
1020	(用手的気道異物除大法) 対象に応じたハイムリック法が実施できる。
103□目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール鉗子が実施できる。
104回目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール針子が実施できる。
165回目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール鉗子が実施できる。
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
(英)	WENTER LEATING	選択	35.19	7-0	14%	実務経験	0
(30)	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結案、一次教命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

○ 岡優作: 救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務○ 髙橋龍:: 社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画・内容
106回目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール鉗子が実施できる。
107回目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール組子が実施できる。
108回目	(器具による気道異物除去法) 喉頭鏡・マギール鉗子が実施できる。
109回目	(口腔内吸引) 目的に応じた吸引器が実施できる。
110回目	(印腔内吸引) 目的に応じた吸引器が実施できる。
11108	(口腔内吸引) 目的に応じた吸引器が実施できる。
11208	(口腔内吸引) 目的に応じた吸引器が実施できる。
1130 🗎	(声門上デバイス) ラリンゲアルマスクが実施できる。
1140日	(声門上デバイス) ラリングアルマスクが実施できる。
115@目	(声門上デバイス) ラリングアルマスケが実施できる。
116回目	(声門上デバイス) ラリンゲアルマスクが実施できる。
117回目	(声門上デバイス) ラリンがアルチョーブが実施できる。
118回目	(声門上デバイス) ラリンゲアルチョーブが実施できる。
119回目	(声門上デバイス) ラリンケアルチューブが実施できる。
120回目	(声門上デバイス) ラリングアルチューブが実施できる。
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが、 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎を身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

						_	
¥1 C 2	救急処置実習 1 (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
科目名 (英)	<b>从心是世天日八金布于汉</b> /	選択	3C.13	+//	144	実務経験	0
(50)	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	7. 8	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水·金曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

○同優作: 教念隊·教急救命士として福岡市消防局にて10年勤務 ○髙橋龍…社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

### 【到達目標】

	授業計画・内容
12108	(声門上デバイス) ラリングアルチューブが実施できる。
1220 🗎	(声門上デバイス) ラリンゲアルチューブが実施できる。
123回目	(破素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
124回目	(酸素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
125回目	(酸素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
126回目	(酸素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
127回目	(酸素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
128回目	(酸素投与) 目的・状態の応じた酸素投与が実施できる。
1290日	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
130回目	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
131回目	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
132回目	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
133回目	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
134回目	(気管内挿管)プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
135@ 🖺	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
準備学習 時間外学習	平前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	消防官及び救急教命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎身につけましょう。

## 学 科 教急救命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 俊作 / 高橋 龍
(英)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択	2019	十次	175	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	1,2,2%	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	7.6	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水·金曜、I·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

○岡優作: 救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務 ○髙橋龍::社会医療法人 陽明会 小波灘病院にて2年7ヶ月勤務

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また教急外来にて教急患者に対する教急教命処置を行っていた。

#### 【到達目標)

	授業計画・内容
136回目	(気管内挿管) プロトコールに応じた気管内挿管が実施できる。
137回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
138回日	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
139回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
140回日	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
141回日	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
142回目	(MCES) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
143回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
144回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリア・ジ (START要法) が実施できる。
145回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリア・ジ (START変法) が実施できる。
1460 🗎	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる、
147回目	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
148@ 🗎	(MCLS) 多数傷病者発生時のトリアージ (START変法) が実施できる。
149回目	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。
150回目	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。
準備学習 特間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、問 問外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎 身につけましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 I (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
(英)	从心及巨大日子(基本) 14/	選択	20.13	十久	14%	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急教命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やロープ結案、一次教命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本授業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

#### 実務経験

- 〇周優作、教急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務
- 〇髙橋龍:社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務

教急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画·内容					
151回日	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
1520日	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
153回日	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
154回目	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
155回日	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
156回冒	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
157回目	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
158₽目	(静脈路確保) ブロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
159回目	(静脈路確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
160回目	(静脈発確保) プロトコールに応じた静脈路確保が実施できる。					
16108	各種振り返り・復習(前期・後期)					
162回目	各種振り返り・復習(前期・後期)					
163回目	各種振り返り・復習(前期・後期)					
164回目	各種振り返り・復習(前期・後期)					
165回目	各種振り返り・復習(前期・後期)					
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習					
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。					
受済生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本勤作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが、 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎を身につけましょう。					

学 科 : 救急救命公務員科

1:1 E 2	救急処置実習 1 (基本手技)	必修	必修	年次	1年次	担当教員	岡 優作 / 高橋 龍
料目名 (英)	秋心及國天台(基本)12/	選択	25.1/35	十次	1700	実務経験	0
()()	Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	12.4	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	天日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	水・金曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士としてまず基本を身につけることが重要です。集団行動で必要となる規律訓練やローブ結素、一次救命処置(AED&CPR)等の基本手技を 身につけることが必要となります。個人手技や班、グループとして実習を行い、規律訓練やそれぞれの手技の意味、目的、内容を理解し本投業修了時には習得した 基本手技が実施できるようになる。

### 実務経験

〇岡優作:教急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

| 救急救命士標準テキスト||改訂口版(へるす出版)|

- ○髙橋龍:社会医療法人 陽明会 小波瀬病院にて2年7ヶ月勤務
- 医師要請時のドクターカーの運用業務に携わる。また救急外来にて救急患者に対する救急救命処置を行っていた。

#### 【到達目標】

	授業計画・内容
166回目	各種振り返り・復習(前期・後期)
167回目	各種振り返り・復習(前期・後期)
16808	各種振り返り・復習(前期・後期)
169@ 🗐	学年末試験(前期・後期で習得したことができる)
170回目	学年末試験 (前期・後期で習得したことができる)
171回目	学年太試験 (前期・後期で習得したことができる)
172回目	学年末試験(前期・後期で習得したことができる)
173回目	学年末試験(前題・後期で習得したことができる)
174回目	学年未試験(前期・競馬で習得したことができる)
175回目	学年末試験(前期・後期で習得したことができる)
176回目	学年未試験 (前期・後期で習得したことができる)
177@8	学年未試験(前期・後期で智得したことができる)
178回目	学年末試験(前期・後期で智得したことができる)
179回目	学年末試験(前期・後期で智得したことができる)
180回目	学年未試験(前期・後期で習得したことができる)
準備学習 時間外学習	事前学習は必要ありませんが、実習で習った項目については時間外復習が必要となります。実技や手技については難しいものもありまりますが、時間外に反復して復習・練習することで必ず出来るようになります。 ●復習 ●反復練習
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	消防官及び救急救命士として必要となる基本動作・基本手技については必ず必要になります。また、初めて習う内容なので難しいかもしれませんが、 1つ1つ確実に練習し、繰り返し行うことで出来るようになります。また、習うことに興味を持ち、取り組むことが大事となります。しっかりと1年次に基礎を身につけましょう。

学 科 教急救命公務員科

科目名(英)		必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員 実務経験	選辺 正信 / 石橋 操大
(X)	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	3,24,24	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月·木曜、I·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の教急現場を想定した活動を模擬教急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

- ○選迫 正信 : 宗像地区消肪本部にて42年勤務 · 穀助隊·穀急隊·指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 採大 : 救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の教急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
108	(オリエンテーション)教急処置の重要性を理解し教急救命士としての使命を説明できる。
20目	(規律訓練)節度を持った行動ができる。
308	(規律訓練)節度を持った行動ができる。
408	(規律訓練)節度を持った行動ができる。
508	(心肺蘇生法)適切な心肺蘇生法(BLS)が出来る。~1年次の理解及び習得度確認~
6回目	(心肺蘇生法)適切な心肺蘇生法(BLS)が出来る。~1年次の理解及び習得度確認~
7回目	(心肺蘇生法)適切な心肺蘇生法(BLS)が出来る。~1年次の理解及び習得度確認~
808	(心肺蘇生法)適切な心肺蘇生法(BLS)が出来る。~1年次の理解及び習得度確認~
908	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
100目	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
1108	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動OVD)
1208	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として教急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
13回目	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
1408	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
150 🗎	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
準備学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。
	時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実 なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に教急教命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える教急救命士を 目指しましょう。

【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂口版 (へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

							Control of the Contro
科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
(英)	双心龙色关音 I (心川) [X)	選択	32/12	十久	24%	実務経験	0
.,,,,	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	175.24	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月·木罐、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、教念教命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の教急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

- 〇遊辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- ○石橋 操大:教急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

#### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
16回目	(心肺蘇生法)心肺停止患者の対応として救急隊の活動ができる。(デモ活動DVD)
(7回目	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
18回目	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
19回目	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
200 🗎	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
21回日	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技·DVD)
22 🗆 🖹	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技·DVD)
23回目	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
240目	(器具を使用した気道確保)ラリンゲアルチューブ(LT)が実施できる。(基本手技・DVD)
25回目	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
26回 🗎	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
27回目	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
280 🗎	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
29回日	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
30回冒	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。
準備学習 特間外学習	時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確認なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士を目指しましょう。

救急救命士標準テキスト 改訂(1版 (へるす出版)

学 科: 教急教命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
(英)	级心之世关首立(心川) 137	選択	25/19	4%	244	実務経験	0
1,24,	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	天白	(単位)	(8単位)	曜日・時間	月・木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 实務経験

〇選辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。

〇石橋 操大:救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

救急教命士標準テキスト 改訂 口版 (へるす出版)

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
31回目	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
32回目	(器具を使用した気道確保)心肺停止患者の対応として救急隊の活動及びラリンゲアルチューブが実施できる。(デモ活動DVD)
33回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
34@₿	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
35@目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
36回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVO)
37回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
38回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
39回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
40回目	(器具による気道異物除去)異物による窒息患者に対して器具を用いた異物除去法が実施できる。(喉頭鏡・マギール鉗子・DVD)
41 🛛 🗎	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技・DVD)
420目	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技·DVD)
43 <b>□</b> 🖹	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技·OVD)
4408	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技·DVD)
45回目	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技・DVD)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
満生への <sup>メ</sup> ッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士自指しましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	置辺 正信 / 石橋 操大
(英)		選択	2015	17	6470	実務経験	0
(30)	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	126.244	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日・時限	月・木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解 版、情報、過90な対応、20回、過90なと近辺にあると、そのであり、2000年であります。また、別の政府では20日日の、2000年で、デス、8日間、日の20年であ し、各処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。 実際の教念現場を想定した活動を模擬教急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

### 实務経験

- ○発辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。 ○五橋 操大:教急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到遠目標】

救急救命士標準テキスト 改訂11版 (へるす出版)

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
46⊞ 🗎	(気管内種管) 気管挿管が実施できる。 (基本手技・DVD)
470 🗎	(気管内挿管) 気管挿管が実施できる。 (基本手技・DVD)
480 🗈	(気管内挿管) 気管挿管が実施できる。 (基本手技・DVD)
4900 🖯	(気管内挿管) 気管挿管が実施できる。 (基本手技・DVD)
50回 🗈	(気管内挿管)気管挿管が実施できる。(基本手技・DVD)
5100	(気管内挿管) 気管挿管が実施できる。 (若本手技・DVD)
\$2 🗈 🖹	(気管内揮管) 気管挿管が実施できる。 (基本手技・DVD)
530 🗎	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
540 🗎	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
550月	(気管内運管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
56 <b>0</b> A	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
570目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
58回日	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デュ活動DVD)
59@8	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として液急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
60回目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として液急隊活動、異物除去法、気管挿管が実績できる。 (デモ活動DVD)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にで成績評価を行う。
受講生への メッセージ	

学 科: 救急救命公共員科

科目名	救急処置実習 Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
(英)	我怎及世来自从(PD/79于1X)	選択	פויש	+0	240	実務経験	0
.,,,,	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月・木曜 1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 通報、通知ない、とは、通知などがは、自然を見られる。これでは、またいないでは、またいでは、自然を表現しています。 、必要の特度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。 実際の教念現場を想定した活動を模擬教念隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

○選辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 | 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。 ○石橋 操大:救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 | 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の教急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
610月	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
62回目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として教急隊活動、異物除去法、気管揮管が実施できる。 (デモ活動DVD)
63回目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DYD)
64回目	(気管内種管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DMD)
65回目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
66回目	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
6708	(気管内挿管) 異物による窒息で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
6800	(気管内挿管) 異物による室具で心肺停止患者の対応として救急隊活動、異物除去法、気管挿管が実施できる。 (デモ活動DVD)
69回目	(1次病院実習前) 看護科実習室で行うナーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
70回目	(1次病院実習前) 看護科実習霊で行うナーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
71回目	(1次病院実習前) 看護科実習室で行うサーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
7208	(1次病院実習前) 看護科実習室で行うナーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
730日	(1次病院実習前)看激料実習室で行うナーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
74回目	(1次病院集習前) 看護科実習室で行うナーシングケアができる。 (看護科へ依頼)
75回目	(1次病院実習前) 看護科実習室で行うナーシングケアができる。 (看護科本依頼)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
透講生への メッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で研なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士目指しましょう。

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるず出版)

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習 Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
(英)	7人已是巨大自立(10/11 1 12)	選択	25.15	7%	2+3/	実務経験	0
1247	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月·木曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### · (1) (4) (2) (2)

- ○游辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊·救急隊·指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 操大:救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務。救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

救急教命士標準テキスト 改訂11版 (へるす出版)

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の教急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
76回目	(1次病院実習前)看護科実習室で行うナーシングケアができる。(希護科へ依頼)
77回目	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。 (履歴書・誓約書等記人)
78월 🗐	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。 (履歴書・禁約書等記入)
79 🖻 🖹	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。(自程表・病院割り振り・タイムスケジュール等)
80@ 🗎	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。 (レポート関連)
8108	中間試験【LT・器具を用いた気道確保・気管挿管】
82回目	中間試験【ロ・器具を用いた気道確保・気管挿管】
830	中間試験【1.7・器具を用いた気道確保・気管挿管】
8408	中間試験【IT・器具を用いた気道確保・気管挿管】
85@目	(外傷) JPTECプロバイダーコースタスクを実施する。
86回目	(外傷) JPTECプロバイダーコースタスクを実施する。
87回目	(外傷) JPTECプロバイダーコースタスクを実施する。
880 🗏	(外傷) JPTECプロバイダーコースクスクを実施する。
890 🖹	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。 (報告会・フィードバック)
9001	(1次病院実習前) 1次病院実習オリエンテーションを行う。 (報告会・フィ・ドバック)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
満生への <sup>(</sup> ッセージ	

学 科: 救急救命公務員科

和日夕	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	年次 2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
科目名(英)	AND CONTROL OF THE PROPERTY OF	選択	2019	7-7	2千久	実務経験	0
1,50	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	關講区分	通年
コース		形態	天白	(単位)	(8単位)	曜白·時限	月·木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の教急現場を想定した活動を模擬教急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

### 実務経験

- 〇灘辺 正信:宗徐地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 操大、教急隊・教急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到遠目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
9108	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
920目	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
93回日	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
94回目	(静脈路硫保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
95回目	(静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
96回目	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
97回目	(静脈路鏡保) 静脈路鏡保が実施できる。 (基本手技・DVD)
98回目	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
990 🖹	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手接・DVD)
100回日	(静脈路確保) 静脈路確保が実履できる。 (基本手技・DVD)
10106	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
102回目	(静脈路確保) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
103回目	(静脈路確保及び炎剤接与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
1040	(静脈路確保及び薬剤没与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
105回目	(静脈路確保及び薬剤投り) 静脈路確保が実施できる。(基本手技・DVD)
準備学習 間外学習	準備学習。1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習。隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成級評価を行う。
:講生への (ッセージ	救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処館が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した際活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士・自指しましょう。

### 【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂 口版 (へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
(英)	秋心及歷天日 I (10/11 ) 1X/	選択	25.13	十久	27%	実務経験	0
.,,,	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時間	月・木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

実務経験 〇選辺 正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 - 救助隊、救急隊、指揮隊を綴て幹部議員である消防長となる。

〇石橋 操大:教急隊・教急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 教急隊・教急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
106回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
107回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
108回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
109回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
110回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
11108	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
112回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
113回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
140 🗎	(静脈路確保及び薬剤投与) 静脈路確保が実施できる。 (基本手技・DVD)
115回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
116回目	(静脈路確保及び薬剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
11708	(静脈路確保及び薬剤投与)心肺等止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
118回目	(静脈路確保及び薬剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
119回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
120回目	(静脈路確保及び薬剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
:講生への (ッセージ	数急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士目指しましょう。

### 【使用教科書・教材・参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂11版 (へるす出版)

学 科 : 救急救命公務員科

#1 D D	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
科目名 (英)	双岛及II 关音 II (心用于反)	選択	פויש	**	4十久	実務経験	0
1207	Emergency Gare Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日・時限	月·木曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急取場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 家務終驗

- 〇選辺 正信 : 宗像地区消防本部にて42年勤務 | 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 操大: 救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の教急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
121回目	(静脈路確保及び薬剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
122回目	(静脈路確保及び渠剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、染剤投与が実施できる。(デモ活動DVD)
123回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
124回目	(静脈路確保及び漢剤投与)心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
125回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 心肺停止患者の対応として教急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
126回目	(静脈路確保及び薬剤投与) 心肺停止患者の対応として救急隊活動、静脈路確保、薬剤投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
127回目	(血熱測定) 血糖測定が実施できる。 (基本手技・DVD)
1280 🖸	(血糖測定) 血糖測定が実施できる。 (基本手技・DVD)
129 🛮 🖯	(血塘測定) 血塘測定が実施できる。 (基本手技・DVD)
130@ 🖯	(血糖測定) 血糖測定が実施できる。 (基本手技・DVD)
1310 🗎	(血糖測定及びブドウ糖投与)血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。(基本手技・DVD)
1320 🗎	(血糖測定及びブドウ糖投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVD)
133回目	(血糖測定及びブドウ糖投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVD)
134回目	(血糖測定及びブドウ糖殺与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVD)
135□目	(血糖測定及びブドウ納投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手接・DVD)
準備学習 時間外学習	準備学習: 1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習・隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確認なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士を目指しましょう。

【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂11版 (へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

_							
科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 搡大
(英)	我心心也关目 I (心用于我)	選択	3C.18	+%	2+0	実務経験	0
1,507	Enlergency Care Practical Training (Applied Skills)	120	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	7.0	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月・木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

- ○遊辺正信:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を終て幹部職員である消防長となる。 ○石橋 操大:救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
136回目	(血糖測定及びブドウ糖投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVO)
137回目	(血糖測定及びブドウ糖投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVD)
138@ 🖹	(血糖測定及びブドウ糖投与) 血糖測定及びブドウ糖投与が実施できる。 (基本手技・DVD)
139回目	(血標測定及び静脈路体保、ブドウ糖投与) 低血精が疑われる患者の対応として救急隊活動、血糖測定、静脈路確保、ブドウ糖投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
140回目	(血熱測定及び静原路僅保、ブドウ糖投与) 低血糖が疑われる患者の対応として救急隊活動、血糖測定、静脈路確保、ブドウ糖投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
14108	(血標測定及び静脈路確保、ブドウ糖殺与) 伝血語が疑われる患者の対応として教急隊活動、血糖測定、静脈路確保、ブドウ糖殺与が実施できる。 (デモ活動PPD)
142回目	(血精測定及び静脈路確保、ブドウ独投与) 低血糖が疑われる患者の対応として数急隊活動、血精測定、静脈路確保、ブドウ糖投与が実施できる。 (デモ活動DVD)
143回目	(血糖測定及び静懸路症候、ブドウ焼没与) 低血癌が延われる患者の対応として教急移活動、血糖測定、静脈路確保、ブドウ糖投与か実施できる。 (デモ活動DVD)
144@ 🗏	(血緯离定及び静脈路は保、ノドウ糖投与) 低血標が疑われる患者の対応として微急移活動、血熱稠定、静脈路確保、ソドウ糖投与が実施できる。 (デモ活動BDD)
145@ 🗎	(血感測定及び静脈路位保、ブトウ標投与) 処血場が緩われる患者の対応として教急除活動、血標測定、静脈路確保、ブドウ糖投与が実施できる。 (デエ活動DVD)
1460 🗎	(血軽測定及び静脈路確保、ブドウ爆投号) 低血管が延われる患者の対応として致急隊活動、血摂制定、静脈路確保、フドウ糖投与が実験できる。 (デモ活動DVD)
147回目	(外傷スキル・JPTEC)外傷スキル(JPTEC)が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価】
148回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価】
149回目	(外傷スキル・JPTEC)
150回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価】
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成縁評価を行う。
受講生への メッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士・目指しましょう。
【使用教科	= · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

教急教命士標準テキスト 改訂口版 (へる寸出版)

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修 必修	年次	2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大	
(英)	<b>秋心及性关目 4 (10)11 ] [X</b> /	選択	25/19	7.2	24%	実務経験	0
.,,,,	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	実習	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月・木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の教急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### GP XX £X 服余

- ○選辺 正信: 宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊·救急隊·指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 操大: 教急隊・教急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 教急隊・救急救命士

### 【到遠目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計劃。内容
151回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル(JPTEC)が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察】
152回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察】
153回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手接・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察】
1540 🗎	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察】
155回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。(基本手技・DVD)【状況評価・初期評価・全身観察・継続観察・詳細観察・東内活動
156回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル(JPTEC)が実施できる。(基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察・継続観察・詳細観察・車内活動
157回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。(基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察・継続視察・詳細観察・車内活動
158回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷スキル (JPTEC) が実施できる。 (基本手技・DVD) 【状況評価・初期評価・全身観察・継続観察・詳細観察・車内活動
159回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
160回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する故急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
16108	(外傷メキル・JPTCC) 外傷傷病者に対する故急隊活動、外傷メキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
162@ 🖹	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
163回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
16408	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DYD)
165回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
準備学習 特間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
と講生への メッセージ	数急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士自指しましょう。

救急救命士標準テキスト 改訂11版 (へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

初日夕	救急処置実習Ⅱ(応用手技)	必修	必修	年次	E次 2年次	担当教員	灘辺 正信 / 石橋 操大
科目名 (英)	秋志処直英音11/心用于权)	選択	22/19	+ 4	24%	実務経験	0
(50)	Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	授業	<b>rate</b> 30	総時間	360時間	開講区分	通年
コース		形態	実習	(単位)	(8単位)	曜日·時限	月·木曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の教急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、 情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の目的、適応、手技、評価、合併症及び注意点を理解し、各 処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。

実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。 本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 实務経験

- ○護辺 正信、宗豫地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。
- 〇石橋 保大:救急隊・救急救命士として北秋田市消防本部にて2年勤務 救急隊・救急救命士

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
106回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する教急隊活動、外傷スキル (JPTEC) に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
167回目	(外傷スキル・JPTEC) 外傷傷病者に対する教急隊活動、外傷スキル(JPTEC)に基づく活動が実施できる。 (デモ活動DVD)
168回目	(外傷スキル・IPTEC) 外傷傷病者に対する救急隊活動、外傷スキル(JPTEC)に基づく活動が実施できる。(デモ活動DVD)
169回目	(総合演習) 学年未試験に向けた練習・復習を行う。
170回目	(総合演習) 学年末試験に向けた練習・復習を行う。
17108	(総合演習) 学年未試験に向けた練習・復習を行う。
1720目	(総合演習) 学年未試験に向けた練習・復習を行う。
173回目	学年未試驗(1) (静脈路確保・薬剤投与)
1740目	学年末試験,i) (静脈路確保・染剤投与)
175回目	等年未試験(1) (静脈路確保・葉剤投与)
176回目	等年末試験(I) (静脈路確保·薬剤投与)
177回目	学年来試験(1)(静脈路確保・薬剤投与)
17808	学年未試験(1) (静脈路確保・薬剤投与)
179回目	学年末試験①(静脈路確保・薬剤投与)
18008	学年未試験(j) (静脈路確保・薬剤投写)
準備学習 時間外学習	準備学習:1年次で習った手技を復習すること。また、隊で精報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	定期実技試験・学年末実技試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。(年次で身につけたスキルを再確認し、より)に確で確なスキルになるように頑張りましょう。2年次は主に救急救命処置を活用した隊活動になります。一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急救命士を目指しましょう。

### 【使用教科書·教材·参考書】

教急教命士標準テキスト 改訂口版 (へるす出版)

学 科 : 救急救命公務員科

¥11日夕	救急処置実習皿(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
科目名 (英)	7次心心色天白血(100日于12)	選択	36,13	+4	34%	実務経験	0
,,,,,	Emergency Care Practical Training (Comprehensive Skills)	1225	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	7.6	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急教命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の教急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状 態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、教急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなけ ればなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有してい きます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 実務経験

〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

〇佐方祐貴: 救急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防爲にて11年勤務

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
108	(オリエンテーション) 3年次の到達日標を周知し、実智規則を説明し、卒業実技試験の教急隊の隊編成を行う。
20 🗐	(オリエンテーション) 中年次の到達且標を周知し、実習規則を説明し、卒業実技試験の数急隊の隊編成を行う。
3₽₽	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリングアルチューブを使用し、実施できる)
408	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
508	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の教急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
608	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリングアルチューブを使用し、実施できる)
7回目	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
808	(心肺停止状態の患者を想定した活動) - 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
908	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
10回冒	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
110目	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の教急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
12回目	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の教急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブを使用し、実施できる)
130 🗎	(心病停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う (ラリンケアルチョーブ・除細動を使用し、実施できる)
1408	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う (ラリングアルチューブ・徐維動を使用し、実施できる)
15回目	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
準備学習 特間外学習	準備学習:1.2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
で講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。12年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救救命士を目指しましょう。

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

学 科 : 救急救命公務員科

科目名(英)	救急処置実習皿(総合手技)	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員 実務経験	岡 優作 / 佐方 祐贵 〇
(24)	Emergency Care Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の教急現場を想定した活動を救急教命士として実施できるようになる。

### 実務経験

〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

〇佐方祐貴, 教急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤務

### (到達目標)

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画:内容
160 🗎	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
1708	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチョーブ・除細痢を使用し、実施できる)
18回日	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューン・除細動を使用し、実施できる)
190 🗎	(心肺停止状態の患者を想定した活動) 教急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
20回目	(心肺停止状態の患者を想定した活動)   救急隊として心肺停止状態患者の救急活動を行う。 (ラリンゲアルチューブ・除御動を使用し、実施できる)
2108	(駒琉進者を想定した活動) 教急隊として腕痛を避える患者(生体~人形) の教急活動を行う。 (ラリンケアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
22回目	(胸痛患者を想定した活動) - 政急隊として胸痛を訴える進者(生体へ入形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除絶動を使用し、実施できる)
23回目	(脆痛患者を患定した活動) 教急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンゲアルチョーツ・除細動を使用し、実歴できる)
24回目	(胸痛患者を想定した活動) 教急隊として胸痛を訴える患者(生体へ入形) の教急活動を行う。 (ラリンゲアルチューツ・除細務を使用し、笑施できる)
25回目	(腐痛患者を想定した活動) 教急終として胸痛を訴える患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンゲアルチューツ・除補動を使用し、実施できる)
26回目	(胸節患者を想定した活動) 教急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形)の牧急活動を行う。(ラリングアルチョーブ・除剤動を使用し、実施できる)
27回目	(脈痛患者を思定した活動)   救急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除維動を使用し、実施できる)
28回目	(路埔連者を想定した活動) 教急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリンダアルチューブ・除細動を使用し、実履できる)
29回目	(絢靡患者を想定した結構) 教急隊として駒痛を訴える患者(生体~入形) の教急活動を行う。(ラリングアルナューブ・除細動を使用し、実施できる)
30回目	(胸痛患者を想定した活動)   救急隊として胸痛を訴える患者(生体~入形)の執急活動を行う。(ラリンケアルチョ・フ・漁細動を使用し、実施できる)
準備学習 評別外学習	準備学習:1.2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
S講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。教急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりま ん。12年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える教 救命士を目指しましょう。

### 【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

11 B 2	救急処置実習Ⅲ(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
■ 科目名 (英)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択	2019	十八	343	実務経験	0
(30)	Emergency Gare Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	天日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけるようません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有してい

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

### \* 務経験

- 〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務
- 〇佐方祐貴: 救急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤業

#### 【到漆田煙】

翼習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
31回日	(胸痛患者を想定した活動) 救急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形) の救急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
32回目	(胸痛患者を想定した活動) 教急隊として胸痛を訴える患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除細動を使用し、実施できる)
33回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体〜人形)の教急活動を行う。(ラリングアルチョーブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
34 🛭 🖹	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
35回目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体へ入形)の救急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・気管種管を使用し、実施できる)
36回目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
37回目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体〜人形)の救急活動を行う。(ラリングアルチョーブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
38□目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンケアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
39回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体へ大形)の教急活動を行う、(ラリンゲアルチョーブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
40回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
410目	(総合)   教急隊として想定内容に応じた患者(生体~大形)の救急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
42回目	(総合) 収急隊として想定内容に応じた患者(生体〜大形)の救急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
43回目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンケアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
4408	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(ラリンケアルチューブ・除細動・気管挿管を使用し、実施できる)
45@目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体〜大形)の敷急活動を行う。(ラリングアルチューフ・除細動・気管挿管・静脈路確保を使用し、実施できる)
準備学習 時間外学習	準備学習:12年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成綴評価を行う。
受講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1.2年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急 救命士を目指しましょう。

### 【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅲ(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
(英)	WIND THE PROPERTY OF THE PROPE	選択	25.15	70	04%	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Comprehensive Skills)	132.75	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	ЖB	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが電要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者 患者)の状情報。適切な対応 処置。適切な医療機関選定等を理解する とが必要となります また 救急救命処置の精度を高め。傷病者(患者 の対応力を身につけなけばなりません 実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し 実施した活動をフィード、ックし 隊としてそれぞれの役割を理解し 情報を共有しています

本長業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 実務経験

- 〇岡俊作、教急隊・教急救命士として福岡市消防局にて10年勤務
- 〇佐方祐貴: 救急隊・収益収命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤務

### 【到達自標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
46回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・気管挿管・静脈路確保を使用し、実施できる
47回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラサングアルチューツ・除御動・気管損管・静脈路症保を使用し、実施できる
48回目	(総合) 教急隊として規定内容に応じた患者(生体~入形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除録動・気管揮管・静脈器確保を使用し、実施できる
49回目	(総合) 数急隊として想定内容に応じた患者(生体~大形)の教急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除細動、気管挿管・静脈路強保を使用し、実施できる。
50回目	(総合) 放急隊として想定内容に応じた患者(生体~入形)の教急活動を行う。 (ラリンケアルチューブ・降油動・気管挿音・静脈路確保を使用し、実施できる)
5108	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。 (ラリンケアルチューブ・除細動・気管挿管・静脈路線像を使用し、実施できる)
5208	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~大形)の教急活動を行う。 (ラリングアルチョ・・2・除細動・気管挿管・静脈路確保を使用し、実施できる)
53回目	〔総合〕 救急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急額動を行う。(ラリンがアルチューブ・除細動・気管所管・静脈路確保を使用し、実施できる)
54回目	(総合) 教急隊として建定内容に応じた患者(生体~大形)の教急活動を行う。 (ラリンケアルチューブ・陸割動・気管挿管・静脈路硫像を使用し、実施できる)
55回目	(総合) 核急隊として起定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリンケアルチョーソ・除細動・気管挿管・静脈路確保を使用し、実施できる)
56回目	(総合) 教急隊として想先内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラサングアルチューフ・除細動・気管挿管・静脈路確保を使用し、実施できる)
57回目	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTEC プロトコールが実施できる)
58@ 🗐	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (PTECプロトロールが実履できる)
59回目	(外傷) 教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
60回目	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコールが実施できる)
準備学習 寺間外学習	準備学習:1,2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1.2年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救急 数命士を目指しましょう。

【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅲ(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
(英)	TARREST TO THE TARRES	選択	20/19	7%	0+×	実務経験	0
.,,,,	Emergency Gare Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び教急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

### 实務経験

〇岡優作、救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務

〇佐方祐貴, 救急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて口年勤務

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

		授業計画·内容
61回目	(外傷)	軟急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
62回目	(外傷)	教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
63回目	(外傷)	教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の教急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
64回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコールが実施できる)
65回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコールが実施できる)
66回目	(外傷)	教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の教急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
67回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコールが実施できる)
68回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコールが実施できる)
69回目	(外傷)	教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
70回日	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
71回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
72回日	(外傷)	教急隊として外傷思定内容に応じた患者(生体)の教急活動を行う。 (JPTFCプロトコール・静脈路確保が実施できる)
73回目	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
7408	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
75@ 🗐	(外傷)	救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECフロトコール・静脈路確保が実施できる)
準備学習 指別外学習		習:12年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 習・隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定	試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	3年間の	集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりま 欠で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える**

【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂口版(へるず出版)

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習皿(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
(英)	次心な色文 B 加 (間 1 1)()	選択	20.119	7%	04%	実務経験	0
	Emergency Care Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の教急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

#### 実務経験

- ○岡俊作 救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務
- 〇佐方祐貴: 教急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤務

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の教急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
7608	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
77 🛭 🗎	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。(JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
78回目	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
79回目	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
8008	(外傷) 救急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・静脈路確保が実施できる)
81回目	(総合) 教急隊として独定内容に応じた患者(生体~入形)の教急活動を行う。(ラリンゲアルチューブ・除御動・静脈路確保・薬剤投与を使用し、実施できる
82 🗆 🗎	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除御動・静脈路確保・薬剤殺与を使用し、実施できる
83回目	(総合) 救急酵として想定内容に応じた患者(生体~大形)の救急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・静脈路硫保・薬剤投与を使用し、実施できる。
840目	(符合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体〜人形)の教急活動を行う。(ラリンゲアルチョーブ・除細動・静脈路確保・薬剤投与を使用し、実施できる
85回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(シリンケアルチュ・ブ・除細動・静脈路緯像・薬剤投与を使用し、実施できる
860 🗎	(総合) 救急隊として想定内等に応じた患者(生体〜人形)の執急活動を行う。(クリングアルチューブ・除証動・静脈路確保・要剤投与を使用し、実施できる
87@目	『総合》
88回目	(総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体〜人形)の救急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除御動・静脈路確保・炎剤投与を使用し、実施できる
89回目	(総合)   敦急隊として想定内容に応じた患者(生体~人形)  の教急活動を行う。(ラリングアルチューツ・除細動・静脈路確保・要剤及与を使用し、実施できる
90回目	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(生体へ大形)の教急活動を行う。(ラリングアルチョーブ・除細動・静脈路確保・奨剤投与を使用し、実施できる
準備学習 特間外学習	準備学習:1.2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
S講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。12年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救救命士を目指しましょう。

【使用教科書·教材·参考書】

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

学 科: 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習皿(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
(英)	AND CEXTEN (NOT 1 1X)	選択	20,119	7%	07%	実務経験	0
(50)	Emergency Gare Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	大日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、I·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急救命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の救急現場を想定した活動を救急救命士として実施できるようになる。

### 実務経験

- 〇岡優作:救急隊・救急救命士として福岡市消防局にて10年勤務
- 〇佐方祐貴, 教急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤務

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画・内容
91 🛭 🗎	(総合) 教急隊として想定内容に応じた患者(作体~人形)の教急活動を行う。(ラリングアルチューブ・除細動・静脈路確保・炎剤投与を使用し、薬庭できる
92@ 🖹	台総合) 救急隊として想定内容に応じた患者(生体〜人形)の救急活動を行う。(ラリンケアルチューブ・除細動・静脈路確保・薬剤投与を使用し、実施できる
93回目	(外傷) 敦急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う、 (IPTECプロトコール、除細動・ラリングアルチューブ・静脈路確保が実施できる
940日	(外傷)   救急隊として外傷想達内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。 (JPTECプロトコール・除細動・ラリングアルチェップ・静脈路位長が実施できる
95@ <b>=</b>	(外集) 教急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(JPTECフロトコール・除細糖・ラリングアルチューツ・静脈路旋探が実施できる
96回目	(外傷)   教急隊として外傷想達内容に応じた患者(生体~入形)の教急活動を行う。 (JPTECフロトコール・除細動・フリングアルチューツ・静脈器確保が実施できる
97回日	(外傷)   故意隊として外傷想定内容に応じた患者(生体へ大形)の故意結動を行う。(JPTECフロトコール・除翻動・ラリンゲアルチューフ・静脈器管僅が実施できる
98回目	(外傷) 数急隊として外傷想定内容に応じた患者(生体~大形)の教急活動を行う。(JPTECフロトロール・除細動・プリングアルチューブ・静無路確宜が実施できる
990 🗏	(外傷) 教急隊として外傷無定内容に応じた患者(生能~人形)の教急結動を行う。(PPECプロトコール・除理動・シリングアルザニ・ブ・静脈路微望が実施できる
100回目	(外集) 教急隊として外傷型定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(JPTCフロトロール・旅補助・プリングアルチューフ・静脈器銃保が実施できる
1010	(外側)
102回目	(外傷) 教急隊として外傷想定内容に応じた患者(他体~人形)の救急活動を行う。(JPTECプロトロール・除額動・ラリングアルチョーツ・静脈路確保が失いできる
103回目	(外傷)   核急隊として外傷想定内容に応じた患者 (生体~入形) の救急所務を行う。 (JPTCプロトロール・除細萄・フリングアルチューフ・静寂路確保が実施できる
104回目	(外傷) - 概念隊として外化想定内容に応じた患者(生体へ大形)の教念活動を行う。(JPTCプロト:ハール・旅額動・プリングアルチョーフ・静脈路気保が実施できる
105回目	(総合) 救急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
準備学習 寿間外学習	準備学習:1.2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。 時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に最後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりません。1.2年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える救救命士を目指しましょう。

### 【使用教科書·教材·參考書】

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

学 科 : 救急救命公務員科

1100	救急処置実習Ⅲ(総合手技)	必修	必修	年次	3年次	担当教員	岡 優作 / 佐方 祐貴
科目名 (英)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	選択	35,18	7%	34%	実務経験	0
120	Emergency Gare Practical Training (Comprehensive Skills)	授業	実習	総時間	225時間	開講区分	通年
コース		形態	天日	(単位)	(5単位)	曜日·時限	火曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防官及び救急教命士として現場で活動する内容を理解し把握することが重要です。実際の救急活動で必要となる状況評価(発症機序)や傷病者(患者)の状態、情報、適切な対応、処置、適切な医療機関選定等を理解することが必要となります。また、救急救命処置の精度を高め、傷病者(患者)の対応力を身につけなければなりません。実際の救急現場を想定した活動を模擬救急隊として訓練し、実施した活動をフィードバックし、隊としてそれぞれの役割を理解し、情報を共有していきます。

本授業修了時には実際の教急現場を想定した活動を教急教命士として実施できるようになる。

### 実務経験

○岡優作:救急隊・救急教命士として福岡市消防局にて10年勤務

救急救命士標準テキスト 改訂11版(へるす出版)

〇佐方祐貴: 救急隊・救急救命士として津久見市消防本部にて2年勤務・熊本市消防局にて11年勤務

### 【到達目標】

実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身に付け、実際の救急現場での対応が出来るようになる。

	授業計画·内容
106回目	(総合) 救急隊として内囚・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
107回目	(総合) 救急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
108回目	(総合) 教急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
109回目	(総合) 救急隊として内囚・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
110回目	(総合) 救急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の教急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
111回目	(総合) 教急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
11208	(総合) 教急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
113回目	(総合) 救急隊として内因・外傷想定内容に応じた患者(生体~人形)の救急活動を行う。(各プロトコールが実施できる)
準備学習	準備学習:1.2年次で習った手技を復習すること。また、隊で情報を共有し連携を高める。
特間外学習	時間外学習:隊活動の練習を反復して練習する。隊活動の練習については基本想定を実施し、フィードバックまで行うこと。 個人練習できる手技については復習すること。
評価方法	実技認定試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	3年間の集大成を発揮する為に競後まで努力しましょう。救急現場で実際の傷病者に対して適切な対応や処置が出来るようにならなければなりまし、6.1.2年次で身につけたスキルを再確認し、より正確で確実なスキルになるように頑張りましょう。そして一人でもでも多くの傷病者、患者を救える教教命士を目指しましょう。

学 科: 救急救命公務員科

#1 C 2	公務員講座(総合・面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	灘辺 正信
科目名 (英)	為1分與确定(心面) 面按/	選択	进机	十八	3十次	実務経験	0
1347	Public Servant Lecture (Advanced Application)	1.8.35	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	/R B	(単位)	(23単位)	曜日・時限	水曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある数量、知見を有する数量が、とのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

前出になるためには、1次試験(教養試験)突破をし、2次試験(面接試験)に合格する必要がある。2次試験は人物を重視した面接試験であるが、何度もいろいろは チェと練習をする必要がある。

第44章 無常地区消防本部にて42年勤務。教助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。

### 【到達目標】

- 目標の消防の情報収集をしながら、自己分析をし、何か強みなのかなど基礎を固めた上で面接練習に臨み、公務員2次試験(面接試験)で最終合格を勝ち取る。
- く具体的な目標> 目標①講話や情報収集又は説明会を通して、公務員の現状を知ることができる 目標②自己分析をし、自分の強みを知ることができる 日標③自己分析を元に受け答えができる

- 目標④模擬面接会や集団討論などいろいろなことを実施し、最終的に2次試験に合格できる

	授業計画・内容
135回目	就職についての講話
136回目	目標①消防士になるためには(救急教員)の講話 公務員試験情報収集の仕方などがわかる
137回目	目標①公務員情報を元に就職受験先を決めることができる。
1380 🖹	目標①就職受験先について情報収集をするができる。
139回目	目標①履歴書作成に必要な情報をまとめることができる
140回目	目標②自己分析ができ、自己分析シートに書くことができる
14108	目標②自己分析ができ、長所短所が書くことができる
142回目	目標②自己分析ができ、志望動機が書くことができる
143回目	目標②履歴書を完成し、自分の強みがわかる
14408	目標③履歴書を元に、いろいろな質問でも受け答えができる
145□目	目標③履歴書を元に、少し圧迫ぎみな質問でも受け答えができる
146@ 🖹	目標③集団面接 2チームに分け、受け答えができる
147回目	目標①消防試験に合格するため(教急教員)の講話やどのようなことをしておかないといけないかがわかる
148回日	日標④集団討論1回目 題を与え、2チームに分け、その題について討論をし、フィードバックする
14908	目標④集団討論2回目 題を与え、3チームに分け、その題について討論をし、フィードバックする
準備学習 時間外学習	自己分析は、きちんと自分自身を振り返り、面接ノートを作成するのをおすすめします。そのノートを元に而接練習を繰り返し、その度ごとにノートを書きかえることで自分だけのノートが出来上がります。それから、目標とする消防の情報収集が不可欠になります。時間を見つけては、消防のホームペーシや消防年報を見て、面接で言うことを整理した方が、よりスムーズに本番の而接に認むことができます。
評価方法	消防試験最終合格に目標に立て、而接練習(集団面接・個別面接)や集団討論などの演習を交えながら、総合的に評価する。 ●提出物(20%) ●面接練習(20%) ●模擬面接金(60%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	面接練習は、いろいろな先生にしてもらうのがベストです。一人で乗り越えるのではなく、たくさんの先生の力を借りながら、アドバイスをもらいながら、彩 り返し繰り返し面接練習をして下さい。努力あるのみです。努力した人は、必ず最終合格が勝ち取ることができます。頑張って下さい。

【使用教科書·教材·参考書】

教材、自己分析シート、直近3年間の復元シート(消防ごと)1次試験用・2次試験用

学 科 : 救急救命公務員科

				45-			
MEA	公務員講座(総合・面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	難辺 正信
料目名 (英)	五份資酬生(水)日 田政/	選択	JES 171	+4	3千次	実務経験	0
(50)	Public Servant Lecture (Advanced+Application)	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	次日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水曜、3・4時限日

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

消防士になるためには、(次試験(教養試験)突破をし、2次試験(面接試験)に合格する必要がある。2次試験は人物を重視した面接試験であるが、何度もいろいろな先生と練習をする必要がある。

実務経験:宗像地区消防本部にて42年勤務 救助隊・救急隊・指揮隊を経て幹部職員である消防長となる。

### 【到達目標】

- 目標の消防の情報収集をしながら、自己分析をし、何か強みなのかなど基礎を固めた上で面接練習に臨み、公務員2次試験(面接試験)で最終合格を勝ち取る。 <具体的な目標>
- 目標①講話や情報収集又は説明会を通して、公務員の現状を知ることができる

教材、自己分析シート、直近3年間の復元シート(消防ごと)1次試験用・2次試験用

- 目標②自己分析をし、自分の強みを知ることができる
- 目標③自己分析を元に受け答えができる
- 目標④模擬面接会や集団討論などいろいろなことを実施し、最終的に2次試験に合格できる
- 目標(3)病院実習に提出する履歴書を完成することができる。

	授業計能・内容
150回目	目標⑤病院実習先の情報をより多く集めることができる。
1510目	目標⑤病院実習先の情報を元に履歴書を作成することができる。
152回目	目標⑤履歴書を完成させ、いつでも志望動機を答えることができる。
1530 🗏	終講試験対策【履歴書】
154回目	終講試験対策【模擬面接】
準備学習 時間外学習	自己分析は、きちんと自分自身を振り返り、面接ノートを作成するのをおすすめします。そのノートを元に面接練習を繰り返し、その度ごとにノートを書きかえることで自分だけのノートが出来上がります。それから、目標とする消防の情報収集が不可欠になります。時間を見つけては、消防のホームページや消防年報を見て、面接で言うことを整理した方が、よりスムーズに本番の面接に臨むことができます。
評価方法	消防試験最終合格に目標に立て、面接練習(集団面接・個別面接)や集団討論などの演習を交えながら、総合的に評価する。 ●提出物(20%) ●面接練習(20%) ●模擬面接会(60%) 剥合で成績評価を行う。
	面接練習は、いろいろな先生にしてもらうのがベストです。一人で乗り越えるのではなく、たくさんの先生の力を借りながら、アドバイスをもらいながら。 繰り返し繰り返し面接練習をして下さい。努力あるのみです。努力した人は、必ず最終合格が勝ち取ることができます。頑張って下さい。
【使用教科	Be· 教材·参考型】

学 科 : 救急救命公務員科

和 B A		必修	必修	年次	1年次	担当教員	山園 陽介
科目名 (英)	161 <b>4</b> 0.14 <del>3.</del>	選択	92,113	十八	1千次	実務経験	
	Information Science	授業	演習	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	/ <del>**</del> / =	(単位)	(2単位)	曜日·時限	木曜、2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

Powor Point、Excel、Wordの基本操作をマスターすることはもちろんであるが、ネット社会を今後生き抜くために必要なスキル・知識を身に付けさせる。 (例) バソコン、スマホ、USBメモリ、スマートウォッチの持ち込み事情 バソコンを買う前に押さえておきたいOS、オフィスソフト Web全般、SNS界隈の大人の亦情

### 【到達目標】

目標①Power Pointの基本操作を理解し、資料作成ができる。

- 日標①Power Pointの基本操作を理解し、資料作成ができる。 目標②Excelの基本操作を理解し、資料作成ができる。 目標③Wordの基本操作を理解し、資料作成ができる。 目標④Youtubeのサムネイルやインスタグラムの投稿画像を編集、制作することができる。

	授業計画・内容
108	目標① 自己紹介をするこができる。
2回目	目標① クラスメイトを紹介することができる。
3回目	目標② タイピングテストの結果を記録してグラフにすることができる。
408	目標① PC室の利用ルールをブレゼンテーションすることができる。
5回目	目標② 出張旅費精算などのフォーマットを前さずに編集することができる。
6回目	目標② 学校のフォーマットを活用して履歴書を作成することができる。
708	目標③ 研修や食事会の案内を作ることができる。
808	特別目標 オンライン共同編集について体験することができる。
908	自標④ 制作や投稿をするにあたっての注意事項などを聞き、理解を深めることができる。
100目	目標④ テンプレートを自ら探り、同等のものを制作することができる。
1108	目標④ 文字の装飾や画像の取り込み方、配置になれることができる。
1208	目標② 【学ぶはマネぶ】お手本となる動画を探し、その通りに制作をすることができる。①
13回日	目標④【学ぶはマネぶ】お手本となる動画を探し、その通りに制作をすることができる。②
1408	目標④ お題を考えて独自の動画を制作することができる。①
15@ 🗎	目標④ お題を考えて独自の動画を制作することができる。②
學備学習 智学外間	復習は不可欠である!
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	「学ぶ」の語源は「マネぶ」である。今後は学生という鎧をぬぐため、もう守ってもらえない!社会に出たら全員が平等に扱ってくれないし、やり直しが出来ない環境になる!そのためにも人の良い部分をマネて成果を出していく必要性がある。また、一度覚えても復習しなかったら、長期記憶として定済するのは25%程度しかない!必ず復習をするようにしてください。

滋慶学園指定テキスト使用 [COMPUTER BASIC Power point Excel Word]

学 科 : 救急救命公務員科

科目名 (英)	英会話・医学英語	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	ILC
1,247	English Conversation Medical English	授業	演習	総時間	30時間	開講区分	前期
コース		形態	八八日	(単位)	(2単位)	曜日·時限	木曜、1時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

グローバル化している現代社会において、患者の多様化に対し、医療従事者として適切な対応を行う為、一般的な医学英語を習得する必要がある。 一般的かつ日常的医療英語習得の為、リスニングやコミュニケーション、プリント等を使用した授業により単語や文法を理解し、本授業終了時には日常的・一般的な 英会話を用いてコミュニケーションや対応が出来るようになる。

### 【到達目標】

医療従事者として必要とされる日常英会話の基礎を学び、グローバル化している現代社会において順応な対応ができる。

<具体的な目標>

目標①日常英会話の基礎を学び、一般的なコミュニケーションをとることが出来る。

目標②日常英会話の基礎を学び、医療従事者として一般的な医療英語を用いて患者に適切な対応が出来る。

	授業計画・内容
i 🗆 🗎	Orientation, & Chapter I 受付で使用する重要単語を理解できる。
208	Chapter 1 受付で対象者と基本的な英語対応ができる。
308	Chapter 2 病院案内において英語で対応できるよう整形外科や小児科、眼科などを英語で表現でき、また案内もできる。
400	Chapter 2 病院案内において英語で対応できるよう整形外科や小児科、眼科などを英語で表現でき、また案内もできる。
5□目	Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。
6回目	Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。
7回目	Chapter 4 様々な患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。
8回目	Chapter 4 様々な患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。
90 🖹	Chapter 5 問診(既往歴・家族歴)に関する基本的な英語対応ができる。
10回目	Chapter 5 問診 (既往歷・家族歷)に関する様々な英語対応がスムーズにできる。
1108	Chapter 6 問診(アレルギー・生活習慣)に関する基本的な英語対応ができる。
1208	Chapter 6 問診(アレルギー・生活習慣)に関する様々な英語対応がスムーズにできる。
13回目	Chapter 7 内科1(身体測定・診察時の表現)に関する英語対応ができる。
140 🗏	Chapter 8 - Vital signs: students will learn how to describe vital sign measurements to patients 内科2 (バイタルサインの測定)に関する基本的な英語対応ができる。
15□目	総復習
準備学習 時間外学習	必要に応じて、事前にテキストに目を通して単語を確認しておく、授業後に分からなかった箇所を再確認しておいて下さい。
評価方法	定期試験にて知識・技能の到達評価を行う。 ●定期試験 (1903) 上記にて成績評価を行う。
	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 医療英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用数科書·教材·参考書】

教科書 ILC国際語学センター 医療英語コミュニケーション。特定非営利活動法人 医療・福祉英語検定協会

学 科 : 救急救命公務員科

110.0	生命・医学倫理	必修	必修	年次	1年次	担当教員	濵﨑 大稀
科目名 (英)	工机运产品注	選択	9Z.1195	十八	140	実務経験	
	Life Medicine Theory	授業	iam	総時間	15時間	開講区分	前期
コース		形態	649 TX	(単位)	(1単位)	曜日・時限	木曜、3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命士がかかわる対象は、ヒト、すなわち「人間」である。そしてすべての人間が日々営んでいる生活については、自分自身の体験や、家族や友人、あるいは学 校や職場といった地域社会で出会う人々との人間関係を通じて、自ずと理解できているが、その多くの部分を、常識化した社会通念として、他者と共有しているもと 考えることが必要である。

また、救急救命士の業務遂行には、救急医学を中心とした医学全般にわたる知識や、救急医療制度に関する理解、さらには、傷病者の救護や撤送に必要な種々の 技術を身につけることが必要であり、これらを科学的アプローチと科学的思考とに基づいて行うことにより、救急救命士の業務の質が担保され、救急医療の進捗がも たらされる。

たられる。 さらに、救急救命士に許されている医行為は、現状において限定的であり、基本的に医師の指示の下で行われるが、医療を行う医療従事者であることについては同 列であるため、医学的に、かつ、倫理的に正しい医療を行う基本原則を理解する必要がある。集団ディスカッションやグループワーク等の授業により医療の基本概 念を理解し、本授業終了時には救急救命士として医療従事者として適切な対応ができるようになる。

### 【到達日摄】

生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる出来事を学び、倫理的基盤を身につけ、医療人として対応することができるようになる。 <具体的な目標>

目標①人間と人間生活についてが説明できる

改訂第日版 教急教命士標準テキスト

目標②生命倫理と医の倫理について説明できる、

	授業計画・内容
10 🗎	(目標①)人間の身体と心、人間の生活と暮らしについて説明できる
2回日	(目標①)「科学的思考」をもって業務を遂行するための知識を習得し、自然科学の基盤となる「客観性」について説明できる
3回目	(目標①)「仮説」とその「実証」から「事実」を導く手法を学び、自然科学における「再現性」と「普遍性」の重要性について説明できる
408	(目標②)救急隊員としての社会的な具体的責務や日常的な業務について倫理的な意義について列挙できる
5回目	(目標②)傷病者が自ら判断する能力を評価し、判断できないときに支援できる
6回目	(目標②)業務の内容について傷病者・家族らにわかりやすい説明ができ、同意を得ることができる
7@8	(目標②)傷痛者が搬送の業務などを拒否した場合の対応方法を説明でき、傷病者が終末期にある場合に、対応策を選択できる
8@ 🖹	終講試験対策
準備学習	特に事前学習は必要ありません。しかし、講義内容の復習はしっかり行いましょう。 ●復習・見直し
可间外子音	♥1½ 台 * YX. 世 U
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
	医療人として救急救命士を志す者として必要な原則的知識となります。基本的原則を理解した上で医療人として患者を対応してください
受講生への メッセージ	

学 科 : 救急救命公務員科

科目名(英)	病理学	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員 実務経験	濵崎 大稀
	Pathology	授業	講義	総時間	30時間	開講区分	後期
コース		形態	i用 我	(単位)	(2単位)	曜日·時限	木曜、4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病理学では、疾患についての基礎的な知識から疾患や病態における所見、医療で用いる用語、細胞レベルでの変化や損傷の種類、また死についてまで 幅の広い内容を学ぶ。資料やスライドを用いて各分野の理解度を高めていく。病理学を修了するときには各分野の内容を説明できるようになる。

### 【到達目標】

疾病の病因病理学や微生物と感染・免疫との相互関係について基礎的内容を理解することができるようになる。

<具体的な目標>

目標①疾患について説明できる。 目標②炎症と感染について説明できる。

目標③循環障害について説明できる。

目標④退行性病変と進行性病変について説明できる。

日標の腫瘍について説明できる。 日標の先天異常について説明できる。 日標の損傷について説明できる。

目標®死について説明できる。

	授業計画・内容					
108	(目標①)原因、発症と経過について説明できる。					
208	(目標①)回復に必要な要素、疾患の予防について説明できる。					
3回目	(自標②)炎症について説明できる。					
408	(自標②)感染症について説明できる。					
508	(目標③)虚血、うっ血について説明できる。					
608	(目標③)出血、血栓と塞栓について説明できる。					
7回目	(目標③)梗塞、浮腫について説明できる。					
8回目	(目標④)退行性病変、進行性病変の違いや種類について説明できる。					
908	(目標⑤)腫瘍について説明できる。					
10回目	(目標⑤)良性腫瘍と悪性腫瘍の違いや特徴について説明できる。					
1108	(自標⑥)内因性先天異常、外因性先天異常について説明できる。					
12回目	(目標⑦)損傷、創傷治癒について説明できる。					
1300	(目標®)死の概念、死体現象について説明できる。					
140目	(目標®))死にかかわる手続きと検査、死体の尊厳について説明できる。					
150目	終講試験対策					
準備学習 時間外学習	(目標①~⑧)について予習として使用教科書を熟読し、解剖学・生理学の復習が必要です。					
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う					
受講生への メッセージ	解剖学・生理学の内容を理解していることが前提となる科目で、病理学を修了するころには医療従事者として必要な基礎知識を網難していなければならない。授業を終えた後も身につけた知識を失わないように、継続的に復習をするようにしてください。 また国家試験に出題される範囲としても多い分野となります。真剣に授業に取り組んでください。					
【使用教科	 					

改訂11版 教急教命士 標準テキスト

学 科 : 教急救命公務員科

110.0	公衆衛生学	必修	必修	年次	1年次	担当教員	濵﨑 大稀
科目名(英)	A X (4)	選択	9C/1/≥	-1 3	1年次	実務経験	
	Public Health	授業	A X	総時間	15時間	開講区分	後期
コース		形態	144 47	(単位)	((単位)	曜日·時限	月曜、1時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

「日本国憲法」第25条には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆 衛生の向上及び増進に努めなければならない」と謳われている。この憲法に基づいて法律の規定や各種施設が実施される。救急医療体制、教急教命士制度も健康 の維持・増進のための1つである。また、医師、歯科医師、薬剤師、石護師などの保健医療徒事者は疾病の予防、治療、リハビリテーションを通じて国民の健康を維持・増進する職種であり、救急救命士は病院前医療を通じて国民の健康の維持・増進に寄与する保健従事者である。「公衆衛生」とは「環境衛生、感染症の対策、 個々人の衛生教育、疾病の早期発見・早期治療のための保健医療サービスやすべての人が健康の保持に適した生活を送れるような社会機構の形成に対する組織 的な地域の取り組みを通じて疾病の予防・長寿を目指し、精神と身体の保持・増進を図る科学技術である」と定義されている。この内容を「整合性がとれる」ように縁 り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本授業終了時には各々の説明ができるようになる。

### 【到还目標】

近年の少子高齢化や保健所の役割、学校・母子保健、精神保健福祉等について学び、保健医療制度の仕組みと現状ついて説明できる。

く具体的な目標>

目標①公衆衛生の仕組みを説明できる

目標②医療を取り巻く環境を説明できる

目標③環境保健を説明できる

目標の公衆衛生を支える仕組みを説明できる

	授業計画·内容
108	(目標①)公衆衛生の仕組みを説明できる 1 健康とは 2 公衆衛生の定義 3 健康指標 4.公衆衛生に関係する行政組織
2回日	(目標②)医療を取り巻く環境を説明できる 1 人口構造の変化 2 疾病構造の変化 3 受療状況の変化
3回目	(目標②)医療供給体制を説明できる 1 保健医療従事者 2 医療機関 3 (医療法」と医療計画4 在宅医療と地域包括ケア
408	(目標③)環境保健を説明できる 1 食品衛生 2 公害と環境
5回目	(目標(4))公衆衛生を支える仕組みを説明できる 労働衛生を支える仕組み 1 「労働者災害補償保険法」と労働災害 2 労働衛生 3 作業関連疾患 4 トータルヘルスプロモーションブラン 5 産業医
6回目	(目標④)学校・母子保健・地域保健を支える仕組みを説明できる 1 母子保健指標 2 母子保健 地域保険を支える仕組みを説明できる 1 「地域保健法」と保健所(市町村保健センター) 2 健康増進
708	(目標④)高齢者を支える仕組みを説明できる 料神保健福祉を支える仕組みを説明できる 料神保健福祉を支える仕組みを説明できる 精神保健福祉を支える仕組み 1 入院形態 2 人権擁護 3 関連施設
808	終講試験対策
_	
準備学習 時間外学習	(目標(1))公衆衛生の仕組みを知り保健指標を学ぶ事で組織的社会活動の重要性を深める事ができるので復習が必要です。 (目標(2))医療を取り巻く環境を知る事で人口構造・疾病構造の変化を学び保健医療従事者の役割に対する理解が深まるため復習が必要です。 (目標(3))環境保健を知る事で、食中毒・環境汚染・産業廃棄物について理解でき適切な傷病者対応ができるので復習が必要です。 (目標(3))環境保健を知る事で、食中毒・環境汚染・産業廃棄物について理解でき適切な傷病者対応ができるので復習が必要です。 (目標(3))これから労働者となるため「労働者の疾病」や保障制度を知る。児童・母子・高齢者・精神保健施設について学ぶ罪で傷病者に寄り添った対応ができるため復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
	魅力:人口減少・少子高齢化が進展している現在、2035年には4人に1人が高齢者となる事が推測されます。医療技術の進歩により平均寿命は延びる一方、支援や一介護を必要とする期間も長くなります。加えて疾院受換率も高くなり病院医療体制は圧迫され傷病者の医療は傷病者の自宅や介護施設で行うのが主となります。さらに精神疾患傷病者も増加しており救急膨進性数も増加していることから救急医療体制の整備がこれまで以上に必要になります。このような保健医療制度につて知っておく事が今度の現場活動に活かされます。 投業計画・右護師として今まで経験した事をみなさんにお話ししながら授業を進めていきたいと思います。 機義終節には終護試験対策で国家試験過去問題(選択問題)を行い国家試験に備え少しずつ慣れていきたいと思います。

### 【使用教科書·教材·参考書】

教科書:改訂第日版教念教命士テキスト へるす出版

学 科: 救急救命公務員科

科目名(英)	救急症候学	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	濵﨑 大稀
						実務経験:	
(30)	Emerrency Symptomatology	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	後期
コース		形態	16 hig	(単位)	(3単位)	曜日・時間	水體 1・2時限月

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急病態生理学1で習得した内容からさらに各症候・病態生理を深める事で教命の連鎖である「二次救命処置と自己心拍再開後の集中治療」について説明できる ようになる。教急教命士は一次教命処置(BLS)と平行して「教急教命処置」の「特定行為」である薬剤投与や気道確保器具などを利用した二次教命処置を行う事でよ リ多くの傷病者の救命率の向上と予後の改善に繋がります。最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講取得をする事で本授業修了時には各々の説明ができるようにな

### (到達目標)

循環系、呼吸系、消化系、泌尿器系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 その他各種疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。

<具体的な目標>

目標①めまいについて説明できる

目標②呼吸困難について説明できる

教科書:改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

目標③喀血について説明できる

目標④失神について説明できる

目標⑤胸痛について説明できる

目標⑥動悸について説明できる

⑦腹痛について説明できる

⑧吐血・下血について説明できる

⑨腰痛・背部痛について説明できる

(⑩体温上昇について説明できる

	授業計画・内容
1 🖸 🗏	(目標①)めまいについて説明できる ・定教、概念・発症機序
20 🗒	(目標①)めまいについて説明できる ・分類1. 末梢性2 中枢性3 失神性
3回目	(目標①)めまいについて説明できる ・原因疾患末梢性、中枢性、失神性の鑑別
408	(目標①)めまいについて説明できる ・随伴症状・緊急度、重症度の判別・現場活動
508	(目標②)呼吸困難について説明できる ・定義、概念・分類1. 吸気性呼吸困難2 呼気性呼吸困難3 混合性呼吸困難
608	(目標②)呼吸困難について説明できる ・原因疾患1. 呼吸系2。循環系3. 外因系、随伴症状・緊急度、重症度の判断・現場活動
708	(目標③)喀血について説明できる ・定義・分類・喀血による影響
802	(目標③)喀血について説明できる ・原因疾患・判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
908	(目標④)失神について説明できる ・定義、概念・原因疾患
10回日	(目標例)失神について説明できる ・判別を要する病態、緊急度、重症度の判別・現場活動
1108	(目標⑤)胸痛について説明できる ・定義、概念・発症機序
12回目	(目標⑤)胸痛について説明できる ・原因疾患・疑急度、重症度の判断・現場活動
13@ 🗎	(目標⑥)動悸について説明できる ・定義、概念・発症機序
14@8	(目標⑥)動像について説明できる ・原因疾患・随伴症状・緊急度、重症度の判断・現場活動
1508	(目標⑦)腹痛について説明できる ・発生機序1。内臓痛2。体性痛3。関連痛、原因疾患1. 内臓痛2. 体性痛3. 関連痛
- PI-1	前提:この授業を受けるには、臨床医学脳神経・呼吸器・循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・循環器・呼吸器・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標①~⑥)各症候の振り返りと復習が必要です。 最終的にAHA-BLSプロバイダー受講するので事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	魅力:二次教命処置は「特定行為」であり医師との連携が必須で特定行為指示要請が必要となります。傷病者の状態を迅速に的確に伝えるためには各 疣候に関する知識が必要です。また具体的な指示を得るためには日常から自己研鑚が必要です。AHA-ACLSプロバイダー受講する事で実際に活動内 容を体験・学ぶ事で理解が深まり今後の現場活動に活かされます。 授業計画:最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講します。その必要な理論(知識)は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。

学 科 : 救急救命公務員科

							M. W. W. H 100 2 ( 1 )
#4 (7 P	救急症候学	必修	必修	年次	2年次	担当教員	濮崎 大稀
科包名 (英)	7.7.15.71E 195. 于	選択	22.75	十八	2十次	実務経験	
1347	Emerrency Symptomatology	授業	講義	総時間	45時間	閉講区分	後期
コース		形態	2P1 792	(単位)	(3単位)	曜日·時限	水曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急病態生理学」で習得した内容からさらに各症候・病態生理を深める事で救命の連鎖である「二次救命処置と自己心拍再開後の集中治療」について説明できるようになる。救急救命士は一次救命処置(BLS)と平行して「救急救命処置」の「特定行為」である薬剤投与や気道確保器具などを利用した二次救命処置を行う事でより 多くの傷病者の救命率の向上と予後の改善に繋がります。最終的にAHA-AGLSプロバイダー受講取得をする事で本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

### 【到達目標】

循環系、呼吸系、消化系、泌尿器系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 その他各種疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。

<具体的な目標>

目標(1)めまいについて説明できる 目標②呼吸困難について説明できる

目標③喀血について説明できる 目標④失神について説明できる

目標⑤胸痛について説明できる 目標⑥動悸について説明できる

(⑦腹痛について説明できる ③吐血・下血について説明できる ③腰痛・背部痛について説明できる ⑩体温上昇について説明できる

	授業計画・内容
16回日	(目標(ク)) 酸痛について説明できる ・部位から診断する疾患・既往歴から診断する疾患、随伴症候・緊急度、重症度の判断・現場活動
17回日	(目標®)吐血・下血について説明できる ・定義、概念・原因疾患1.吐血疾患2.下血疾患、判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
1808	(目標®)吐血・下血について説明できる ・吐血の性状から診断する疾患・下血の性状から診断する疾患・判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
19回員	(目標⑨)腰痛・背部痛について説明できる ・定義、概念・原因疾患で、内臓疾患 3 筋・骨格系疾患2 血管疾患
20回目	(目標®)腰痛・背部痛について説明できる ・緊急度、銀症度の判断・現場活動
210目	(目標⑪)体温上昇について説明できる ・定義、概念・発症機序・病態、発熱の種類・原因疾患・緊急度、重症度の判別・現場活動
2208	終講試験対策①
23回 目	終講試験対策②
	前提:この授業を受けるには、臨床医学脳神経・呼吸器・循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・循環器・呼吸器・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標①~⑥)各症候の振り返りと復習が必要です 最終的にAHA-BLSプロバイダー受講するので事前学習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	魅力:二次教命処置は「特定行為」であり医師との連携が必須で特定行為指示要請が必要となります。協病者の状態を迅速に的確に伝えるためには各 症候に関する知識が必要です。また具体的な指示を得るためには日常から自己研鑽が必要です。AHA-ACLSプロバイダー受講する事で実際に活動内 容を体験・学ぶ事で理解が深まり今後の現場活動に活かされます。 授業計画。最終的にAHA-ACLSプロバイダー受講します。その必要な理論(知識)は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしな い様にしてください。
7 tot 00 to X-1	d, with ### 01

### 【使用教科書·教材·参考書】

教科書:改訂第口版教念教命士テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公路員科

		1					
*1 - 2	疾病救急医学 Ⅱ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	濱崎 大稀
科目名(英)	大网络心区子里	選択	35,13	+4	24%	実務経験	
100	Emergency Medicine II	授業	2# 20G 品件 19%	総時間	45時間	開講区分	前期
コース		形態	(中) 中次	(単位)	(3単位)	曜日・時限	水曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

平成25年に急病で救急搬送された傷病者の疾病分類別で消化器疾患は10.3%を占め呼吸系・心疾患など脳疾患を抑えて首位である。

急性腹症とは「急激な発症で激しい腹痛を主とし、緊急に治療を要する解部疾患群」である。そのため迅速で的確な判断と治療が可能である医療機関への搬送が必 要となる。また、内分泌疾患は呼吸・循環と併せて生命維持のための代謝に関する知識は救急救命士に必要である。さらに血液疾患や骨格・皮膚・感覚疾患は緊急 度・重症度の判断は難しくそれぞれの基礎知識は必要とされます。 これらの内容に関する理解を深め本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

### 【到達目標】

消化・泌尿・内分泌・血液・骨格・皮膚・感覚系の主な疾患の発生機序や症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

#### く具体的な目標>

- 日標①消化器疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる 日標②泌尿器疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる 日標③内分泌疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる
- 目標④血液疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる
- 目標⑤骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる

	授業計画·内容
108	(目標①)総論(疫学と救急医療における意義 消化系疾患の主要症候 基本的対応)
20 🛭	(目標①)歯・口腔の疾患 食道疾患(食道静脈瘤破裂 マロリー・ワイス症候群 特発性食道破裂)
30 🗎	(目標①) 胃・十二指腸疾患(胃・十二指腸潰瘍 AGML 急性胃腸炎 アニサキス症 胃癌)
408	(目標①) 腸疾患(イレウス 上腸間腹動脈閉塞症 ヘルニア嵌頓 急性虫垂炎)
5回目	(目標①)關疾患(大腸穿孔大腸憩室炎 虚血性大腸炎 大腸癌 炎症性腸疾患 痔核 急性腹膜炎)
608	(目標①)肝臓、胆道、膵臓の疾患(急性肝炎 肝硬変 肝不全 肝癌 胆石症 急性胆道感染症 急性膵炎)
708	(目標②)総論(疫学と救急医療における意義 泌尿・生殖系疾患の主要症候 基本的対応)
808	(目標②)腎臓疾患(急性腎不全 急性腎障害 慢性腎不全 慢性腎臓病 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群)
900	(目標②)尿路疾患(尿路結石症 急性腎盂腎炎 急性細菌性前立腺炎 急性膀胱炎 前立腺肥大 神経因性膀胱)
10回目	(目標②)女性生殖器疾患(骨盤内感染症 卵巢紫腫茎捻転 子宮筋腫 子宮内膜症 卵巢出血)
1108	(目標②)男性生殖器疾患(精索捻転症 精巣上体炎 精巣炎)
1208	(目標③)総論(救急医療における意義 代謝・内分泌・栄養系疾患の主要症候 基本的対応)
130 🗐	(目標③)糖尿病と合併症(糖尿病 低血糖 糖尿病性ケトアシドーシス 高浸透圧高血糖症候群)
14回目	(目標③))その他の代謝異常(脱水 水電解質異常)栄養疾患(肥満 るいそう ビタミン欠乏症)
15回目	(目標③))內分泌疾患(甲状腺機能亢進症 甲状腺機能低下症 副腎機能異常)
準備学習	前提:この授業を受けるには、臨床医消化器・泌尿器・内分泌・血液・骨格・皮膚・態覚系疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学。運動学について予習が必要です。 運動学について予習が必要です。 目標①②消化器・泌尿器系疾患の知識を深める事で迅速で適切な重症度・緊急度の判断ができるため復習が必要です。 目標③内分泌疾患の理解を深める事が代謝に関する知識に繋がるため復習が必要です。 目標④血液疾患は病態不明な場合が多く観察や処置を実施するためには基本的な理解が必要であるため復習が必要です。 目標⑤骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患は緊急度は比較的低い場合が多いが歩行困難な場合は救急搬送頻度は多いため復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への	魅力:「急性腹症」は救急搬送件数が多く、緊急度が高い場合は呼吸・循環系疾患に並ぶ病態を呈する場合があります。その他生命維持に関する代謝 や血液疾患に対する知識も救急救命士は必須であり、感覚器の疾患である骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患では疾患の知識と併せて柔軟な対応やコ ミュニケーションが必要です。これらのスキルを身につける事で迅速・適切な緊急度・重症度を判断する事に繋がり今後の現場活動に活かされます。授 業計画:授業内容が多く授業で身に付ける能力として試験を随時行います。必要な理論(知識) は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠席をしない様にしてください。

教科書:改訂第11版救急救命士テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公司員科

*4 P &	———————————— 疾病救急医学 Ⅱ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	濵﨑 大稀
科目名 (英)	<b>沃州</b> 教尼区于 II	選択	357, h8>	**	440	実務経験	
120	Emergency Medicine II	授業	講義	総時間	45時間	開講区分	前期
コース		形態	研我	(単位)	(3単位)	曜日·時限	水曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

平成25年に急病で救急搬送された傷病者の疾病分類別で消化器疾患は10.3%を占め呼吸系・心疾患など脳疾患を抑えて首位である。 急性腹症とは「急激な発症で激しい腹痛を主とし、緊急に治療を要する腹部疾患群」である。そのため迅速で的確な判断と治療が可能である医療機関への搬送が必要 となる。また、内分泌疾患は呼吸・循環と併せて生命維持のための代謝に関する知識は救急救命士に必要である。さらに血液疾患や骨格・皮膚・感覚疾患は緊急度・ 棄症度の判断は難しくそれぞれの基礎知識は必要とされます。これらの内容に関する理解を深め本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

### 【到達目標】

消化・泌尿・内分泌・血液・骨格・皮膚・感覚系の主な疾患の発生機序や症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

### <具体的な目標>

- 日標①消化器疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる 目標②泌尿器疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる 目標③内分泌疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる
- 日標の血液疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる 日標の骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患について、主な発生機序や症状、対応を説明できる

	40 m 61 m;
	授業計画・内容
16回目	(目標④)総論(教急医療における意義 血液・免疫系疾患の主要症候 基本的対応)
17@8	(目標④)血液疾患(貧血 血小板減少症 白血病 血友病 紫斑病 播種性血管内凝固症候群(DIC)顆粒球減少症 止血に影響を与える薬剤)
180目	(目標⑤)総論 救急医療における意義 骨格・皮膚・感覚系(眼・耳・鼻)系疾患の主要症候 基本的対応
190 🗎	(目標⑤)筋・骨格系疾患 脊椎(急性腰痛症 椎間板ヘルニア 後縦靭帯硬化症 脊柱管狭窄)・関節(化膿性関節炎 結晶誘発性関節炎 肘内障 肩膊 節周囲炎 肩腱板損傷 変形性関節症 関節リウマチ)・筋疾患(進行性筋ジストリフィー 重症筋無力症 周期性四肢麻痺 横紋筋融解症)
20回目	(目標⑤)皮腐・軟部組織の感染症(壊死性筋膜炎 蜂巣炎(蜂窩織炎) 伝染性臓痂疹 ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群(SSSS) 丹霉)
210 🗏	(目標⑤)アレルギー性疾患(琴麻疹 スティーブンス・ジョンソン症候群(粘膜皮膚眼症候群) 中毒性表皮壊死融解症(TEN) アトピー性皮膚炎)
22回日	(目標⑤)眼·耳·鼻疾患 眼(急性緑内障発作 網膜中心動脈閉塞症 網膜剥離 結膜炎 白内障) 耳(良性頭位めまい症 メニエール病 前庭神経炎 突発性難聴) 耳(中耳炎 鼓膜穿孔) 鼻(鼻出血 急性副鼻腔炎)
23回目	終講試験対策
準備学習	前提:この授業を受けるには、際床医消化器・泌尿器・内分泌・血液・骨格・皮膚・感覚系疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学、運動学について予習が必要です。 目標①②消化器・泌尿器系疾患の知識を深める事で迅速で適切な重症度・緊急度の判断ができるため復習が必要です。
<b>新聞外学習</b>	目標③内分泌疾患の理解を深める事が代謝に関する知識に繋がるため復習が必要です。 目標④血液疾患は病態不明な場合が多く観察や処置を実施するためには基本的な理解が必要であるため復習が必要です。 目標⑤骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患は緊急度は比較的低い場合が多いが歩行困難な場合は救急搬送頻度は多いため復習が必要です。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
を講生への メッセージ	魅力:「急性腹症」は救急機送件数が多く、緊急度が高い場合は呼吸・循環系疾患に並ぶ病態を呈する場合があります。その他生命維持に関する代謝や 血液疾患に対する知識も救急救命士は必須であり、感覚器の疾患である骨格・皮膚・感覚(眼・耳・鼻)疾患では疾患の知識と併せて柔軟な対応やコミュ ニケーションが必要です。これらのスキルを身につける事で迅速・適切な緊急度・重症度を判断する事に繋がり今後の現場活動に活かされます。授業計 画・授業内容が多く授業で身に付ける能力として試験を随時行います。必要な理論(知識)は、前半の授業で行いますので体調管理には、気をつけて欠別 をしない様にしてください。
【使用数粒	■・教材·参考書]

教科書:改訂第11版教急教命士テキスト へるす出版

学 科 : 救急救命公務員科

科目名 (英)	外傷各論	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	濵﨑 大稀
1,20	Trauma	授業	譜義	総時間	600計間	開講区分	前期
コース		形態	SM TX	(単位)	(4単位)	曜日・時限	金曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

交通事故などによる外傷傷病者は、近年減少傾向にあるが、若年者における死亡原因の上位を占めている事実は変わりません。防ぎえた外傷死(PTD)を減らすことは 外傷診療の大きな目的です。最近では、消防と医療の連携が注目されているが、窩エネルギー外傷による傷病者の救命には搬送と医療の連携が大切です。この連携が上 手く機能するためには、搬送途上での適切な処置が重要であり、そのためには的確な判断ができる各外傷の知識が必要です。病院前における外傷初期診療には 「JPTEC」にて標準化されたプロトコールを理解し、各外傷や特殊な外傷について標準テキストにてしっかりとした知識を構築し、本講義終了時には病院前における外傷初 期診療が実践でき、各外傷や特殊な外傷について説明できるようになる。

### 【到達目標】

改訂第11版 教急教命士標準テキスト

各部位における外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等を学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

	授業計画・内容
108	外傷に伴う生体の反応(循環動態・炎症性メディエータ)、生体反応の破綻と「致死的外傷3微候」について説明できる。
2回目	外傷に伴う出血性ショックの病態とショックに対する輸液効果を説明でき、その他の外傷性ショックについて列挙できる。
308	状況評価で行うべきことを列挙でき、初期評価・全身観察の目的、評価項目及びそれぞれの評価時の段階で行う処置を説明できる。
408	重点観察を行うべき状況を説明でき、ロードアンドゴーか否かを適切に判定し、傷病者の緊急度・銀症度に応じて適切な搬送先医療機関を選定できる。
508	搬送中の体位管理と体温管理の注意点が説明でき、外傷によるショックに対する静脈路確保と輸液の考え方を説明できる。
6回目	詳細観察や継続観察の目的を説明し、観察項目を列挙できる。
708	外傷全体及び外傷死亡における頭部外傷の位置づけ、頭部外傷の特徴的な受傷機転について説明できる。
8□ 🗎	開放性損傷と閉鎖性損傷の違い、一次性脳損傷と二次性脳損傷の違い、頭蓋外及び頭蓋内の主な損傷の病態について説明できる。
998	頭部外傷の続発性・後遺症について説明でき、受傷機転、生理学的評価、解剖学的評価の概要を説明できる。
10@@	意識状態と重症度の関係を説明でき、単症度を高めに見積もるべき特殊な状況を列挙できる。
11回目	顔面外傷と頸部外傷の発生状況、特殊な事情、主な損傷形態とその問題点、バイタルサインの評価と処置概要を説明できる。
12回日	外傷に占める頚椎損傷の割合、好発部位、頭部・顔面外傷との関連性と、主な受傷機転による損傷形態について説明できる。
13回日	脊髄損傷の分類と代表的な損傷形態、脊髄ショックと神経原性ショック、損傷レベルと主な徴候、バイタルサイン評価と処置概要について説明できる。
140 🗎	外傷全体及び外傷死亡における胸部外傷の位置づけ、主な受傷状況と損傷しやすい臓器、胸部の典型的損傷及び外傷性窒息の病態を説明できる。
1508	受傷機転、生理学的評価、解剖学的評価の概要、主な胸部外傷に対する処置、気胸に対する陽圧換気と輸液、緊急度が高い胸部外傷を説明できる。
準備学習 時間外学習	準備学習として各解剖学的部位の場所、機能をしっかり把握したうえで授業に参加することで、より理解が深まる。また、観察におけるバイタルサインの正常値をしっかり理解したよで異常値か正常値を判別できる。また、講義の範囲をしっかり復習することが必要となります。 講義で利用した資料やノート、講義内配認小テストの見直しが必要になります。 ●解剖生理学復習 ●パイタルサイン正常値復習 ●講義振り返り
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う
受講生への メッセージ	教急教命士として外傷傷病者、外傷対応については必ず遭遇する事案であり、適確かつ迅速に対応が求められます。また、大規模災害等では多数傷病者 が発生する可能性があり、複数の対応者や傷病者がいるなかで連携して活動することも考えられます。傷病者を「防ぎ得た外傷死」から一人でも多く救い、適切な判断の下、医療機関選定を行える救急教命士として現場で活躍して頂きたいです。

学 科: 救急救命公務 科

科目名 (英)	外傷各論	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	濵崎 大稀
(央)	Trauma	授業	講義	総時間	60時間	開講区分	前期
コース		形態	<b>高冉 </b>	(単位)	(4単位)	曜日·時限	金曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

交通事故などによる外傷傷病者は、近年滅少傾向にあるが、若年者における死亡原因の上位を占めている事実は変わりません。防ぎえた外傷死(PTD)を減らすことは 外傷診療の大きな目的です。最近では、消防と医療の連携が注目されているが、高エネルギー外傷による傷病者の救命には搬送と医療の連携が大切です。この連携が上 手く機能するためには、搬送途上での適切な処置が重要であり、そのためには的確な判断ができる各外傷の知識が必要です。病院前における外傷初期診療には 「JPTEC」にて標準化されたプロトコールを理解し、各外傷や特殊な外傷について標準テキストにてしっかりとした知識を構築し、本講義終了時には病院前における外傷初 期診療が実践でき、各外傷や特殊な外傷について説明できるようになる。

### 【到達目標】

改訂第11版 救急救命士標準テキスト

各部位における外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等を学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。

	授業計画・内容
16回目	外傷に占める腹部外傷の割合と損傷しやすい臓器、鋭的損傷及び鈍的損傷の主な受傷機転とそれぞれ損傷しやすい臓器について説明できる。
17回目	腹部外傷で問題となる重要な病態、腹部臓器の損傷形態、受傷機転、生理学的評価、解剖学的評価の概要を説明できる。
18回目	腹膜刺激徴候や腹部膨満の意義、主な処置の概要、ダメージコントロール手術、外傷死の三徴、コンパートメント症候群について説明できる。
19回目	外傷に占める骨盤骨折の割合、死因、分類、受傷機転、生理学的評価、解剖学的評価の要点、触診法の意義と注意点、固定について説明できる。
20回目	四肢外傷の発生状況と外傷死亡における位置づけ、筋肉・腱・捻挫・脱臼について、病的・疲労骨折、開放性と閉鎖性の違いについて説明できる。
21回目	骨折の合併症、筋区画症候群、阻血の5P、大腿骨と各関節の損傷形態、四肢外傷の評価と適切な処置について説明できる。
220 🗐	皮膚・軟部組織損傷の分類と損傷形態の違い、デグロービング損傷とデコルマン損傷、圧座症候群、主な外傷に対する処置について説明できる。
23回日	小児の特徴、乳幼児揺さぶられ症候群、特徴的外傷、外傷時の観察(コミュニケーション)と各評価について説明できる。
240日	高齢者の特徴、主な外傷、外傷時の観察(コミュニケーションと注意点)と各評価について説明できる。
25回目	妊婦の特徴、妊娠外傷の評価・処置の注意点について説明できる。
26回 🗎	熱傷の病態、初期評価と全身観察の要点、合併しやすい病態、気道熱傷、熱傷面積、熱傷指数・熱傷予後指数・アルツの基準について説明できる。
27回目	化学損傷の特徴、症状、フッ化水素酸による化学損傷の特徴、化学性肺炎を引き起こす原因化学物質、観察と処置の要点について説明できる。
280 🗎	電撃症と雷撃症の定義、症状・病態・観察と処置、雷撃症におけるトリアージ(多数傷病者)の特徴を説明できる。
29回目	縊頸と絞頸、扼頸の違い、発生機序、觀察と処置の要点を説明できる。それぞれの咬傷による特徴と観察、処置の要点について説明できる。
30回目	終講試験対策
	準備学習として各解剖学的部位の場所、機能をしっかり把握したうえで授業に参加することで、より理解が深まる。また、観察におけるバイタルサインの正常値をしっかり理解した上で異常値か正常値を判別できる。また、講義の範囲をしっかり復習することが必要となります。講義で利用した資料やノート、講義内確認小テストの見直しが必要になります。 ●解剖生理学復習 ●バイタルサイン正常値復習 ●講義振り返り
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受譲生への メッセージ	- 救急救命士として外傷傷病者、外傷対応については必ず遭遇する事案であり、適確かつ迅速に対応が求められます。また、大規模災害等では多数傷病者 が発生する可能性があり、複数の対応者や腐病者がいるなかで連携して活動することも考えられます。傷病者を「防ぎ得た外傷死」から一人でも多く救い、適 切な判断の下、医療機関選定を行える救急救命士として現場で活躍して頂きたいです。

学 科: 救急救命公務員科

科目名	環境障害	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	濵﨑 大稀
(英)	Environmental Insults	授業	744.04	総時間	15時間	実務経験 開講区分	後期
コース	1	形態	講義	(単位)		曜日·時限	火曜、3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

気候の変化(温暖化)による熱中症患者の増加や高齢化社会による高齢者の異物による窒息、レジャー等による環境因子が生体に与える障害について講義を通じて理解する必要があります。また、環境因子による患者の対応では様々な関係者と関わる事例が多い為、連携の手法としてどのような情報が必要かをディスカッションします。本講義終了後、環境因子による障害についての概要、発症原因・分類、症状、処置等が説明できるようになる。

### 【到達目標】

改訂第11版 教急教命士標準テキスト

環境因子による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、環境因子が原因となる救急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対 応ができるようになる。

	授業計画・内容
1回目	気道異物の種類と特徴、気道の不完全閉塞と完全閉塞の症状と処置について説明できる。
208	消化管異物・鼻・耳・眼・性器異物の種類と症状、溺水の危険因子・過程・予後、溺水傷病者の観察と処置について説明できる。
3@ 🖹	熱中症の疫学・原因と発生の特徴・発生機序・分類と症状、熱中症傷病者に対する観察と処置について説明できる。
408	偶発性低体温の発生機序と病態生理、偶発性低体温傷病者に対する観察、処置の要点についてを説明できる。
5DB	放射線の概要、放射線による急性障害と晩発障害、確定的影響と確率的影響、急性放射線症候群について説明できる。
6回目	放射線被ばく防護法、区域管理とスクリーニング及び除染、傷病者の観察と処置の要点、被ばく医療体制について説明できる。
7回目	急性高山病の判断基準と観察・処置の要点、減圧障害・酸素欠乏症の症状と観察・処置の要点について説明できる。
8回目	終講試験対策
準備学習 等間外学習	環境障害を学習するにあたり、解剖生理学の復習が必要です。 さらに、熱中症については近年、気温の上昇に伴い患者数も増えていることから、環境による救急患者も増えていることを認識する必要がある。 また、環境障害についてそれぞれの特徴についてまとめると理解ができやすいと思います。 ●解剖学 ●ノート振り返り
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	気候の変化に伴い熱中症の増加、小児の海や川でのレジャー中の溺水事故、東日本大震災での放射線物質による障害、その他環境障害による 要や原因、症状をしっかり理解することが重要です。また、傷病者に対する対応や他の機関と連携して対応する活動も含めて理解が必要です。救急 命士としと傷病者を適切に観察し、医療機関に判定できるようになってい頂きたいです。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
(英)	(病院内実習)	選択	2012	45%	27%	実務経験	
	Emergency Gare Praetical Training (Hospital Climeal Placement)	1,x >K	実習	総時間	180時間	開講区分	後期
コース		形態	758	(単位)	(4単位)	曜日·時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速かつ的確な対応をしなければなりません。病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ることが出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急救命士として必要な知識やスキルを身につけることができる。

【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、教急医療機関に救急救命士として対応することができるようになる。

	授業計画・内容
108	臨牀実習要綱に基づき、医療機関担当者(指導医)に一任したもの
208	
30 🖹	
408	
5回目	
6回目	
7@ 🖹	
8@ 🗎	
9回目	
10回目	
11向目	
12回目	
13回目	
140目	
1508	
準備学習 寺間外学習	
部外子省	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	  老・牧材・参考書】

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅳ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
(英)	(病院内実習)	選択	~	120	2420	実務経験	30-1800-1800-18-18-180-180-180-180-180-18
	Linergency Care Practical Training (Hospital Chrical Placement)	12,58	実習	総時間	180時間	開講区分	後期
コース		形態	大日	(単位)	(4単位)	曜日·時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速かつ的確な対応をしなければなりません。 病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ることが出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急救命士として必要な知識やスキルを身につけることができる。

### 【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関に救急救命士として対応することができるようになる。

	授業計画:內容
16回日	
17回目	
18回目	
19回目	
20回目	
21回目	
22回目	
23回目	
24回目	
25回目	
26回目	
27回目	
28回目	
29回目	
30回目	
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	告·教材·参考書}

学 科 : 救急救命公務員科

14 D A	救急処置夷習Ⅳ	必修	必修	年次	2年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
科目名(英)	(病院内実習)	選択	1825-1139	十八	24-10	実務経験	
	Emergency Care Practical Training (Hospite) Clinical Placement)	授業	実習	総時間	180時間	開講区分	後期
コース		形態	关日	(単位)	(4単位)	曜日·時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速かつ的確な対応をしなければなりません。病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ることが出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急教命士として必要な知識やスキルを身につけることができる。

### 【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関に救急教命士として対応することができるようになる。

	授業計画・内容
31回目	
32回目	
33回目	
34回目	
35回目	
36回音	
37回目	
38回目	
39回目	
40回日	
41回目	
42回員	
43回目	
440目	
45回目	
240 (40 AM TID)	
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	= · 教材·参考書}

学 科 : 救急救命公務員科

*100	救急処置実習Ⅳ	必修	必修	年次	3年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
科目名 (英)	(病院内実習)	選択	30.1%	十八	040	実務経験	
	Emergency Care Practical Training(Hospital Clinical Placement)	TX XX	実習	総時間	180時間	開講区分	前期
コース		形態	大日	(単位)	(4単位)	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速かつ的確な対応をしなければなりません。病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ることが出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急救命士として必要な知識やスキルを身につけることができる。

### 【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、教急医療機関に救急救命士として対応することができるようになる。

	授業計画・内容
46回目	
47回目	
48回目	
49回目	
50回目	
5108	
52回目	
53回目	
540 🗎	
55回目	
56回目	
57回目	
58回目	
59@ 🖹	
60回目	
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	告·教材·参考書】

学 科: 救急救命公務員科

11 B D	救急処置実習Ⅳ	必修	必修	年次	3年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
科目名 (英)	(病院内実習)	選択	2019	70	04-00	実務経験	
	Emergency Care Practical Training (Hospital Clinical Placement)	13C 3A3	実習	総時間	180時間	關講区分	前期
コース		形態	天白	(単位)	(4単位)	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速かつ的確な対応をしなければなりません。病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ることが出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急教命士として必要な知識やスキルを身につけることができる。

【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関に救急救命士として対応することができるようになる。

	福泰社市 中市
	授業計画·内容
61回目	
62回目	
63回目	
64回目	
65@目	
66回目	
67回目	
68□目	
69回目	
70回目	
71回目	
72回目	
73回目	
74回目	
75回目	
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	香・教材・参考者】

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	救急処置実習Ⅳ	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	医療機関担当者(指導医)
(英)	(病院内実習)	選択	200	1,500	0+%	実務経験	
	Emergency Gaze Practical Training (Hospital Glimcal Placement)	12 24	実習	総時間	180時間	開講区分	前期
コース		形態	大田	(単位)	(4単位)	曜日・時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

病院内実習で実際の患者様に対しての対応や接遇が必要です。また、バイタル測定についても実際の数値が患者様の状態を左右します。救急対応では迅速か つ的確な対応をしなければなりません。病院内実習で実際の患者様を対応し、バイタル測定や観察をすることで臨床的な経験や学内で経験できないものを得ること が出来ます。実際の現場を経験する機会として、学内での実技スキルを実践できる場として積極的に行うことで、救急救命士として必要な知識やスキルを身につけ ることができる。

【到達目標】

実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関に救急救命士として対応することができるようになる。

	授業計劃・内容
76回目	
7708	
78回目	
79回目	
800 🖹	
8108	
8206	
83回目	
8408	
85回目	
86□目	
87回目	
88回目	
89回目	
900 🗎	
準備学習	
時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	
【使用教科	[ 광·教材·参考書]

学 科: 救急救命公務員科

*100	総合救急医療	必修	必修	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名 (英)	NO II TAKE IN	選択	32.198	74	34%	実務経験	
.,,,	Comprehensive Emergency Medicine	授業	演習	総時間	150時間	開講区分	後期
コース		形態	74 🗎	(単位)	(10単位)	曜日·時限	水・木・金・土曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教急救命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急救命処置概論、救急病態生理、教 急症候、疾病救急医学、外傷救急医学、急性中毒・環境障害の救急救命士として必要な総合的知識が必要となります。 救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインブット・アウトブットを行う

ことでより正確な知識を身につけます。 本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

救急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。

く具体的な目標シー目標①人体の構造と機能が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標②疾患の成り立ちと回復の過程が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標③薬物と検査の基礎知識が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標④病院前医療概論が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標④病院前医療概論が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。

目標⑤救急救命処置概論が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。

	授業計画・内容
108	(目標①) 人体を構成する要素が説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【人体の作りとその役割・体液】
2回目	(目標①) 体表からみる人体の構造が説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【人体の位置、方向、運動に関する用語・体表からみた構造と名称・体表から見える解剖学的指標・体腔内臓器の体表からの位置関係】
3回目	(目標①) 神経系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【神経系の構成と役割・中枢神経系・末梢神経系・伝導路・自律神経系・脳循環・意識・反射】
408	(目標①) 感覚系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【感覚系の構成と役割・視覚・平衡感覚、聴覚器・嗅覚器・味覚器・皮膚感覚器】
5回目	(目標①) 呼吸系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【呼吸系の構成と役割・呼吸・気道・胸郭・肺・肺胞でのガス交換・体内での酸素の働き・呼吸の調整】
6回目	(目標①) 循環系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【循環系の構成と役割・心臓・脈管・循環の制御】
7回目	(目標①) 消化系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる 【消化器・口腔、咽頭・消化管・肝臓、胆道系・膵臓・腹膜、腹腔】
898	(目標①) 泌尿系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【泌尿系の構造・腎臓・尿路】
908	(目標①) 生殖系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【生殖系の構造と役割・男性生殖器・女性生殖器】
1001	(目標①) 内分泌系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【内分泌・内分泌器官】
1108	(目標①) 血液・免疫系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【血液・血球・血漿・骨髄の構造と機能・脾臓・止血と凝固・免疫】
12回目	(目標①) 筋・骨格系、皮膚系の解剖について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【筋、骨格・筋肉・骨、関節・靭帯、腱・脊柱の構造・皮膚の構造・皮膚の役割・乳房】
1308	(目標①)) 生命の維持について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【栄養と代謝・外呼吸・循環(酸素連織と概器血流)・組織酸素代謝・内部環境】
1408	(目標②) 疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【疾患の原因・発症と経過・回復に必要な要素・疾患の予防】
150	(目標②) 炎症と感染、循環障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【炎症・感染症・虚血・うっ血・出血・血栓と塞栓・梗塞・浮腫】
	1・2年次で字んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。また、時間外に自己学習をすることを心が ける。また、教科書やノート、ブリントを使った勉強だけなく、救急救命士操擬試験や過去問を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容 を抽出する。 ●復習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●救急救命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり直し
評価方法	救急救命士国家試験模擬試験を3回実施し、(再試験・再々試験含め4回)教急救命士国家試験合格基準を用いて判定試験を行う。 (模擬試験についてはJESO統一模擬試験・JESA統一模擬試験・ELSTA模擬試験を使用する) ●出席率(67%)以上出席 ●救急救命士国家試験合格基準 上記にて単位認定及び成績評価判定を行う。
受講生への メッセージ	教急教命士国家試験は合格基準に到達すれば合格となります。なので目標が提示されている状況なので努力し継続すれば達成できます。また、教 急教命士国家試験模擬試験や過去問を繰り返し解くことで、問題の傾向や出題方法、自分の苦手な分野や項目が判断できると思います。さらに問題 によって正答率が高い問題と低い問題に別れます。高い問題は受験者にとって解きやすい問題となるため、間違えないようにしなければなりません。 低い正答率の問題はしっかりと勉強出来た人が解ける問題となります。 確実に取れる問題を閉違えないようにすることも大平です。3年間の集大成として教急教命士国家試験を合格できるように最後まで諦めずに一緒に頑張りましょう。

【使用教科書·教材·参考書】

学 科: 救急救命公務員科

_							
51 G Z	総合教急医療	必修	必修	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名 (英)	ME 日	選択	2C-1/26	70	251.50	実務経験	
.,,,,	Comprehensive Emergency Medicine	授業	液習	総時間	150時間	開講区分	後期
コース		形態	WA B	(単位)	(10単位)	曜日・時間	* * 金·土曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教念教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や教急教命処置機論、教急病態生理、教急症候、 疾病教念医学、外傷教念医学、急性中毒・環境障害の教急教命士として必要な総合的知識が必要となります。 教急教命士標準テキストによる講義や教急教命士国家試験操機試験及び過去間等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトプットを行うことでよ り正確な知識を身につけます。

本講義終了後、救急教命主国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

救急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格共準を突破できるようになる。

<具体的な目標>

改訂第11版 救急救命士標準テキスト

(条件的は日保2) 目標①人体の構造と機能が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。 目標②疾患の成り立ちと回復の過程が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。 目標③薬物と検査の基礎知識が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。 目標④病院前医療概論が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。 目標⑤救急救命処置概論が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。

	授業計劃・内容
16回日	(目標②) 代謝障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【糖質の代謝障害・胎質の代謝障害・蛋白質の代謝障害・ビタミンの異常・体液と電解質異常・酸塩基平衡異常・内分泌異常】
17回目	(目標②) 退行性病変と進行性病変、腫瘍について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる 【退行性病変・進行性病変・腫瘍とは・良性腫瘍・悪性腫瘍】
1808	(目標②) 先天異常、損傷、死について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【内因性先天異常・外因性先天異常・損傷・創傷治癒・死の概念・死体現象・死にかかわる手続きと検査・死体の尊厳】
1908	(目標③) 医薬品の基礎、重要な医薬品について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【薬物総論・薬物の有害作用・救急救命処置に用いられる薬剤・使用頻度の高い薬・輸液、輸血製剤・保存と保守管理】
200 🗎	(目標③) 医薬品の基礎、重要な医薬品について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【薬物総論・薬物の有害作用・教念教命処置に用いられる薬剤・使用頻度の高い薬・輸液、輸血製剤・保存と保守管理】
21 🗆 🗐	(目標③) 検査について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【検査の目的・基準値、カットオフ値、パニック値・検査の理額・緊急検査】
220 🗎	(目標④) 救急医療体制、災害医療体制について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【病院前医療・救急医療システム・救急医療情報・災害の概念・多数傷療者対応・トリアージ・大規模災害・特殊災害(CBRNE)】
23回目	(目標④) 教急医療体制、災害医療体制について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【病院前医療・教急医療システム・教急医療情報・災害の概念・多数傷病者対応・トリアージ・大規模災害・特殊災害(CBRNE)】
24四日	(目標値) 病院前医療体制について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【教命の連鎖・市民による一次教命処質・市民教育・メディカルコントロール】
25回目	(目標④) 消防機関における教急活動の流れ、教急教命士の役割と責任について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【119番受信と通信体制・出動・現場活動・医療機関退定と搬送・通信体制・教念活動の記録・他の関係機関との連携・病院前教展において果たすべき役割・ 医療関係職種としての責任】
2610 🖹	(目標準))救急救命士と傷病者の関係、救急救命士に関する法令について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【接遇とコミュニケーションの種類・対象に応じたコミュニケーション・救急活動でのインフォームドコンセント・法令の基本・救急救命士法・医師法・保健師助産前者護師法・消防法・医療法・その他の法令】
27回日	(目標値)) 安全管理と事故対応について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【安全管理・リスクマネージメント・傷病者の事故・救急救命士等の事故・医療事故と医療過誤・救急活動における事故の報告と対応】
28@ 🖹	(目標④) 悠染対策について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【感染予防策と感染防御・救念活動での感染防御・洗浄と消毒・感染事故と事故後の対応】
29回日	(目標係) ストレスに対するマネージメントについて説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【教急活動でのストレス・教急活動でのストレスへの対応】
30 <b>0</b> B	(目標句) 観察、現場活動の基本について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【観察の目的と意義・バイタルサイン・観察の方法・状況評価・初期評価・全身観察と重点観察・緊急度、平症度判断と医療機関選定・搬送と車内活動】
準備学習 特間外学習	1・2年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。また、時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、ブリントを使った勉強だけなく、救急教命上模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ●後習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●教急教命士国家試験複擬試験・過去問を解く・やり直し
評価方法	教念教命士国家試験校擬試験を3回実施し、(再試験・再々試験含め4回)教念教命士国家試験合格基準を用いて判定試験を行う。 (模擬試験についてはJESO統一模擬試験・JESA統一模擬試験・ELSTA模擬試験を使用する) ●出席第(67%)以上出席 ●教念教命士国家試験合格基準 上記にて単位認定及び成績評価判定を行う。
を調生 への メッセージ	救急教命士国家試験は合格基準に到達すれば合格となります。なので目標が提示されている状況なので努力し継続すれば達成できます。また、教急教命士国家試験校股試験や過去間を繰り返し解くことで、問題の傾向や出題方法、自分の苦手な分野や項目が判断できると思います。さらに問題によって正答率が高い問題と低い問題に別れます。高い問題は受験者にとって解きやすい問題となるため、間違えないようにしなければなりません。低い正答率の問題はしっかりと勉強出来た人が解ける問題となります。確実に取れる問題を問違えないようにすることも大事です。3年間の集大成として教意教命士国家試験を合格できるように最後まで諦めずに一緒に頑張りましょう。

学 科:救急教命公務員科

_							
1160	総合救急医療	必修	必修	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名(英)	W 日 秋 志 色 放	選択	9C*1/2	十次	34次	実務経験	
.,,,	Comprehensive Emergency Medicine	授業	演習	総時間	1508等[8]	開講区分	後期
コース		形態	79. ES	(単位)	(10単位)	曜日·時限	水・木・金・土曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急教命処置機論、救急病態生理、救急症 ない。 「機能・大きない」とは、対象をは、ないでは、 では、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をはない。 対象をはいます。 はいます。 はいまする。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいまする。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいまる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまる。 はいる。 はいまる。 はいる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる より正確な知識を身につけます。

本論義終了後、救急救命士園家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到逐目標》

枚急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。

<具体的な目標>

改訂第日版 教急教命士標準テキスト

目標③薬物と検査の基礎知識が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。

目標④病院前医療概論が説明でき、枚急救命士国家試験問題が解けるようになる。

目標⑤教急教命処置概論が説明でき、救急教命士国家試験問題が解けるようになる。

目標⑥救急病態生理学が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。

	授業計劃·内容
31回目	(目標的) 全身状態の観察について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【外見の観察・気道に関する観察・呼吸に関する観察・循環に関する観察・神経に関する観察】
32回日	(目標⑤) 局所の観察について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【皮膚・頭部、顔面、頭部・胸部・腹部・鼠径部、会陰部・骨盤・四肢・手指、足趾、爪】
330月	(目標等)) 緊急展・重症度判断、資器材による頻繁について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【緊急度と重症度・判断の基準・パルスオキシメータ・カプノメータ・聴診器・血圧計・心電図モニター・体温計・血糖測定器】
34回 🗟	(目標係)) 緊急度・重症度判断、資器材による観察について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【緊急度と重症度・判断の基準・パルスオキシメータ・カブノメータ・聴診器・血圧針・心電図モニター・体温計・血糖測定器】
35@8	(目標⑤) 教急教命士が行う処置について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【気道確保・気道異物除去・口腔内の吸引・声門上気道デバイスを用いた気道確保・気管挿管・気管吸引・酸素投与・人工呼吸・飼骨圧迫・除細動・静脈路確保と輸液、アドレナリン投与・自己注射用アドレナリンの投与ブドウ糖投与・体位管理・体温管理・止血・創傷処置・固定・産婦人科領域の処置】
36回目	(目標⑤) 教急教命士が行う処置について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【気道確保・気道異物除去・口腔内の吸引・声門上気道デバイスを用いた気道確保・気管挿管・気管吸引・酸素投与・人工呼吸・胸骨圧迫・除細動・静脈路硝保と輸液、アドレナリン投与・自己注射用アドレナリンの投与ブドウ糖投与・体位管理・体温管理・止血・創傷処置・固定・産婦人科領域の処置】
37回月	(目標係)) 教念蘇生法について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【成人の教急蘇生法・小児の教急蘇生法・乳児の教急蘇生法】
38回口	(目標⑤)) 在宅療養継続中の傷病者の処置、傷病者搬送について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【在宅療養とは・在宅療養への対応・殿送総論・殿送方法・殿送手順・ヘリコプターへの搬入と殿出・事故軍両からの救出方法】
39回月	(目標⑥) 呼吸不全について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・呼吸運動の障害・気道の障害・肺胞の障害・肺間質の障害】
40回日	(目標⑥) 心不全について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・病態生理・症候・極類・慢性心不全の急性増悪・現場活動】
41回目	(目標⑥) ショックについて説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・循環血液量減少性ショック・心原性ショック・心外閉塞・拘束性ショック・血液分布異常性ショック】
42回目	(目標⑥) 重症脳障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・発症機序・一次性脳病変と二次性脳病変・頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア・特殊な意識障害】
43回目	(目標⑥) 心肺停止について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・心肺停止に至る病態と原因・心電図分類・心肺蘇生中の循環・心拍再開後の病態】
44四日	(目標⑦) 意識障害、顕痛について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【原因・随伴症候・判別を要する病態・現場活動・発症機序・分類・原因疾患・発症の状況・性状・随伴症状・緊急度・重症度の判別・現場活動】
450 🖹	(自標⑦) 痩壁について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・概念・痛態・種類・原因疾患・随伴症候・判別を要する病態・緊急度・重症度の判断・現場活動】
準備学習 時間外学習	り、2年次に子のた季门付けで再及後百すること。中部するのではない原幹する。振り巡りや見回しを行う。また、時间が1-日亡子音をすることを心かける。また、教科書やノート、プリントを使った勉強だけなく、教念教命士模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ●後習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●教会教命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり市し
評価方法	救急教命士園家試験模擬試験を3回実施し、(再試験・再々試験含め4回)教急教命士国家試験合格基準を用いて判定試験を行う。 (模擬試験についてはJESC統一模擬試験・JESA統一模擬試験・ELSTA模擬試験を使用する) ●出席單(67%)以上出席 ●教急教命士国家試験合格基準 上記にて単位認定及び成務評価判定を行う。
受講生への メッセージ	秋急救命主所家試験は合格基準に到達すれば合格となります。なので目標が提示されている状況なので努力し継続すれば達成できます。また、救急救命士国家試験模擬試験や過去間を繰り返し解くことで、問題の傾向や出題方法、自分の苦手な分野や項目が判断できると思います。さらに問題によって正答率が高い問題と低い問題に別れます。高い問題は受験者にとって解きやすい問題となるため、間違えないようにしなければなりません。低い正答率の問題はしつかりと勉強出来た人が解ける問題となります。確実に取れる問題を間違えないようにすることも大事です。3年間の集大成として救急救命士国家試験を合格できるように最後まで諦めずに一緒に頑張りましょう。

学 科: 救急救命公務員科

科目名	総合教急医療	必修	必修	年次	3年次	担当教員	專任教員
(英)	100 FT 350 FE 191	選択	219	150	0-1-50	実務経験	
	Comprehensive Emergency Medicine	7,00,010	液習	総時間	150時間	開講区分	後期
コース		形態	/X E	(単位)	(10単位)	曜日・時限	水·木·金·土曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急救命処置機論、救急痛態生理、救急 「他候、疾病教急医学、外傷教急医学、急性中毒・環境障害の救急教命士として必要が総合的知識が必要となります。 放急教命士標準テキストによる議義や教急教命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトプットを行う ことでより正確な知識を身につけます。

本講義終了後、救急救命土国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到逐目標】

枚急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、教急教命士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。

改訂第11版 教念教命士標準テキスト

報念教命士国家試験に必要な知識を総合的に学む、教念教命士国家試験に必要な合 <具体的な目標> 目標○病院前医療概論が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標⑥教念病態生理学が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標⑥教念病態生理学が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標⑥教念症候学が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。 目標⑥疾病教念医学が説明でき、教念教命士国家試験問題が解けるようになる。

	投棄計画・内容
4608	(目標⑦)) 運動麻痺、めまいについて説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・概念・発症機序・分類・原因疾患・随伴症候・判別を要する病態・緊急度・重症度の判断・現場活動・定義・概念・発症機序・分類・原因疾患・随伴症候・緊急度・重症度の判断・現場活動】
4708	(目標⑦)) 呼吸困難、喀血について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・概念・分類・原因疾患・随伴症候・緊急度・重症度の判断・現場活動・定義・分類・喀血による影響・原因疾患・判別を要する病態・緊急度・重症度 の判別現場活動】
48@ 🗐	(目標の)) 失神、胸痛について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・椒念・原因疾患・判別を要する病態・緊急度・覚症度の判断・現場活動・定殺・概念・発症機序・原因疾患・緊急度・虚症度の判断・現場活動】
49@8	(日標(J)) 動体、視痛について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・概念・発症機序・原因疾患・随伴症候・緊急度・重症度の判断・現場活動・発症機序・原因疾患・部位・既往歴・随伴症候・緊急度・重症度の判断 現場活動】
50回目	(目標⑦)) 吐血・下血、腰痛・脊部痛について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【定義・概念・原因疾患・病態・判別に必要な病態・緊急度・重症度の判断・現場活動・定義・概念・原因疾患・緊急度・重症度の判断・現場活動】
\$108	(目標⑦) 体温上昇について説明できる。 国家就験問題が解けるようになる。 【定義・概念・発症機序・病態・発熱の分類と種類・原因疾患・緊急度・覚症度の判断・現場活動】
52回目	(目標®) 神経系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・脳血管障害・中枢神経系の感染症・末梢神経疾患・その他の中枢神経疾患】
5308	(目標億))神経系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・脳血管障害・中枢神経系の感染症・末梢神経疾患・その他の中枢神経疾患】
54回目	(目標®) 呼吸系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・呼吸不全・上気道の疾患・下気道と肺胞の疾患・感染症・胸膜疾患・その他の呼吸系疾患】
55回目	(目標®) 呼吸系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・呼吸不全・上気道の疾患・下気道と肺胞の疾患・感染症・胸膜疾患・その他の呼吸系疾患】
560 🛭	(目標®) 循環系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・動脈硬化・うっ血性心不全・虚血性心疾患・心筋疾患・心膜疾患・不整脈・その他の心疾患・血管疾患・高血圧・心電図の解読】
57回日	(目標®) 循環系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・動脈硬化・うっ血性心不全・虚血性心疾患・心筋疾患・心梗疾患・不整脈・その他の心疾患・血管疾患・高血圧・心電図の解読】
58回目	(目標®) 消化系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・歯、口腔疾患・食道疾患・胃、十二指腸疾患・解臓、胆道、膵臓の疾患】
50PB	(目標館) 消化系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・歯、口腔疾患・食道疾患・胃、十二指腸疾患・腸疾患・肝臓、胆道、膵臓の疾患】
60回目	(目標®) 泌尿・生殖系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・腎臓の疾患・尿路の疾患・女性生殖器の疾患・男性生殖器の疾患】
準備学習 特間外学習	1・2年次で守んた専門科目を再成復習すること。瞬記するのではなく理解する。振り返りや見面しを行う。また、時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、ブリントを使った勉強だけなく、救急救命士禄擬試験や過宏問を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ● 受診・振り返り ● 時間外自己学習・見直し ● 教念教命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり直し
評価方法	教急教命士国家試験模擬試験者3回突施し、(再試験・再々試験含め4回)教急教命士国家試験合格基準を用いて判定試験を行う。 (模擬試験についてはJESO統一模擬試験・JESA統一模擬試験・ELSTA模擬試験を使用する) ●出席率(67%)以上出席 ●教急教命士国家試験合格基準 上記にて単位認定及び成績評価判定を行う。
受講生への メッセージ	教急救命士国家試験は合格基準に到達すれば合格となります。なので目標が提示されている状況なので努力し継続すれば達成できます。また、教急 教命士国家試験模擬試験や過去間を繰り返し解くことで、問題の傾向や出題方法、自分の苦手な分野や項目が判断できると思います。さらに問題によって正答率が高い問題と低い問題に別れます。高い問題は受験者にとって解きやすい問題となるため、間違えないようにしなければなりません。低い正答率の問題はしっかりと勉強出来し入が解りる問題となります。確実に取れる問題を問違えないようにすることも大事です。3年間の集大成として救急教命士国家試験を合格できるように最後まで締めずに一緒に頑張りましょう。

学 科 : 救急救命公務 科

科目名 (英)	総合教急医療	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	専任教員
	Comprehensive Emergency Medicine	授業	演習	総時間	150時間	開講区分	後期
コース		形態	w.e	(単位)	(10単位)	曜日・時間	水·木·金·土曜、1·2·3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急救命処置概論、救急病態生理、救急症候、 疾病救急医学、外傷救急医学、急性中器・環境障害の救急救命士として必要な総合的知識が必要となります。

教急教命士標準テキストによる講義や教急教命士国家試験摸擬試験及び過去間等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインブット・アウトブットを行うことでより 正確な知識を身につけます。

本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

救急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。

<具体的な目標>

- 目標的教急教命処置概論が説明でき、教急教命士国家試験問題が解けるようになる。
- 目標⑥教急病態生理学が説明でき、教急教命士国家試験問題が解けるようになる。
- 目標⑦教急症候学が説明でき、教急教命士国家試験問題が解けるようになる。
- 目標®疾病救急医学が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。
- 目標③急性中毒学・環境障害が説明でき、救急救命士国家試験問題が解けるようになる。

	授業計画:内容
6108	(目標®)) 代謝・内分泌・栄養系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・糖尿病の合併症・その他の代謝異常・内分泌疾患・栄養疾患】
62回目	(目標®))血液・免疫系、筋・骨格系疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・血液疾患・免疫疾患・総論、脊椎疾患・関節疾患・筋疾患】
63 <b>回</b> 目	(目標®)) 皮膚系、眼・耳・鼻の疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・皮膚、軟部組織の感染症・アレルギー性疾患・総論・眼の疾患・耳の疾患・鼻の疾患】
6408	(目標®) 感染症の疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・敗血症・結核・インフルエンザ・食中毒・輸入感染症・発疹性感染症・性感染症・その他の感染症】
65 <b>@ =</b>	(目標®)) 小児に特有な疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・観察と判断・主な疾患】
66回目	(目標®)) 窓齢者に特有な疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・主な疾患】
67回目	(目標®)) 妊娠・分娩と救急疾患について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【正常妊娠・異常妊娠・正常分娩・異常分娩・観察と処置】
68@ 🗎	(目標®)) 精神障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【総論・統合失調症・気分障害・器質性精神障害・中衛性障害・その他の精神障害・向精神薬の主な副作用】
69@ 🛢	(目標®)) 中毒総論について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【中森とは・中毒物質・病態生理・観察と処質・医療機関での診療・医療機関選定と搬送中の注意・中張情報】
7008	(目標③) 中毒各論について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【医薬品中毒・農薬中毒・工業用品中毒・ガス中毒・アルコール中毒・自然毒中器・家庭用品中毒・乱用薬物】
7108	(目標®)) 中寄各論について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【医薬品中毒・農薬中毒・工業用品中毒・ガス中毒・アルコール中毒・自然森中毒・家庭用品中毒・乱用薬物】
7208	(目標®)) 異物、溺水について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【気道異物・消化管異物・鼻、耳、眼、性器の異物・病態生理・観察と処置】
73回目	(目標⑨) 熱中症、偶発性低体温症について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【疫学・病態生理・観察・処置・搬送時の注意・発生機序と病態生理・観察・処置】
7408	(目標®)) 放射線障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【放射線の概要・人体の影響・放射線への対応・観察と処置】
75 🗈 🗈	(目標⑨) その他の環境障害について説明できる。 国家試験問題が解けるようになる。 【高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・紫外線による障害】
準備学習 時間外学習	1・2年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。また、時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、ブリントを使った勉強だけなく、教急教命士模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ●復習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●教急教命士国家試験模擬試験・過去間を解く・やり直し
評価方法	救急救命士国家試験模擬試験を3回実施し、(再試験・再々試験含め4回)救急救命士国家試験合格基準を用いて判定試験を行う。 (模擬試験についてはJESC統一模擬試験・JESA統一模擬試験・ELSTA模擬試験を使用する) ●出席率(67%)以上出席 ●救急救命士国家試験合格基準 上記にて単位認定及び成績評価判定を行う。
を講生への メッセージ	教急教命士国家試験は合格基準に到達すれば合格となります。なので目標が提示されている状況なので努力し継続すれば達成できます。また、教急教命士 国家試験模機試験や過去問を繰り返し解くことで、問題の傾向や出題方法、自分の苦手な分野や項目が判断できると思います。さらに問題によって正答率が い問題と低い問題に別れます。高い問題は受験者にとって解きやすい問題となるため、間違えないようにしなければなりません。低い正答率の問題はしっかり、 勉強出来た人が解ける問題となります。確実に取れる問題を間違えないようにすることも大事です。3年間の集大成として救急教命士国家試験を合格できるよ に最後まで諦めずに一緒に頑張りましょう。

学 科: 救急救命公務員科

科目名	公務員講座(総合·面接)	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員	東 一也
(英)	Public Servant Lecture (Advanced+Application)		:::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	総時間	345時間	実務経験:	前期
コース		形態	演習	(単位)	(23単位)	曜日·時限	木·金·土曜、1·2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

当科目は公務員試験の中で主要な暗記科目であり、また出題問題数も多い科目のため、苦手科目にはできません。2年次までに人文科学(地理・日本史・世界史)については、最終的に履修すべき範囲・内容の8割以上を、社会科学については政治分野を済ませていますが、これからの3年次では、人文科学の残り2割弱の範囲・内容と、社会科学の残りである経済分野と社会分野のほぼ全範囲を学ぶことになりますが、この進み具合は例年よりも早いです。その分、今年度は問題演習の時間を多くとれますから、実践的な問題に触れながら、理解度を各自で把握しやすくなると思われます。授業進行については、これまでどおり指定テキストを使い、丁寧な振書(暗記の際の優先順位についてはカラー分けする)を行って、公務員受験者として必要な知識事項を示します。特に、社会科学については、例年苦手意識を抱く世まが多いので、関心が向くような時事的な事項も織り交ぜながら、わかりやすい授業環境を發えます。なお、思想、文芸分野につきましては、補習の時間で取り上げます。

※実務経験はありません。

#### 【到達目標】

公務員試験に合格するためには、当然ですが6~7割以上の正答率が要求されます。人文科学は地理・日本史・世界史の3分野、社会科学は政治・経済・社会の3分野がありますが、それぞれこのうちの2分野は得意分野として、人文科学、社会科学の分野を大きな得点源にできる学生に育て上げます。 <国体的な日経>

目標①人文科学の地理分野については、白地図や統計資料を使った問題に対し、思考力をもって正解できる。

目標②人文科学の歴史分野については、主要な歴史的事実について、関係する人物や社会的背景、後の時代への影響等をきちんと説明できる。

目標③社会科学分野については、頻出の単元(例えば基本的人権)には、補習を含めて十分な時間をかけて教えることにより理解を深めさせ、本試験時に正解できる。

181	授業計画・内容
108	経済/日本の財政について、特に一般会計予算、財政投融資、国債の累積債務に関する知識を習得して、説明ができる。
2回目	経済/財政政策と金融政策について、特に増減税、公共事業、日本銀行の役割に関する知識を習得して、説明ができる。
308	世界史/産業革命について、関連する知識を習得して、説明ができる。
408	世界史/19世紀のヨーロッパについて学ぶことにより、世界が近代から現代へ移行する過渡期に関する知識を深めることができる。
508	地理/日本地理について、主な工業地域等、主に工業・産業に関する知識を習得して、説明ができる。
60 🗎	春季講座の内容の小テスト(1回目)を行うことで、春季で学んだ中国王朝史について到達度を把握し、改めて当該単元について理解を深めることができる。
70 🗏	(国際)経済/戦後の国際金融体制、貿易体制について、特にブレトンウッズ体制の確立と崩壊、GATTとWTOに関する知識を習得して、説明ができる。
8@∄	経済/経済学に関する基本用語(公務員試験でよく出題される主な学説・人物や用語、経済理論)に関する知識を習得して、説明ができる。
908	日本史/昭和戦前史について、満州事変からアジア太平洋戦争に関する知識を習得して、説明ができる。
10回目	世界史/第一次世界大戦と国際協調について、帝国主義、3B・3C政策に関する知識を習得して、説明ができる。
1108	世界史/第一次世界大戦と国際協調について、大戦後の世界の動きに関する知識を習得して、説明ができる。
1208	春季講座の内容の小テスト(2回目)を行うことで、春季で学んだ明治・大正期について到達度を把握し、改めて当該単元について理解を深めることができる。
1308	日本史/昭和戦後史について、GHQによる民主化政策、戦後復興に関する知識を習得して、説明ができる。
140目	日本史/昭和戦後史について、主な戦後の内閣の政治実績に関する知識を習得して、説明ができる。
15回目	地理/人口、時差、地図の図法等の、いわゆる地理の小(マイナー)単元についての知識までも習得して、説明ができる。
準備学習 時間外学習	目標①2年時から伝えていたことですが、暗記中心という科目の特性に加え、学習(暗記)効果が上がるという面から、授業前にテキストの読み込みを行うなどの予習と、授業後の復習(覚え直し)を繰り返し行うことを望みます。 目標②得意分野を伸ばすことも大事ですが、公務員試験で全体の6~7割の正答率を得るためには、苦手分野の底上げもまた必要です。苦手科目についても、授業後の復習(覚え直し)を地道に続けることで、克服する意欲を持ってください。 目標③模擬試験が実施されるたびに、必ず解説にも目を通して、弱点克服に役立てることも求めます。
評価方法	基本的には、終講試験の結果を重視しますが、授業中の態度、出席率、小テスト(確認テスト)も加味して、総合的に評価します。 ①定期(期末)テスト80% ②授業態度・出席率10% ③小テスト(確認テスト)10%
受講生への メッセージ	ついに公務員試験受験の年となりました。みなさんの多くは、公務員(消防官)試験に合格しなければ、本校入学時に抱いていた夢(志望)は叶わないことになります。受験の世界は、どこでも合格するかしないのかがはっきり分かれる厳しい世界です。だからこそ、今年の授業は、2年時以上に勤勉な姿勢で受講し、そして予習・復習に励みましょう。私が担当する人文科学と社会科学は、暗記科目ゆえに、努力次第で伸びる科目です。最後の最後まで、自分の可能性を信じて努力を続ける皆さんを応援します。

### 【使用教科書·教材·参考書】

『オーブンセサミシリーズ 公務員 国家公務員・地方初級 日本史・世界史・地理・思想」 東京アカデミー 『同シリーズ 政治・経済・社会』東京アカデミー編

学 科: 救急救命公務員科

科目名	公務員講座(総合·面接)	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員	東 一也
(英)	Public Servant Lecture (Advanced Application)	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	火日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	木・金・土曜 1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

当科目は公務員試験の中で主要な暗記科目であり、また出題問題数も多い科目のため、苦手科目にはできません。2年次までに人文科学(地理・日本史・世界史)については、最終的に履修すべき範囲・内容の8割以上を、社会科学については政治分野を済ませていますが、これからの3年次では、人文科学の残り2割弱の範囲・内容と、社会科学の残りである経済分野と社会分野のほぼ全範囲を学ぶことになりますが、この進み具合は例年よりも早いです。その分、今年度は問題演習の時間を多くとれますから、実践的な問題に触れながら、理解度を各自で把握しやすくなると思われます。授業進行については、これまでどおり指定テキストを使い、丁寧な稼働・電記の際の優先順位についてはカラー分けする)を行って、公務員受験者として必要な知識事項を示します。特に、社会科学については、例年苦手意識を抱く学生が多いので、関心が向くような時事的な事項も繰り交ぜながら、わかりやすい授業環境を整えます。なお、思想、文芸分野につきましては、補習の時間で取り上げます。

※ 英務経験はありません。

#### 【郵達目標】

公務員試験に合格するためには、当然ですが6~7割以上の正答率が要求されます。人文科学は地理・日本史・世界史の3分野、社会科学は政治・経済・社会の3 分野がありますが、それぞれこのうちの2分野は得意分野として、人文科学、社会科学の分野を大きな得点源にできる学生に育て上げます。 <具体的な目標>

目標①人文科学の地理分野については、白地図や統計資料を使った問題に対し、思考力をもって正解できる。

目標②人文科学の歴史分野については、主要な歴史的事実について、関係する人物や社会的背景、後の時代への影響等をきちんと説明できる。

目標③社会科学分野については、頻出の単元(例えば基本的人権)には、補習を含めて十分な時間をかけて教えることにより理解を深めさせ、本試験時に正解できる。

1 32	授業計画・内容
160 🗏	社会/社会保障制度、少子高齢社会について、社会保障制度の4つの柱、少子化対策等に関する知識を習得して、説明ができる。
1708	社会/現代における社会問題(労働問題、環境問題、経済格差、人権、治安)に関する知識を習得して、説明ができる。
18@ 🖹	小テスト(3回目)を行うことで、今時点(1~11回)での到達度を把握し、改めてこれまでの履修範囲について理解を深めることができる。
19回目	世界史/第二次世界大戦について、特にドイツの再軍備とヒトラー政権、ファシズムの台頭に関する知識を習得して、説明ができる。
20回日	世界史/戦後冷戦史について、鉄のカーテン、ドイツの分割統治、習解け、デタント、核軍縮、マルタ会談に関する知識を習得して、説明ができる。
21@目	世界史/戦後史について、中華人民共和国の成立、ベトナム戦争、第三世界、地域統合等に関する知識を習得して、説明ができる。
2208	時事問題対策/日本国内の政治、経済、社会面の時事に関する知識を習得して、説明ができる。
23回目	時事問題対策/国際社会面の時事に関する知識を習得して、説明ができる。
240 🗐	小テスト(4回目)を行うことで、今時点(13~21回)での到達度を把握し、改めてこれまでの履修範囲について理解を深めることができる。
25@ 🖹	地理/統計資料について、主に農林水産業に関する数値データ等の知識を習得して、時事を絡めた統計問題に対して対応ができる。
26回目	地理/統計資料について、主に鉱工業に関する数値データ等の知識を習得して、時事を絡めた統計問題に対して対応ができる。
27回目	[問題演習]日本史/古代(旧石器時代~平安時代)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
2808	【問題演習】日本史/中世(鎌倉時代)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
29@8	【問題演習】世界史/古代(四大文明、古代ギリシア、古代ローマ)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
30回目	【問題演習】世界史/中世(十字軍、宗教改革等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
準備学習 終開外学習	目標①2年時から伝えていたことですが、暗記中心という科目の特性に加え、学習(暗記)効果が上がるという面から、授業前にテキストの読み込みを行うなどの予習と、授業後の復習(覚え直し)を繰り返し行うことを望みます。 目標②得意分野を伸ばすことも大事ですが、公務員試験で全体の6~7割の正答率を得るためには、苦手分野の底上げもまた必要です。苦手科目についても、授業後の復習(覚え直し)を地道に続けることで、克服する意欲を持ってください。 目標③模擬試験が実施されるたびに、必ず解説にも目を通して、弱点克服に役立てることも求めます。
評価方法	基本的には、終講試験の結果を重視しますが、授業中の態度、出席率、小テスト(確認テスト)も加味して、総合的に評価します。 ①定期(期末)テスト80% ②授業態度・出席率10% ③小テスト(確認テスト)10%
受講生への メッセージ	ついに公務員試験受験の年となりました。みなさんの多くは、公務員(消防官)試験に合格しなければ、本校入学時に抱いていた夢(志望)は叶わないことになります。受験の世界は、どこでも合格するかしないのかがはっきり分かれる厳しい世界です。だからこそ、今年の授業は、2年時以上に勤勉な姿勢で受講し、そして予習・復習に励みましょう。私が担当する人文科学と社会科学は、暗記科目ゆえに、努力次第で伸びる科目です。最後の最後まで、自分の可能性を信じて努力を続ける皆さんを応援します。
【梅田 松 托	中, 約4t, 火 奈東 <b>》</b>

【使用教科書·教材·参考書】

『オーブンセサミシリーズ 公務員 国家公務員・地方初級 日本史・世界史・地理・思想』 東京アカデミー 『同シリーズ 政治・経済・社会』東京アカデミー編

学 科 : 救急救命公務員科

料目名	公務員講座(総合·面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	東 一也
(英)	Public Servant Lecture (Advanced Application)	選択 授業		総時間	345時間	実務経験開講区分	前期
コース		形態	演習	(単位)	(23単位)	曜日·時限	

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

当科目は公務員試験の中で主要な暗記科目であり、また出題問題数も多い科目のため、苦手科目にはできません。2年次までに人文科学(地理・日本史・世界史)に ついては、最終的に履修すべき範囲・内容の8割以上を、社会科学については政治分野を済ませていますが、これからの3年次では、人文科学の残り2割弱の範囲・ 内容と、社会科学の残りである経済分野と社会分野のほぼ全範囲を学ぶことになりますが、この進み具合は例年よりも早いです。その分、今年度は問題演習の時間 を多くとれますから、実践的な問題に触れながら、理解度を各自で把握しやすくなると思われます。授業進行については、これまでどおり指定テキストを使い、丁寧な 板書(暗記の際の優先順位についてはカラー分けする)を行って、公務員受験者として必要な知識事項を示します。特に、社会科学については、例年苦手意識を抱く 学生が多いので、関心が向くような時事的な事項も織り交ぜながら、わかりやすい授業環境を整えます。なお、思想、文芸分野につきましては、補習の時間で取り上 げます

※実務経験はありません。

公務員試験に合格するためには、当然ですが6~7割以上の正答率が要求されます。人文科学は地理・日本史・世界史の3分野、社会科学は政治・経済・社会の3 分野がありますが、それぞれこのうちの2分野は得意分野として、人文科学、社会科学の分野を大きな得点源にできる学生に育て上げます。 **<具体的か日接>** 

目標①人文科学の地理分野については、白地図や統針資料を使った問題に対し、思考力をもって正解できる。 目標②人文科学の歴史分野については、主要な歴史的事実について、関係する人物や社会的背景、後の時代への影響等をきちんと説明できる。

目標③社会科学分野については、頻出の単元(例えば基本的人権)には、補習を含めて十分な時間をかけて教えることにより理解を深めさせ、本試験時に正解でき る。

	授棄計團+內容
31回目	[問題演習]地理/地形(大地形、侵食、堆積、火山、海岸等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
32回目	[問題演習]地理/世界の気候(各気候帯の特色、農林業との関連等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
33回目	【問題演習】政治/民主政治(法の支配政治思想、各国の政治制度等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
34回日	[問題演習]政治/日本国憲法(特色、重要な条文内容等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
35回目	【問題演習】日本史/中世(室町時代~安土・桃山時代)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
36回目	【問題演習】日本史/近世(江戸時代初期)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
37回目	【問題演習】世界史/近代(主に絶対主義)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
38□ 🖹	【問題演習】世界史/近代(主に市民革命)の問題演習を行うことで、当服修内容について得点力を身に付ける。
39@ 目	[問題演習]地理/世界の産業(主に農業、鉱物資源)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
40回目	[問題演習]地理/世界の産業(主に工業)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
41回日	【問題演習】政治/基本的人権の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
42回目	【問題演習】政治/立法権の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
43回目	【問題演習】日本史/近世(江戸三大改革等の政策)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
4408	【問題演習】日本史ノ近世(江戸末期・滅亡)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
45 <b>0</b> 🖹	【問題演習】世界史/中国王朝史の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
準備学習 時間外学習	目標①2年時から伝えていたことですが、暗記中心という科目の特性に加え、学習(暗記)効果が上がるという面から、授業前にテキストの読み込みを行うなどの予習と、授業後の復習(覚え直し)を繰り返し行うことを望みます。 目標②得意分野を伸ばすことも大事ですが、公務員試験で全体の6~7割の正答率を得るためには、苦手分野の底上げもまた必要です。苦手科目にていても、授業後の復習(覚え直し)を地道に続けることで、克服する意欲を持ってください。 目様③模擬試験が実施されるたびに、必ず解説にも目を通して、弱点克服に役立てることも求めます。
評価方法	基本的には、終講試験の結果を重視しますが、授業中の態度、出席率、小テスト(確認テスト)も加味して、総合的に評価します。 ①定期(期末)テスト80% ②授業態度・出席率10% ③小テスト(確認テスト)10%
受講生への メッセージ	ついに公務員試験受験の年となりました。みなさんの多くは、公務員(消防官)試験に合格しなければ、本校入学時に抱いていた夢(志望)は叶わないことになります。受験の世界は、どこでも合格するかしないのかがはっきり分かれる厳しい世界です。だからこそ、今年の授業は、2年時以上に勤勉な姿勢で受講し、そして予習・復習に励みましょう。私が担当する人文科学と社会科学は、暗記科目ゆえに、努力次第で伸びる科目です。最後の最後まで、自分の可能性を信じて努力を続ける皆さんを応援します。

### 【使用教科書·教材·参考書】

『オーブンセサミシリーズ 公務員 国家公務員・地方初級 日本史・世界史・地理・思想」 東京アカデミー 『同シリーズ 政治・経済・社会』東京アカデミー編

学 科 : 救急救命公署員科

科目名	公務員講座(総合·面接)	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員	東 一也
(英)	Public Servant Lecture (Advanced Application)	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	灰白	(単位)	(23単位)	曜日·時限	木·金·土曜、1·2時間目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

当科目は公務員試験の中で主要な暗記科目であり、また出題問題数も多い科目のため、苦手科目にはできません。2年次までに人文科学(地理・日本史・世界史)については、最終的に履修すべき範囲・内容の8割以上を、社会科学については政治分野を済ませていますが、これからの3年次では、人文科学の残り2割弱の範囲・内容と、社会科学の残りである経済分野と社会分野のほぼ全範囲を学ぶことになりますが、この進み具合は例年よりも早いです。その分、今年度は問題演習の時間を多くとれますから、実践的な問題に触れながら、理解度を各自で把握しやすくなると思われます。検業進行については、これまでどおり指定テキストを使い、丁寧な被害(暗記の際の優先順位についてはカラー分けする)を行って、公務員受験者として必要な知識事項を示します。特に、社会科学については、例年苦手意識を抱く学生が多いので、関心が向くような時事的な事項も織り交ぜながら、わかりやすい授業環境を整えます。なお、思想、文芸分野につきましては、補習の時間で取り上げます。

※実務経験はありません。

#### 【劉達目標

公務員試験に合格するためには、当然ですが6~7割以上の正答率が要求されます。人文科学は地理・日本史・世界史の3分野、社会科学は政治・経済・社会の3 分野がありますが、それぞれこのうちの2分野は得意分野として、人文科学、社会科学の分野を大きな得点源にできる学生に育て上げます。 <具体的な目標>

目標の人文科学の地理分野については、白地図や統計資料を使った問題に対し、思考力をもって正解できる。

目標②人文科学の歴史分野については、主要な歴史的事実について、関係する人物や社会的背景、後の時代への影響等をきちんと説明できる。

目標③社会科学分野については、頻出の単元(例えば基本的人権)には、補習を含めて十分な時間をかけて教えることにより理解を深めさせ、本試験時に正解できる。

	授業計画・内容
46回自	【問題演習】世界史/中国王朝史の続き、および周辺アジア諸国の歴史の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
47回目	【問題演習】地理/地誌(世界総合、アジア諸国等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
48回目	【問題演習】地理/地誌(アフリカ、ヨーロッパ、北米、南米等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
49回目	【問題演習】政治/行政権、司法権の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
50回目	[問題演習]政治/地方自治の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
51013	【問題演習】日本史/近現代(主に明治から大正時代)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
520目	【問題演習】日本史/近現代(主に昭和時代)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
\$3 <b>0 B</b>	【問題演習】世界史/現代(主に第一次世界大戦と第二次世界大戦)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力を身に付ける。
54@ 🖹	【問題演習】政治/国際社会(主に国際連合とその専門機関等)の問題演習を行うことで、当履修内容について得点力身にを付ける。
5508	終講試験対策
56回目	終漏調環境対策
57回目	終講試験対策
準備学習 時間外学習	目標①2年時から伝えていたことですが、暗記中心という科目の特性に加え、学習(略記)効果が上がるという面から、授業前にテキストの読み込みをうなどの予習と、授業後の復習(覚え直し)を繰り返し行うことを望みます。 目標②得意分野を伸ばすことも大事ですが、公務員試験で全体の6~7割の正答率を得るためには、苦手分野の底上げもまた必要です。苦手科目にいても、授業後の復習(覚え直し)を地道に続けることで、克服する意欲を持ってください。 目標③模擬試験が実施されるたびに、必ず解説にも目を通して、弱点克服に役立てることも求めます。
評価方法	基本的には、終講試験の結果を重視しますが、授業中の態度、出席率、小テスト(確認テスト)も加味して、総合的に評価します。 ①定期(期末)テスト80% ②授業態度・出席率10% ③小テスト(確認テスト)10%
メッセージ	ついに公務員試験受験の年となりました。みなさんの多くは、公務員(消防官)試験に合格しなければ、本校入学時に抱いていた夢(志望)は叶わない。 とになります。受験の世界は、どこでも合格するかしないのかがはっきり分かれる厳しい世界です。だからこそ、今年の授業は、2年時以上に動勉な姿( で受講し、そして予習・復習に励みましょう。私が担当する人文科学と社会科学は、暗記科目ゆえに、努力次第で伸びる科目です。最後の最後まで、自 分の可能性を信じて努力を続ける皆さんを応援します。

#### 【使用教科書·教材·参考書】

『オーフンセサミシリーズ 公務員 国家公務員・地方初級 日本史・世界史・地理・思想』 東京アカデミー 『同シリーズ 政治・経済・社会』東京アカデミー編

学科: 救急救命公務員科

¥1 B Ø	公務員講座(総合·面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	馬場 留美
科目名(英)	A 1万 % 65 是(65 日) [11 ] X 7	選択	)ZE 1/\	+4	24-8	実務経験	
	Public Servant Lecture (Advanced-Application)	授業	演習	総時間	345時間	開譜区分	前期
コース		形態	州田	(単位)	(23単位)	曜日-時限	木・金・土曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

公務員試験において、数的処理は重要なウエイトを占めます。1。2年次で学習したことを踏まえ、練習問題を繰り返すことで応用力がつきます。

### 【到達目標】

本番の公務員試験で数的処理の問題が解けるようになる。 <具体的な目標> 目標①数的推理の問題が解ける

目標②判断推理の問題が解ける

目標③空間把握の問題が解ける 目標④資料解釈の問題が解ける

	投棄計画・内容
58回目	目標① 比と割合ができる
59回目	目標③ 立体の投影図ができる
60回日	目標③ サイコロの問題が解ける
61回目	目標① 過不足算ができる
62回目	目標③ 平面計量ができる
63回目	目標② 対応関係ができる
64回目	目標② 順列・位置ができる
6508	目標① 速さの比ができる
66回≘	目標① 条件付き確率ができる
6708	目標① 公倍数・公約数ができる
68@∄	目標② リーグ戦・道順ができる
69回目	目標④ 資料解釈ができる
70回目	目標② 証言、時計のずれができる
71回目	目標③ 立体の切断ができる
7208	目標② 位置関係ができる
準備学習 時間外学習	復習は不可欠です。復習用のブリントを配布しますので各自活用して下さい。
評価方法	終講試験における点数にで成績評価を行う。
受講生への メッセージ	授業では、教科書に載っていない解法も伝授します。まじめに授業に臨み、復習を怠らなければ本番試験で高得点が取れます。
【使用教科	至、教材・参考書】

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	公務員講座(総合・面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	馬場 留美
(英)	· ·	選択	M25 // (	1.27	017	実務経験	
1207	Public Servant Lecture (Advanced+Application)	124.244	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	次日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	木·金·土曜、3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

公務員試験において、数的処理は重要なウエイトを占めます。1.2年次で学習したことを踏まえ、練習問題を繰り返すことで応用力がつきます。

### 【到達目標】

本番の公務員試験で数的処理の問題が解けるようになる。 <具体的な目標> 目標①数的推理の問題が解ける

目標②判断推理の問題が解ける

目標③空間把握の問題が解ける

目標④資料解釈の問題が解ける

	授業計画・内容
73回目	目標③ 歯車、軌跡ができる
74回目	目標① 通過算・ニュートン算ができる
75@目	目標② 暗号、集合ができる
76回目	目標④ 増加率のグラフができる
77回目	目標① 確率、割合ができる
78回目	目標② 家系図、ジャンケン確率ができる
79回日	目標① 平均、表面積と体積ができる
8008	目標① 濃度、増減ができる
8108	目標③ 立体の経路ができる
82回目	目標② 順序、対応ができる
83回目	目標① N進法ができる
84@ 🗎	目標① 関数とグラフができる
85回目	目標② 証言、部屋割ができる
86回目	目標① 記数法ができる
870 🗎	目標④ 資料解釈ができる
準備学習 時間外学習	復習は不可欠です。彼智用のプリントを配布しますので各自活用して下さい。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	授業では、教科書に載っていない解法も伝授します。まじめに授業に臨み、復習を怠らなければ本番試験で高得点が取れます。
【使用教科	·황村·창考書)

学 科: 救急救命公務員科

F1 0 0	公務員講座(総合·面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	馬場 留美
科目名 (英)	A 18 bedan E (No. C)	選択	JE 1八	7%	34%	実務経験	Activities with the control of the c
1347	Public Servant Lecture (Advanced Application)	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	/民日	(単位)	(23単位)	曜日・時限	木·金·土曜、3·4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

公務負試験において、数的処理は重要なウエイトを占めます。1。2年次で学習したことを踏まえ、練習問題を繰り返すことで応用力がつきます。

### 【到達目標】

本番の公務員試験で数的処理の問題が解けるようになる。 <具体的な目標> 目標①数的推理の問題が解ける 目標②判断推理の問題が解ける 目標③空間把握の問題が解ける 目標④資料解釈の問題が解ける

	授業計測·內容
88回目	目標②判断推理の総合問題を解く
89回目	目標②判断推理の総合問題を解く
90回目	目標③空間把握の総合問題を解く
9100	目標④資料解釈の総合問題を解く
9208	目標①数的推理の総合問題を解く
930 🖹	目標①数的推理の総合問題を解く
9408	目標②判断推理の総合問題を解く
95回目	目標②判断推理の総合問題を解く
960月	目標③空間把握の総合問題を解く
97@ <b>8</b>	目標①数的推理の総合問題を解く
98回目	目標①数的推理の総合問題を解く
9900	目標①数的推理の総合問題を解く
1000	目標②判断推理の総合問題を解く
101回目	目標②判断推理の総合問題を解く
102回日	目標③空間把握の総合問題を解く
準備学習 時間外学習	後習は不可欠です。後習用のブリントを配布しますので各自活用して下さい。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	授業では、教科書に載っていない解法も伝授します。まじめに授業に臨み、復習を怠らなければ本番試験で高得点が取れます。
【使用教科	告·教材·参考書]

学 科 : 救急救命公務員科

科目名	公務員講座(総合·面接)	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員	馬場 留美
(英)	Public Servant Lecture (Advanced Application)	1,2,25	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	八八日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	木・金・土曜、3・4時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

公務員試験において、数的処理は重要なウエイトを占めます。1 2年次で学習したことを踏まえ、練習問題を繰り返すことで応用力がつきます。

### 【到達目標】

本番の公務員試験で数的処理の問題が解けるようになる。 <具体的な目標> 目標①数的推理の問題が解ける

目標②判断推理の問題が解ける

目標③空間把握の問題が解ける

目標④資料解釈の問題が解ける

	投棄計画・内容
103回日	目標①②過去問及び類題を解く
104回目	目標③④過去問及び頻題を解く
105回目	目標①②過去問及び類題を解く
106🗆 🗎	目標③④過去問及び類題を解く
107@ 🗎	目標①②過去問及び頻題を解く
108回目	目標③④過去問及び類題を解く
109回目	目標①②過去問及び類題を解く
11008	目標③④過去問及び類題を解く
11108	目標①②過去問及び類題を解く
1:2回目	目標③④過去問及び頻題を解く
11300	まとめ・復習
11408	まとめ・復習
準備学習 等間外学習	予習より復習が大切です。復習用のブリントを配布しますので、各自活用して下さい。
評価方法	終講試験における点数にで成績評価を行う。
を護生への メッセージ	授業では教科書に載っていない解法も伝授します。まじめに授業を受け、復習を怠らなければ本番試験で高得点が取れます。
【使用教科	ag·教材·参考書】

学 科 : 救急救命公務員科

F1 0 0	公務員講座(総合・面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	岩崎 靖
科目名 (英)	四分页的压入60日 图1文/	選択	125.17	十么	347	実務経験	
	Public Servant Lecture (Advanced Application)	136.36	演習	総時間	345時間	開議区分	前期
コース		形態	/H E	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水曜、1・2時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

2年次までの知識をもとに公務員試験の問題を演習することにより、自然科学分野の問題が解ける、より深い知識を身につけることができる。

### 【到達目標】

昨年までの知識をもとに演習を行うことで公務員初級・東京消防庁Ⅱ類・東京消防庁Ⅲ類の問題が解けるようになる。

<具体的な目標> 目標①化学の問題が解ける

目標②物理の問題が解ける

目標③生物の問題が解ける 目標④地学の問題が解ける

教科書「数学・理科」東京アカデミー編 七賢出版

	投棄計画:內容
11508	目標① 化学 物質の構成をより深く理解し、知識を身につけることができる。
11608	目標① 化学 金属・非金属をより深く理解し、知識を身につけることができる。
117回目	目標① 化学 酸・塩基、酸化・還元をより深く理解し、知識を身につけることができる。
118回目	目標① 化学 化学反応と量をより深く理解し、知識を身につけることができる。
11908	目標② 物理 速度と距離をより深く理解し、知識を身につけることができる。
1200 🖹	目標② 物理 力をより深く理解し、知識を身につけることができる。
1210目	目標② 物理 カ(エネルギー)をより深く理解し、知識を身につけることができる。
122回目	目標② 物理 波勤をより深く理解し、知識を身につけることができる。
123@ 🗎	目標② 物理 電気をより深く理解し、知識を身につけることができる。
124回月	目標③ 生物 生命の連続をより深く理解し、知識を身につけることができる。
125回目	目標③ 生物 同化・異化をより深く理解し、知識を身につけることができる。
126@ 🖹	目標③ 生物 体内環境をより深く理解し、知識を身につけることができる。①
127回日	目標③ 生物 休内環境をより深く理解し、知識を身につけることができる。②
1280目	目標③ 生物 生物の集団をより深く理解し、知識を身につけることができる。
129回目	目標④ 地学 固体地球をより深く理解し、知識を身につけることができる。①
準備学習 時間外学習	事前に伝えられた範囲を、参考書などで学習して来ること。講義中で間違えた問題を解き直すこと。週に4~5時間の学習が必要になる。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	昨年まで身につけた知識をアウトブットすることで、さらに理解を深めていきましょう。昨年の作成したノードを持参して講義に参加して下さい。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名 (英)	公務員講座(総合・面接)	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員 実務経験	岩崎 靖
1,207	Public Servant Lecture (Advanced Application)	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	/PC E	(単位)	(23単位)	曜日・時間	水曜、1·2時限目
【授業の学	習内容】(※実務経験のある教員、知見	を有する教	負が、どの。	ような授業を	実施するの	か、具体的に	こ記載する)

2年次までの知識をもとに公務員試験の問題を演習することにより、自然科学分野の問題が解ける、より深い知識を身につけることができる。

### 【到達目標】

昨年までの知識をもとに演習を行うことで公務員初級・東京消防庁 🛚 類・東京消防庁 🎞 類の問題が解けるようになる。 〈具体的な目標〉 目標()化学の問題が解ける 目標()地学の問題が解ける 目標()生物の問題が解ける 目標()地学の問題が解ける 目標()地学の問題が解ける

30回目	
	目標④ 地学 固体地球をより深く理解し、知識を身につけることができる。②
13108	目標④ 地学 天体をより深く理解し、知識を身につけることができる。①
132回目	目標④ 地学 天体をより深く理解し、知識を身につけることができる。②
133回目	目標④ 地学 気象をより深く理解し、知識を身につけることができる。①
1340 🗎	目標④ 地学 気象をより深く理解し、知識を身につけることができる。②
■備学習 間外学習	事前に伝えられた範囲を、参考者などで学習して来ること。講義中で開選えた問題を解き直すこと。週に4~5時間の学習が必要になる。
平価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
議生への ッセージ	昨年まで身につけた知識をアウトブットすることで、さらに理解を深めていきましょう。昨年の作成したノードを持参して講義に参加して下さい。
使用教科	박·敎材·参考書]

学 科 : 救急救命公務員科

利日春	公務員講座(総合·面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	森田 道稔
科目名 (英)	五4万元前注 (160日,1801年)	選択	造刊	十次	3十次	実務経験	
	Public Servant Lecture (Advanced Application)	1,00,000	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	八八日	(単位)	(23単位)	耀日·時限	月曜、4時限日

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

#### T SPI3

- (1)言語問題(同意語・反意語、二語の関係、語句、空間補充、用法、文章整序、長文読解)の授業を実施する。
- ②非言語問題(モノの値段と個数、定価・原価・利益、到合と値段、濃度算、速度算、集合、場合の数、確率、各種推論) の授業を実施する。

#### - 300A 数理 (四則計算)、論理(推論)、言語(漢字の読み)、常識(社会、理科)の授業を実施する。

#### 【劉建目標】

5P13に1知能検査」の要素が大きく、SCOAと比較すると難易度が高くなり、瞬間との勝負となります。授業で集中して問題を解ぎ、徐々にスピードを上げ、かつ正確に解けるようにしていく。

500ALL「学力検査」の傾向が大きくSCOAで高得点をとるためには、中学・高校での基礎知識が大切となります。授業で問題を解き、基礎知識を身につけていきま

#### 〈具体的目標〉

### SPI3

- ①言語問題(同意語・反意語、二語の関係、語句、空欄補充、用法、文章發序、長文読解)の内容が説明できるとともに確実に正解が出せる。
- ②非言語問題(モノの値段と個数、定価・原価・利益、割合と値段、濃度算、速度算、集合、場合の数、確率、各種推論) の計算が出来るとともに確実に正解が出せる。

#### 2 SCOA

	授業計画・内容
155@8	SPI3(I)   含語問題(同義語、反意語) 非言語問題(モノの値段と個数、定価・原価・利益)の出題傾向・解法を理解させ、言語問題、非言語問題の説明ができる。
156回目	SPI3③ 言語問題(語句、空欄補充、用法) 非互語問題(割合と値段、濃度祭)の出題傾向・解法を理解させ、宮語問題、非宮語問題の説明ができる。
157@目	SPI3⑤ 言語問題(文章序列、長文読解) 非国語問題(速度算1、速度算2)の出題傾向・解法を理解させ、 国語問題、非言語問題の説明ができる。
158回目	SPI3⑦ 宮語問題(総合編1) 非宮語問題(集合、場合の数)の出題傾向・解法を理解させ、宮語問題、非宮語問題の説明ができる。
159@ 🗎	SPI3⑨ 言語問題(総合編3) 非言語問題(確率推論:順位関係・勝敗関係)の出題傾向・解法を理解させ、言語問題、非言語問題の説明ができる。
160@ 目	SPI3⑪ - 言語問題(総合編6) 非言語問題(四則計算、推論:位置関係・対応関係)の出題傾向・解法を理解させ、言語問題、非言語問題の説明ができる。
161@ 🗎	SPI3④ 言語問題、非言語問題(模擬問題1)
162回目	SCOA(1) 数理(四則計算)、論理(推論)の出題傾向・解法を理解させ説明ができる。
163團≘	SCOA② 含語(漢字の読み)、常識(社会、理科)の出題傾向・解法を理解させ説明ができる。
164回日	SCOA③ SCOA(模擬問題1)
準備学習 時間外学習	後習中心の学習を行って下さい。 授業では各回の内容のポイントを解説し、それに対応する問題を解くことで、理解力が身につきます。次の授業では復習テストを実施しますので、苦手な問題や間違った問題、うる覚えの問題の復習をして下さい。
評価方法	終講試験における点数にて成績評価を行う。
受講生への メッセージ	SPI3 「知能検査」の要素が大きく、SCOAと比較すると難易度が高くなり、時間との勝負となります。スピードと正確性を養いましょう。 SCOA 「学力検査」の傾向が大きくSCOAで高得点をとるためには、中学・高技での基礎知識が大切となります。しっかりと問題を解き、基礎知識を身につけま しょう。

学 科: 救急救命公務員科

51 G A	公務員講座(総合・面接)	必修	選択	年次	3年次	担当教員	坂井 排子
科目名 (英)	五4万只6所注(180日 四)文/	選択	J25 1/ C	+0	2十八	実務経験	
1347	Public Servant Lecture (Advanced Application)	1X ac	演習	総時間	345時間	開講区分	前期
コース		形態	观日	(単位)	(23単位)	曜日・時限	月曜、3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

公務員試験における「文章理解」の分野では、速読力・要点把握力・論理的思考力が求められる。これらの力を、過去問演習を通して獲う。

・過去の地方初級・採用試験などの国語問題を用いた演習と解説。

選択肢問題における「設問の意図」や「選択肢の引っかけ」に対する見抜き方の指導。

·誤字・脱字、文法の違いを見抜くトレーニング(言語知識問題の対策)。

### (到達目標)

### 【文章理解における到途目標】

- 1。文章の主旨や要点を正確に把握できる読解力を身につける。
- 2 設問に対して論理的に正しい選択肢を選べる判断力を養う。3 語彙力と文法知識を強化し、公務員試験レベルの国語問題に対応できる。
- 【小論文における到達目標】
- 1. 指定されたテーマに対して、課題を的確に把握し、自分の意見を論理的に展開できる。
- 2、救急救命士として、医療・災害対応・公共の福祉などに関するテーマに対して、自らの専門性と倫理観を踏まえて記述できる。

参考書:第4版 地方初級·國家一般職(高卒者 )国語·文章理解、公務負試験小論文 頻出テーマ完全攻略

3 文法・句読点・表現に注意を払い、わかりやすく読みやすい文章が書ける。

オリエンテーション/試験概要と出題傾向: 公務員試験で求められる読解力・小論文の位置づけを確認する
読解の基礎(要旨・主張の読み取り);文章を的確に把握する方法を学ぶ
院解の応用(論理展開·構造把握):対比·因果関係·筆者の立場に注目した読解力を磨く
文章整序問題の攻略(1)(基本パターン): 文の順番を入れ替える問題へのアプローチを学ぶ
空欄補充問題の攻略②(語彙・論理):適切な語や表現を選ぶ問題への対応練習を行う
小論文の基本(構成・表現・論点の作り方):論理的に文章を組み立てる「型」を習得する
テーマ① 救急軍の適正利用と住民意識:社会問題の背景と自分の意見をまとめる
テーマ②: 教急救命士の業務拡大と専門性の向上: 業務の変化にどう向き合うか、考える
テーマ(③) 大規模災害における救急救命士の役割: 災密時の初勤対応・地域連携について論じる
テスト対策(頻出テーマ・設問バターン整理):読解・整序・補充・小論文の総復習を行う
毎回出す「今日の語彙力(熟語・慣用句・ことわざ)」のブリントを復習し、出た語彙を覚える 小論文の頻出テーマについて調べ、自分の意見を持つ練習をする
<b>巻講試験における点数にて成績評価を行う。</b>
語彙力」や「文章理解力」は、毎日積み重ねの努力が必要です。コツコツと一緒に頑張りましょう。

学 科 : 救急救命公務員科

科目名 (英)	総合基礎	必修選択	選択	年次	3年次	担当教員	専任教員
(央)	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	/X B	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急教命処置概論、救急病態生理、救 教念教命主要は 急症候、疾病教急医学、外傷教急医学、急性中毒・環境障害の教急教命士として必要な総合的知識が必要となります。 教急教命士標準テキストによる講義や教急教命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う

ことでより正確な知識を身につけます。 本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。 <具体的な目標> 目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

改訂第11版 教急教命士標準テキスト

	授業計画・内容
108	(目標①)人体を構成する要素について説明できる。
20目	(目標①)人体を構成する要素について説明できる。
3回目	(目標①)体表からみる人体の構造
40 🗎	(目標①)体表からみる人体の構造
5回目	(目標①)体表からみる人体の構造
6 <b>0 =</b>	入体構成·体表確認試験
7回目	(目標①)呼吸系について説明ができる。
808	(目標①)呼吸系について説明ができる。
9回目	(目標①)呼吸系について説明ができる。
10回員	(目標①)呼吸系について説明ができる。
11回目	呼吸系確認試験
1208	(目標①)循環系について説明ができる。
13回目	(目標①)循環系について説明ができる。
1408	(目標①)循環系について説明ができる。
1508	(目標①)循環系について説明ができる。
準備学習 時間外学習	<ul> <li>(目標①)準備学習として、使用教科書である救急教命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。また、1年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、プリントを使った勉強だけなく、救急救命士模擬試験や過去問を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。</li> <li>復習・振り返り</li> <li>時間外自己学習・見直し</li> <li>教急救命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり直し</li> </ul>
評価方法	随時、確認試験を行い理解度を図る。
受講生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野を理解しておけなければ救急救命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復設をするようにしてください。

学 科 : 救急救命公務員科

*1 B #	総合基礎	必修	選択	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名 (英)	松白盆堤	選択	1217	+44	34%	実務経験	
173.	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	州日	(単位)	(23単位)	曜日·時職	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教急教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や教急教命処置概論、教急病態生理、教急 症候、疾病教急医学、外傷救急医学、急性中毒・環境障害の救急教命士として必要な総合的知識が必要となります。 救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う でいる。 では、大きな知識を身につけます。 本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。 <具体的な目標>

目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

	投棄計画・内容
16回目	循環系確認試験
1708	(目標①)消化系について説明ができる。
180 🗏	(目標①)消化系について説明ができる。
1908	(目標(ウ))消化系について説明ができる。
2008	(目標①)消化系について説明ができる。
2108	消化系確認試験
22回目	(目標(T))泌尿系について説明ができる。
23 🗈 🖹	(目縢①)生殖系について説明ができる。
24回目	泌尿·生殖器系確認試験
25回目	(目標①)内分泌系について説明ができる。
26回目	(目標①)内分泌系について説明ができる。
2708	(目操(1))内分泌系について説明ができる。
28回目	(目標①)内分泌系について説明ができる。
29@ 🛢	内分泌系確認試験
30回 🗎	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
準備学習 特別外学習	(目標(1))準備学習として、使用教科書である救急救命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。 また、1年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、プリントを使った勉強だけなく、救急教命士模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ●復習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●教念教命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり直し
評価方法	随時、確認試験を行い理解度を図る。
を講生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野を 理解しておけなければ救急救命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予智・復習 をするようにしてください。

### 【使用教科書·教材·参考書】

学 科 : 救急救命公費科

5100	総合基礎	必修	選択	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名(英)	₩0 E 251/E	選択	25.11	+-/	3十公	実務経験	
(30)	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	사선은	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や救急救命処置概論、救急病態生理、救急症候、疾病救急医学、外傷救急医学、急性中毒・環境障害の救急救命士として必要な総合的知識が必要となります。 救急救命士標準テキストによる講義や救急教命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインブット・アウトブットを行うことでより正確な知識を身につけます。 本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

人体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。

く具体的な目標> 目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

目標②人体の構造における神経系の構造と機能が説明できるようになる。

12.2.	授業計画・内容
31回目	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
32回日	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
33回目	(目標①)血液・免疫系について説明ができる。
3408	血液·免疫系確認試験
35回目	(目標①)筋・骨格系について説明ができる。
36回目	(目標①)筋・骨格系について説明ができる。
37回日	筋、骨格系確認試験
38回目	(目標①)皮膚系について説明ができる。
39回目	(目標①)皮膚系について説明ができる。
40@ 🖺	皮膚系確認試験
4108	(目標①)生命の維持について説明ができる。
420目	(目標①)生命の維持について説明ができる。
43回目	生命の維持確認試験
4408	(目標②)神経について説明ができる。(神経系の構成、神経系の役割)
45回目	(目標②)神経について説明ができる。(大脳、問脳、小脳)
準備学習 時間外学習	<ul> <li>(目標①②)準備学習として、使用教科書である教念教命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。また、1年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、プリントを使った勉強だけなく、救急救命士模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。</li> <li>●復習・振り返り</li> <li>●時間外自己学習・見直し</li> <li>●救念救命士国家試験模擬試験・過去間を解く・やり直し</li> </ul>
評価方法	随時、確認試験を行い理解度を図る。
き講生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野を理解しておけなければ教念教命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復習をするようにしてください。

#### 【使用教科·教材·参考書】

改訂第11版 教急教命士標準テキスト

学 科 : 救急救命公務員科

科目名(英)	総合基礎	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員 実務経験	専任教員
12.	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	火口	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教念教命士国家試験を合格するためには、専門的な医学基礎知識の知識が不可欠となります。また、病院前医療体制や教急教命処置概論、教急病態生理、教急症候、疾病教急医学、外傷教急医学、急性中毒・環境障害の教急教命士として必要な総合的知識が必要となります。 教急教命士標準テキストによる講義や教急教命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行うこ

とでより正確な知識を身につけます。

本講義終了後、教急教命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到途できるようになる。

#### 【到達目標】

入体を構成する要素や人体の各器官の構造と、その機能について系統的に理解できるようになる。

く具体的な目標> 目標①人体の構造、機能、部位を理解し説明できるようになる。

目標②人体の構造における神経系の構造と機能が説明できるようになる。

	授業計画・内容
46四目	(目標②)神経について説明ができる。(脳幹、脊髄、脳室、脳脊髄液)
4708	(目標②)神経について説明ができる。(脳神経)
48回目	(目標②)神経について説明ができる。(脳神経、脊髄神経【デルマトーム】)
490 🗎	(目標②)神経について説明ができる。(運動の伝導路【錘体路・錐体外路 知覚の伝導路【脊髄視床路・後紫】)
50回日	(目標②)神経について説明ができる。(自律神経【交感神経・副交感神経】)
5108	(目標②)神経について説明ができる。(脳循環【内頚動脈系・椎骨脳底動脈系・ウイリス動脈輪】)
520 🗎	(目標②)神経について説明ができる。(脳循環【代謝・頭蓋内圧・脳血流】)
53@₿	(目標②)神経について説明ができる。(意識【意識の意味・意識の中枢】)
54回目	(目標②)神経について説明ができる。(反射【角膜反射・咽頭反射・膝蓋腱反射】)
55@ 🗎	神経系確認試験
56回目	(目標①②) 各種振り返り・復習
57回目	(目標①②)各種振り返り・復習
58回目	(目標①②)各種振り返り・復習
59回目	(目標①②)各種振り返り・復習
60回目	まとめ試験
準備学習 寺間外学習	(目標①②)準備学習として、使用教科書である教急教命士標準テキストとからだの地図帳の熟読が必要です。 また、1年次で学んだ専門科目を再度復習すること。暗記するのではなく理解する。振り返りや見直しを行う。時間外に自己学習をすることを心がける。また、教科書やノート、プリントを使った勉強だけなく、救急救命士模擬試験や過去間を繰り返し解くことで問題の傾向や出題方法、勉強する内容を抽出する。 ●復習・振り返り ●時間外自己学習・見直し ●教念教命士国家試験模擬試験・過去問を解く・やり直し
評価方法	随時、確認試験を行い理解度を図る。
を講生への メッセージ	解剖学では難しい漢字を使用し、内容や範囲が広いため、理解をするまでに非常に時間を必要とする。医療従事者として共通する知識で、この分野を 解しておけなければ教急教命士として人命に携わることができない。自分の目標を叶えるために挫折せずに、少しずつでも構わないので、予習・復習す するようにしてください。

### 【使用教科書·教材·参考書】

学科:救急救命公司員科

科目名	総合基礎	必修 選択	選択	年次	3年次	担当教員	專任教員
(英)	Comprehensive Basics	授業	液習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	W E	(単位)	(23単位)	曜日·時間	水・木・金曜、1・2・3時限□

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

「救急救命処置」とは「その症状が落しく悪化する恐れがあり、又はその生命が危険な状態にある傷病者が病院又は診療所に機議されるまでの間に、当該傷病者 に対して行われる気道の確保、心拍の回復その他の処置であって、当該傷病者の症状の著しい悪化を防止し、又はその生命の危険を回避するために必要なものを いう」と定義されている。救急救命士は「救急救命処置」を反復継続して行うことを業としている。国家資格を受けた医療職であり医予法制の全体の枠組みの中で他 の医療職との業務の整合性を保ちながらその業の範囲が定められている。その定められた範囲で行う「救急救命処置活動」や傷病者の適切な観察と迅速な緊急度。 歪症度の判断は救急救命士の必須のスキルとして「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザイン の実践を行い木投業修了時には各々の説明ができるようになる。

救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験狭擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う ことでより正確な知識を身につけます

本講義終了後、校急校命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

衛態・疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、教念現場において傷病者の適切は観察と疑急度・重症度判別ができるようになる。 、 〈具体的目標〉 ①観察について説明できる。

- ①現場活動の基本について説明できる。 ②全身状態の観察について説明できる。
- ④局所の観察について説明できる。

	授業計劃・内容
61回日	46回救急救命士国家試験問題 解説
62[e] [ <del>-</del> ]	46回救急救命士国家試験問題 解說
63四目	46回救急救命士国家試験問題 解說
64回目	46问教念教命士国家試験問題 解說
65回角	46回救急救命士国家試験問題 解説
66[리[취	46回救急救命士国家試験問題 解説
67回目	46回救急救命士国家試験問題 解説
68년 月	46回教急教命士国家試験問題 解說
60@ Ħ	46回救急救命士国家試験問題 解説
70回目	46回教念教命士国家試験問題 解說
71回日	46回教念教命士国家試験問題 解説
72回目	46回救急救命士国家試験問題 解說
73回日	46回教急教命士国家試験問題 解說
7408	46回救急救命士国家試験問題 解説
75回日	(目標(1))観察について説明できる。 観察の自的と意義・バイタルサインの正常値・観察の方法 問診、視診、聴診、触診
準備学習 野学表問句	(目標①) 観察の目的と窓表について理解を深める事で傷病者の状況や病気に気付く事ができるので復習が必要です。 (目標②) 救急救命士の活動内容について予習が必要です。 教急救命士の専門性である「病院前教護活動」での適切な観察や重症度・緊急度判断の学びを深め、適切な迅速な病院搬送ができるため復習が必ま です。 (目標③)・目標②を達成させるために全身観察の重点をしっかり押さえるために復習が必要です。 (目標④)・目標②を達成するために全身観察について復習・予習が必要です。目標②を踏まえ局所観察について理解を深めるため復習が必要です。
評価方法	確認試験・単記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力、教急教命士として基礎的処置を習得することは教命率の向上に繋がります。 教急教命士は専門性で難しいイメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。

### 【使用教科書·教材·参考書】

学 科 : 救急救命公務員科

MEA	総合基礎	必修	選択	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名 (英)	W D 22 W	選択	177 117	4.3	3+%	実務経験	
1,247	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	火日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水·木·金曜、1·2·3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知旦を申する教員が一のように関するのか、日本的にはある)

「救急教命処置」とは「その症状が奢しく悪化する恐れがあり、又はその生命が危険な状態にある傷病者が病院又は診療所に搬送されるまでの間に、当該傷病者 に対して行われる気道の確保、心拍の回復その他の処置であって、当該傷病者の症状の者しい悪化を防止し、又はその生命の危険を回避するために必要なものを いう」と定義されている。救急救命士は「救急救命処置」を反復継続して行うことを業としている。国家資格を受けた医療職であり医事法制の全体の枠組みの中で他 の医療職との業務の整合性を保ちながらその業の範囲が定められている。その定められた範囲で行う「救急救命処置活動」や傷病者の適切な観察と迅速な緊急度・ は救急救命士の必須のスキルとして「整合性がとれる」ように繰り返し改善・向上しながら「効果」「効率」「魅力」を高めるインストラクショナルデザインの実践を行い本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

- 準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行うことでより正確な知識を身につけます。

#### 【到遠目標】

- •疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、救急現場において傷病者の適切は観察と緊急度・並症度判別ができるようになる。 (具体的目標>

- 4島所の観察について説明できる。

770日 (日 78回日 (日 79回日 (日 80回日 (日 81回日 (日 83回日 (日 83回日 (日 83回日 (日 85回日 (日 86回日 (日 87回日 (日	目標②)現場活動の基本について説明できる。 目標②)現場活動の基本について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 は、血圧 目標③)全身状態の観察について説明できる。 は、血圧 目標④)角所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。	全身観察と正点観察・緊急度、兼確度、医療機関選定・撤送、車内活動  外見の観察体位、顔貌、顔色、表情、嘔吐、喀血、吐血、四肢の変形、外出血  外見の観察反腐、失禁、痙攣、栄養会話、態度、歩行、行動 気道に関する観察気道別通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状  神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS  皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・頭部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結瞑、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
78回日 (日 79回日 (日 80回日 (日 81回日 (日 83回日 (日 83回日 (日 85回日 (日 86回日 (日 87回日 (日	目標①② 確認試験 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 終式、血圧 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③ 確認試験 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。	外見の観察体位、顔貌、顔色、表情、嘔吐、喀血、吐血、四肢の変形、外出血 外見の観察反腐、失禁、痙攣、栄養会話、態度、歩行、行動 気道に関する観察気道別通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状 神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・頭部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
79回日 (日 80回日 (日 81回日 (日 82回日 (日 83回日 (日 83回日 (日 85回日 (日 86回日 (日 87回日 (日	目標(3)全身状態の観察について説明できる。 目標(3)全身状態の観察について説明できる。 目標(3)全身状態の観察について説明できる。 終式、血圧 目標(3)全身状態の観察について説明できる。 目標(3)確認試験 目標(4)局所の観察について説明できる。 目標(4)局所の観察について説明できる。	外見の観察反構、失禁、痙攣、栄養会話、態度、歩行、行動 気道に関する観察気道開通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状 神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・頭部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
80回音 (音 81回音 (音 82回音 (音 83回音 (音 84回音 (音 85回音 (音 86回音 (音	目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③)全身状態の観察について説明できる。 終式、血圧 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③ 確認試験 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。	外見の観察反構、失禁、痙攣、栄養会話、態度、歩行、行動 気道に関する観察気道開通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状 神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・頭部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
81回目 (E 接 82回目 (E 83回目 (E 84回目 (E 95回目 (E 86回目 (E	目標③)全身状態の観察について説明できる。 (ま式、血圧 目標③)全身状態の観察について説明できる。 目標③ 確認試験 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。	気道に関する観察気道開通、気道閉塞呼吸の有無、性状・循環に関する観察脈拍の有無、性状 神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・頭部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
81回目	<ul><li>(ま式、血圧)</li><li>目標③)全身状態の観察について説明できる。</li><li>目標③ 確認試験</li><li>目標④)局所の観察について説明できる。</li><li>目標④)局所の観察について説明できる。</li><li>高値</li></ul>	神経に関する観察JCS、GCS、特殊型、神経学的所見異常CPSS、KPSS 皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・動部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
830 A (E 840 A (E 950 B (E 860 B (E 870 A (E	目標③ 確認試験 目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。 高位	皮膚の観察色調、温度、乾燥、発汗、出血斑、発疹、浮腫 頭部・顔面・類部顔面左右差、瞳孔、眼位、眼球・眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頭静脈怒張、気
84 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目標④)局所の観察について説明できる。 目標④)局所の観察について説明できる。 高位	頭部·顏面·賴部顏而左右差、瞳孔、眼位、眼球·眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頸静脈怒張、気
85回目 (E 86回目 (E 87回目 (E	目標(4))局所の観察について説明できる。 晶位	頭部·顏面·賴部顏而左右差、瞳孔、眼位、眼球·眼瞼結膜、呼気臭、項部硬直、外頸静脈怒張、気
85回目 (E 87回目 (E	<b>益位</b>	
87回目(目	目標(第) 局所の観察について説明できる。	
		頭部·頗面·類部皮下気腫、腫脹、変形、髄腋漏、視覚、聴覚胸郭運動、呼吸音、心音
880 E (E	目標(4))局所の観察について説明できる。	股部股部膨隆、腹膜刺激微候、腸蠕動音、腹壁静脈怒張、腹部腫瘤腹部動脈拍動
	目標(4))局所の観察について説明できる。	鼠類部・会陰部・骨盤・四肢運動障害、知覚障害、浮腫、腫脹、変形、短縮、動脈拍動関節可動域
	目標④)局所の観察について説明できる。 き楽	手指、足趾、爪変形、腫脹、色調、潰瘍、爪床圧迫テスト・各種アルゴリズム・緊急度と重症度・判別
90@ B E	目標(4) 確認試験	
(E 準備学習 教 等間外学習 で (E	目標②)教急救命士の活動内容について予習か 気急救命士の専門性である「病院前救護活動」で です。 目標③)目標②を達成させるために全身観察の	のる事で傷病者の状況や病気に気付く事ができるので復習が必要です。 が必要です。 での適切な観察や重症度・緊急度判断の学びを深め、適切な迅速な病院搬送ができるため復習が必 の重点をしっかり押さえるために復習が必要です。 のいて復習・予習が必要です。目標®を踏まえ局所観察について理解を深めるため復習が必要です
評価方法	確認試験・筆記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト = 記を実施する。	
	き力:救急救命士として基礎的処置を習得するこ 対急救命士は専門性で難しいイメージがあると思	ことは教命卒の向上に繋がります。 思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。

### 【使用教科書·教材·参考書】

改訂第11版 教急教命士標準テキスト

学 科: 救急救命公務員科

THE C	総合基礎	必修	選択	年次	3年次	担当教員	専任教員
科目名 (英)	心口交戏	選択	J25 17 C	4-7	34%	実務経験	
137	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	が色	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命処置概論は救急救命士と活動する上で基礎となる資機材・外傷処置・一時救命処置・在宅医療を網羅し適切かつ迅速に実施しなければなりません。救急 教命処置を実施するに当たり気管挿管や一時救命処置を実施し院内でどのような止血法など行っているかなど病院内での活動も学び本授業修了時には各々の説 明ができるようになる。

救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う ことでより正確な知識を身につけます。 本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

病院前救護活動における救急救命士の基礎となる資機材や外傷処置を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 <具体的な目標>

目標①資基材による観察、目的について説明できる。

目標②外傷処置に対する観察、目的について説明できる。 目標③1次救命処置の目的について説明できる。

目標④在宅医療の目的について説明できる。

	授業計画・内容
91回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。①観察の目的と意義・酸素投与方法とその意義・酸素投与時の注意点・SPO2測定とその意義
92 🛭 🗎	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。①観察の目的と意義・酸素投与方法とその意義・酸素投与時の注意点・SPO2測定とその意義
93回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。②観察の目的と意義・血圧測定とその意義・血圧測定の注意点・聴診器の使い方とその意義
94回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。②観察の目的と意義・血圧測定とその意義・血圧測定の注意点・聴診器の使い方とその意義
95回目	観察·血圧·聴診認試験
96回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
97回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
98回目	【到選目標】资基材による観察、目的について説明できる。③·気管内挿管とは·気管内挿管の適応·気管内挿管の手順·気管内挿管の合併症
99回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。③・気管内挿管とは・気管内挿管の適応・気管内挿管の手順・気管内挿管の合併症
100回目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。④・閉鎖式エアウエイの気道確保器具について・ラリンゲルマスク・アイジェル・ラリンゲルチューブ・コンビチューブ
101@目	【到達目標】資基材による観察、目的について説明できる。④ 閉鎖式エアウエイの気道確保器具について・ラリンゲルマスク・アイジェル・ラリンゲルチューブ・コンビチューブ
102回目	気管挿管・閉鎖式エアウエイの気道確保器具について・ラリンゲルマスク・アイジェル・ラリンゲルチューブ・コンビチューブ確認試験
103回目	【到澤目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。(1)・止血方の目的と適応・止血点止血法・SBチューブ・永久止血法・内視鏡による止血 法
104₽目	[到達目標]外傷処置に対する観察、目的について説明できる。①・止血方の目的と適応・止血点止血法・SBチューブ・永久止血法・内視鏡による止血 法
105回目	【到達目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。②・固定処置の目的とその意義・ネックカラー、バックボード・包帯、三角巾・シーネ・陰圧ギ ブス
準備学習 時間外学習	(目標①) 救急救命士としての資基材による観察、目的について復習が必要です。 (目標②) 救急救命士として外傷処置に対する観察、目的について予習が必要です。 (目標③) 救急救命士として1次救命処置の目的について復習が必要です。 (目標④) 救急救命士として在宅医療の目的について復習が必要です。
評価方法	確認試験・筆記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力:救急救命士として基礎的処置を習得することは救命率の向上に繋がります。 救急救命士は専門性で難しいイメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。

学 科: 救急救命公務員科

	(c) A *** ***	必修			I	担当教員	専任教員
科目名 (英)	総合基礎	選択	選択	年次	3年次	実務経験	
1927	Comprehensive Basics	授業	漢習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	八八日	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命処置概論は救急救命士と活動する上で基礎となる資機材・外傷処置・一時救命処置・在宅医療を網羅し適切かつ迅速に実施しなければなりません。救急 救命処置を実施するに当たり気管挿管や一時救命処置を実施し院内でどのような止血法など行っているかなど病院内での活動も学び本授業修了時には各々の説 明ができるようになる。

救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う ことでより正確な知識を身につけます。

本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

#### 【到達目標】

病院前救護活動における救急救命士の基礎となる資機材や外傷処置を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 く具体的な目標>

- 目標①資基材による観察、目的について説明できる。 目標②外傷処置に対する観察、目的について説明できる。
- 目標③1次教命処置の目的について説明できる。
- 目標④在宅医療の目的について説明できる。

	授業計画・内容
106回目	【到達目標】外傷処置に対する観察、目的について説明できる。②・固定処置の目的とその意義・ネックカラー、バックボード・包帯、三角巾・シーネ・陰圧= ブス
107回目	止血・固定処置確認試験
108回目	【到達目標】1次教命処置の目的について説明できる。・1次教命処置の目的とその意義・除細動器とその意義・除細動器使用時の合併症
109@ 🗎	【到達目標】1次教命処置の目的について説明できる。・1次教命処置の目的とその意義・除細動器とその意義・除細動器使用時の合併症
110回目	[到達目標]1次救命処置の目的について説明できる。1次救命処置の目的とその意義・除細動器とその意義・除細動器使用時の合併症
111回目	【到達目標】1次救命処置の目的について説明できる。・1次救命処置の目的とその意義・除細動器とその意義・除細動器使用時の合併症
112@目	1次教命処置確認試験
113回目	【到達目標】在宅医療の目的について説明できる。・在宅療養とは・在宅療法の種類・酸素療法、自己注射、経管栄養、気管切開、自己導尿など
114回目	【到達目標】在宅医療の目的について説明できる。・在宅療養とは・在宅療法の種類・酸素療法、自己注射、経管栄養、気管切開、自己導尿など
115回目	在宅療養・在宅療法確認試験
116回目	(目標①②))各種振り返り・復習
117回日	(目標①②)各種振り返り・復習
118回目	(目標①②))各種振り返り・復習
11908	(目標①②) 各種振り返り・復習
120回目	まとめ試験
	(目標①)教急教命士としての資基材による観察、目的について復習が必要です。 (目標②)教急教命士として外傷処置に対する観察、目的について予習が必要です。 (目標③)教急教命士として1次教命処置の目的について復習が必要です。 (目標④)教急教命士として1次教命処置の目的について復習が必要です。
評価方法	確認試験・筆記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力:牧急救命士として基礎的処置を習得することは救命率の向上に繋がります。 救急救命士は専門性で難しいイメージがあると思いますが授業の中で少しずつ過去の国家試験問題を解き学んでいきたいと思います。

#### 【使用教科書·教材·参考書】

学 科 : 救急救命公務員科

	<b>松本甘林</b>	必修	:35:±0	/E:A:	0.677.167	担当教員	
科目名 (英)	総合基礎	選択	選択	年次	3年次	実務経験	
	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	烈自	(単位)	(23単位)	曜日・時限	水・木・金曜、1・2・3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

教急教命士の専門職である「教急教命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS(Basic Life Support)は自己研鑽が必須であり、「教命の連鎖」として一般市民への 指導や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や「心停止の早期認識」に関して迅速で的確な判断が必要とされる。そのため救急病態 生理学を学び病態に関する知識を深める事が重要である。本授業修了時には各々の説明ができるようになる。

救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行うこ とでより正確な知識を身につけます。

本講義終了後、救急救命士国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格基準に到達できるようになる。

### 【到達目標】

呼吸不全・循環不全(心不全・ショック)・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 <具体的な目標>

- 目標(1)呼吸不全について説明できる
- 目標②心不全について説明できる 目標③ショックについて説明できる
- 目標④心肺停止について説明できる

	投業計画・内容
121回目	(目標④)心肺停止について説明できる ・定義と概念・疫学・ウツタイン様式
122回日	目標④)心肺停止について説明できる ・心肺停止に至る病態と原因(不整脈、低心拍出量、呼吸不全、その他)
123回目	目標④)心肺停止について説明できる ・生体酸素状況(不整脈、低心拍出量、呼吸不全、その他)
124回日	(目標④)心肺停止について説明できる ・主な原因疾患(5H5T)・心電図分類
125回目	(目標④)心肺停止について説明できる ・心肺蘇生中の生理学的動態・心拍再開後(ROSC)の生理学的動態
126回目	(目標④)心肺停止について説明できる ・心肺停止についてまとめ・振り返り
127回目	目標④ 確認試験
128回目	(目標①)呼吸不全について説明できる ・定義と概念・基本的病態
129 🗎 🖹	(目標①)呼吸不全について説明できる ・閉塞性、拘束性、混合性換気障害
130回目	(目標①)呼吸不全について説明できる 低酸素血症、高二酸化炭素血症・緊急度、重症度判別
131 🛽 🖯	(目標①)呼吸不全について説明できる ・呼吸運動障害(発生機序・病態・対応)・気道の障害(発生機序・病態・対応)
132回日	(目標①)呼吸不全について説明できる ・肺胞の障害(発生機序・病態・対応)・肺間質の障害(発生機序・病態・対応)
133回目	(目標①)呼吸不全について説明できる ・呼吸不全についてのまとめ・振り返り
134回目	(目標②)心不全について説明できる ・定義と概念・原因疾患・病態生理学(心機能曲線、神経・内分泌反応、循環の変化)
1350	(目標③)ショックについて説明できる ・循環血液量減少性ショック・心原性ショック
準備学習 特間外学習	目標①呼吸不全について臨床医学呼吸器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学、運動学について予習が必要です。 目標②心不全について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です 目標③ショックについて目標①②の復習が必要です。 目標④心肺停止について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です。
評価方法	確認試験・筆記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力:一般市民へ指導の立場でもある救急牧命士は実際に活動内容を体験でき本授業の概要の理解が深まります。さらに自己研鑚する事で「包括的 指示」の中でも迅速に的確に判断・処置することができ今後の現場活動に活かされます。

学 科: 救急救命公務員科

							162241.
NO.6	総合基礎	必修	選択	年次	3年次	担当教員	專任教員
科目名 (英)	心口空咙	選択	125 1/	+-/	344	実務経験	
1307	Comprehensive Basics	授業	液習	総時間	34505[6]	開講区分	通年
コース		形態	<b>八八日</b>	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水·木·金曜、1·2·3時間目

【授業の学習内容】(※上務経験のある教員、知見を有する教員」 どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急教命士の専門戦である「救急教命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS(Basic Life Support) は自己研鑽が必須であり、「救命の連鎖」として一般市民へ 秋意教師エの学門戦である。秋意教師変通」が中でも「包括的指示」であるBLSにBasic Life Support [)は自己検査が必須であり、「教師の課題」として一般市民への指導や普及活動を行う事で協議者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や「教意教命士の専門戦である「教意教命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS (Basic Life Support)は自己研鑽が必須であり、「教命の運動」として一般市民への指導や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や「心停止の早期認識」に関して迅速で的確な判断が必要とされる。そのため教念病態生理学を学び病態に関する知識を深める事が重要である。不侵業修了時には各々の説明ができるようになる。さらに、教念病態生理学「で習得した内容からさらに各症候・病態生理を深める事で教命の連鎖である「二次教命処置と自己心拍 開後の集中治療」について説明できるようになる。教意教命土は一次教命処置(BLS)と平行して「教意教命処置」の「特定行為」である薬剤役与や気道確保器具した二次教命処置を行う事でより多くの協病者の教命率の向上と予後の改善に繋がります。

□ 念教命土標準テキストによる講義や教急教命士国家試験視疑試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行う

ことでより正確な知識を身につけます。

本議義様子後、教急教命士国家試験に必要な知識や陸解力、軽く力を身につけ、合格基準に利達できるようになる。 【到達目標】

■吸不金・循環不金(心不金・ショック)・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 素に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。

<単体的な目標>

目標①呼吸不全について説明できる

日標心呼吸が重について説明できる 目標心が不全について説明できる 目標心が肺停止について説明できる 目標値心肺停止について説明できる 目標値重症脳障害について説明できる

目標(6)意識峻害について説明できる 目標(3)頭痛について説明できる 目標(3)痙攣について説明できる 目標⑨運動麻痺について説明できる

	投棄計画・内容
136回目	(目標③))ショックについて説明できる ・心外閉窓・拘束性ショック・血液分布異常性ショック
137回目	(目標③))ショックについて説明できる ・ショックについてのまとめ、振り返り
1380 🖹	(目標③)ショックについて説明できる ・定義と概念・ショックの判断と判別・種類と分類・緊急度、重症度判別・病態
139回日	目標①③ 確認試験
140回目	(目標②))心不全について説明できる ・心不全についてのまとめ・振り返り
14108	(目標②)心不全について説明できる ・慢性心不全の念性増煮・現場活動
1420 🖹	(目標②)心不全について説明できる ・症候(低心拍出最、肺うっ血、体循環うっ血、循環系)・種類(急性・慢性・左心・右心・うっ血)
143@目	(目標底))重症脳障害について説明できる ・概念・発生機序
144回日	(目標高)) 予定脳降密について説明できる - 一次性脳病変、二次性脳病変
145@日	(目標③))重症脳底部について説明できる ・頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア
146□ 🗆	(目標(5)) 車症脳障害について説明できる ・特殊な意識障害
147回目	(目標係))整症ែ機害について説明できる ・脳障害まとめ・脳障害振り返り
148@目	目標(2/5) 確認試験
149回 日	(目標⑥)意識障害につて説明できる ・原因1 一次性脳病変2 二次性脳病変・随伴症状
1500	(目標⑥) 意識障害について説明できる ・随伴症状 1 バイタル異常2 一般症候3 神経所見
準備学習 時間外学習	日標信呼吸不全について臨床医学呼吸器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学、運動学について予習が必要です。 日標信心不全について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です。 日標信ショックについて目標信念の復習が必要です。 日標値心師停止について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です。 前提:この授業を受けるには、臨床医学脳神経疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標信)~(6))各症候の振り返りと復習が必要です。
評価方法	確認試験·筆記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力 一般市民へ指導の立場でもある救急教命士は実際に活動内容を体験でき本授業の概要の理解が深まります。さらに自己研鑽する事で「包括的指示」の中でも迅速に的確に判断・処置することができ今後の現場活動に活かされます。
Francisco da	a. 49.41, < = a.1

【使用教科書·教材·参考書】

学科:救急救命公務員科

科日名 (英)	総合基礎	必修	遊択	4次	3年次	担当教員	専任教員
		選択	121/			突務経験	
1247	Comprehensive Basics	授業	液智	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	24 €	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水·木·金曜、1·2·3時限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

救急救命士の専門職である「救急救命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS(Basic Life Support)は自己研鑽が必須であり、「救命の連鎖」として一般市民への 秋思秋明上の学月観光の高、秋高秋明光温」の子でも、2:1654mm。「そのもCS Coasic Life Support)は自己が病が必然であり、「秋明の光観」の上でも「極いたべい 情導や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や「秋急秋命士の専門職である「秋急秋命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS (Basic Life Support)は自己残骸が必須であり、「秋命の連鎖」として一般市民への指導や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。「心停止の予防」や 「心停止の早期認識」に関して迅速で的確な判断が必要とされる。そのため秋急病態生理学を学び病態に関する知識を深める事が重要である。本授業修了時には 各々の説明ができるようになる。さらに、教急病態生理学!で智得した内容からさらに各症候・病態生理を深める事で教命の連鎖である「二次教命処置と自己心拍再 開後の集中治療」について説明できるようになる。救急救命士は一次救命処置(BLS)と平行して「救急救命処置」の「特定行為」である策剤投与や気道確保器具など を利用した二次救命処置を行う事でより多くの傷病者の救命率の向上と予後の改善に繋がります。

救急救命士標準テキストによる講義や救急救命士国家試験模擬試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ、グループ学習を通じてインプット・アウトブットを行うこ とでより正確な知識を身につけます

本講義終了後、牧急牧命十国家試験に必要な知識や読解力、解く力を身につけ、合格及進に到達できるようになる。

#### [到逐日標]

呼吸不全・循環不全(心不全・ショック)・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 神経系に関わる疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。

<具体的な目標>

目標①呼吸不全について説明できる 目標②心不全について説明できる 目標③ショックについて説明できる 目標<br />
②心肺停止について説明できる<br />
目標<br />
⑤重症脳障害について説明できる

目標⑥意識障害について説明できる 目標(グ)頭痛について説明できる 目標(砂痕壁について説明できる 目標⑨運動麻痺について説明できる

	授集計画:内容
1510月	(目標⑥)意識障害につて説明できる ・判別を要する病態
1520 🖹	(目標®)意識障害につて説明できる ・緊急度、重症度判別・現場活動
1530 🖹	(目標位))頭痛について説明できる ・発症機序・分類1. 一次性頭痛2. 二次性頭痛
154回目	(目標®))頭痛について説明できる ・原因疾患
15508	(目標(⑦)) 頭痛について説明できる ・発症の状況・性状
15608	(目標⑦)頭痛について説明できる ・随伴症状・緊急度重症度の判断・現場活動
157回目	目標©② 確認試験
158回目	(目標®)痙攣について説明できる ・定義、概念・病態
159回目	(目標®))痕壁について説明できる 種類1 局所性2。全身性
160回目	(目標®) 症婦について説明できる ・原因疾患・随伴症状
1610 🗏	(目標®)痕壁について説明できる ・判別を要する病態・緊急度、重症度の判断・現場活動
162回目	(目標®)運動麻痺について説明できる ・定義、概念・発症機序
163回目	(目標®))運動麻痺について説明できる ・分類1 単麻痺 2 片麻痺3 対麻痺4 四肢麻痺 5 交叉性片麻痺
164回目	(目標®)運動麻痺について説明できる ・原因疾患・随伴症状
16500	(目標®)運動麻痺について説明できる ・割別を要する病態・繁急度、運症度の判断・現場活動
準備学習 時間外学習	目標(①呼吸不全について臨床医学呼吸器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、呼吸・血液生理学、運動学について予習が必要です。 目標(②心不全について臨床医学術環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です 目標(③ショックについて自棲())(②の復習が必要です。 目標(④心肺停止について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、循環・血液生理学、運動学について予習が必要です。 前提、この授業を受けるには、臨床医学脳神経疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学、脳神経・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (目標①~⑥)各症候の振り返りと復習が必要です
評価方法	確認試験・望記試験を行う。 ●出席率 ●確認テスト 上記を実施する。
	魅力:一般市民へ指導の立場でもある教急救命士は実際に活動内容を体験でき本授業の概要の理解が深まります。さらに自己研鑽する事で(包括的 示」の中でも迅速に的確に判断・処置することができ今後の現場活動に活かされます。

#### 【使用教科器·教材·参索器】

改訂第11版 教念教命主標準テキスト

学 科 教急救命公務員科

						- 12	OCHANICA INFERR
科目名 (英)	総合基礎	必修	選択	4次	3年次	担当教員	<b>専任教員</b>
		選択				実務経験	
	Comprehensive Basics	授業	演習	総時間	345時間	開講区分	通年
コース		形態	,,,,,,	(単位)	(23単位)	曜日·時限	水-木-金曜、1・2・3時限日

【授業の学習内容】(※実施・場合のある牧員。加見を有する教員が、どのような授業を実施するのか。具体的に記載する)

【検集の学習内容』、※ のある教員 用見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する
教思教師士の専門職である。教 科辞処置」の中でも 包括的指示」であるBLS(Basic Life Support)は、「己研資が必須であり、収益の連鎖」として一般市民への 指導や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。心停止の予防」や「教急教命士の専門職である「教急教命処置」の中でも「包括的指示」であるBLS (Basic Life Support)は自己研鎖が必須であ」「教命の連鎖」として一般市民への指数や普及活動を行う事で傷病者の予後に大きく左右する。心停止の予防」や心停止の早期認識」「して迅速で的確な判断が必要とされる。そのため教急病態生理学を学び病」に関する知識を深める事が重要である。本接業等「時には一の説明ができるようになる。さらに、教急病態生理学。で習得した内容からさらに各種候、病態生理を深める事で教命の連鎖である「一次教命処置と自己心拍再を利用した二次教命処置を行う事でより多くの傷病者の教命単の向上と予後の改善に繋がります。 を利用した二次教命処置を行う事でより多くの傷病者の教命単の向上と予後の改善に繋がります。
教急教命工標準テキストによる講義や教急教命士国家試験授援試験及び過去問等で知識や解く力を身につけ。グループ学習を通じてインブット・アウトブットを行うとでより正確な知識を身、つけます。

# 本連高終了後、救免救命士国家経験に必要な知道や持賀力、繋く力を身につけ、会構基準に報道できるようになる。

#### 【到证目標】

■吸不全・循環不全 心不全・ショック)・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。 - 経系に関わる疾患の症候・病脈生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる <具体的な目標>

目標①呼吸不全について説明できる

改訂第日版 教急教命士標準テキスト

目標②心不全について説明できる 日標③ショックについて説明できる 目標(4)心肺停止について説明できる 日標⑤重症脳障害について脱明できる

目標⑥意識障害について説明できる 目標の頭痛について説明できる 目標®痙攣について説明できる 目標倒運動麻痺について説明できる

	授業計画・内容
166回目	目標③③ 確認試験
167년 🗎	各種振り返り・復習
168回目	各種振り返り・復習
169回目	各種振り返り・復習
170回目	各種振り返り・復習
171回日	各種振り返り・復習
172回目	各種振り返り・復習
173回目	まとめ試験
間外学習	日様① 全について臨床医学呼吸器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖 呼吸・血液生理 運動学について予習が必要です。 日標② について臨床医学循環器疾患の理解が不可欠です。さらに解剖学 環・血液生理学 動学について予習が必要です 日標③ について目標(以2)の復習が必要です。 す (2)
	病理、この投票を受けるには、臨床医学局神経疾患の理解が不可欠です。さらに解析学、局神経・血液生理学、運動学について予習が必要です。 (日曜3)~5)各直線の無り返りと復習が必要です。
<b>弹価方法</b>	確認試験・
講生への ッセージ	魅力・一般市民へ指導の立場でもある教急教命士 は、第1228年1228年1228年1228年1228年1228年1228年1228